

自由回答記述

調査票自由回答欄に記載された文章のうち、個人が特定化可能な部分などを略して掲載した。

凡例：【 】内は編集段階で加筆、または文章を一部削除した箇所。

は地名を示す（「いわき市」と「会津美里町」を除く）。

は数字を示す。

はその他名称等に用いた。

0001 男性 70代

私達は、勝手に警戒区域に指定され、強制的に避難させられ、以来1年半が経過します。この間、3~4回の一時帰宅が認められ、1回数時間、しかも物々しい防護をしての帰宅であった。それが、区域再編への住民意向調査では、賛成・反対がほぼ同数と聞いているが、8月10日、一方的に避難指示解除準備区域に指定を変え、住民が「真に自由に墓参りをしてもらうために」と云う国の案に町は同意したと云われているが??

この様に、一時的な事ではないと思う。解除準備区域は年間被曝放射線量が20ミリシーベルト以下の地域と云うが、年間19ミリシーベルト以下の地域での人間、生活をしていくのに問題はないのか?

さらに、警戒区域解除(区域再編)についても、事が急ではないのか? 徹底した除染を行い、インフラの復旧を、まず先に行い、問題が無い事を確認して、その後、住民が自由に出入り出来る・・・と云うのが道理ではないのか。また、区域の再編をしなければ、国や町の除染作業やインフラ復旧工事が始められない、進められないと云う事が不思議でならない。避難民は「モルモット」ではないのだから...

関礼子代表を始め、本研究グループの皆さんも、私達避難民と同じ立場で考えてみて下さい。ただ本調査の集計結果を国、県、町に提出するだけでなく、皆さんの考え、提言を加味して頂きたい。

0002 女性 50代

Q36. あなたは将来、楢葉町に帰町したいですか?

- ・帰町したくないが、帰町せざるをえない...(いやいや)
- ・仮設に居られなければ帰町(いやいや)するしかない。
- ・「子供たちや孫が楢葉町には行かないよ!」そんなところへ老夫婦は帰町するしかない...。先行きが多いに不安...

0003 男性 40代

- ・警戒区域を解除したわりには、セキュリティ的に大問題だと思います。
- ・町長の言っている事、やっている事が矛盾している。
- ・何のための通行証なのか? 意味がない。セキュリティ強化して!!
- ・お金を無駄にしないでほしい。
- ・除染が終わらないと引越しもできない。
- ・がんばってほしい。

0004 女性 40代

町の職場で震災にあい、自宅に帰れないまま、夜を過ごし、家族の元へ帰ろうとしたとたんに、東電事故により、避難となり、家族とバラバラの生活となる。家の状況、家族の状況、娘（【乳幼児】）の状況も分からないまま、避難所を転々とし、ようやく娘にあえたのは、1ヶ月後でした。

事故がなければ、震災の次の日、娘と公園に行く約束をしていましたが、行く予定だった公園は、今は、事故の収束に向けた業者達の車【の駐車場】や宿泊所となっています。現在も家族バラバラの生活を送っています。

あたり前の生活が出来なくなった事故に対しての責任は重いと思います。責任の所在をはっきりとし、対応してほしいと思います。お金の問題ではなく、心の問題だと思います。国や東電に、心は今の所まったく感じる事が出来ません。東電は東京にある本社を福島県双葉郡に移転し、対応を図るべき。自分の家族を住まわせて、どうすれば良いか考えるべきと、心から思います。そこで初めて、復旧、復興が考えられるのでは？

Q44. の除染や廃炉ビジネスによる復興・再生という考えが浮かぶのは、実際、事故にあってない方の考えだと思います。責任を感じるのであれば、国、東電が行うべき。町や村のビジネスになってはいけないのでは？ 事故がなければ、町はもっと早く復興、復旧していたでしょう。賠償に対しても、対応する方によって差が大きすぎます。怒鳴りつけられたり、お金がほしいのか？といった返答がある場合も。前の担当者に言われて提出したものが、突き返されたりするのは？ 疑問ばかりが残ります。

0005 男性 40代

- ・仕事は、今はあまりない為、無職になったらどうしたらいいか。
- ・今後、放射線のある町には住みたいと思わない。どうしたらいいか？
- ・電力では放射線、放射能は危ない、危険となっていたが、爆発した後、国では大丈夫と言っているのがわからない!! 他人ごとだからか？
- ・他県の人に福島に住みたいですかとアンケートをしてみたいです。

0006 男性 50代

- ・道路の整備、除草を進めてまず見た目で元の状態にすることが重要。スケジュールが具体的でないため、いつ頃どのような姿になるのか青写真が見えない。町の将来構想についても具体的な提案がない。この様な時にお役所仕事を続けられていては大変困る。お願いをしても前例がない、町の仕事ではないなど、断る事に終始である。問題にならない。
- ・中間貯蔵施設の受け入れを決定し除染で出た廃棄物の処理を一刻も早く進められるよう、中間貯蔵施設の他、減量施設、研究施設なども同時に受け入れ、除染のスピードアップと雇用の確保をすべき。

0007 男性 50代

住宅ローンは、どうすればいいんですか？

自宅を買いとって下さい。人間が住める町にして下さい。

最終処分場を早く決めて下さい。

東電の人は、本当の私達の町を自分の目で見たことはありますか？ 私は東電を絶対に許さない。家族をバラバラにさせて、仕事も奪われて、東電の人にもこの辛さを味わわせたい。私達に言葉だけの謝罪はやめろ。福島県人一人一人に対し、顔を見て、しっかり謝罪しろ。死ぬまで許さない。

0008 女性 50代

先の見えない悲しい日々です。異様な感じの仮設生活、皆年老いた者が【老人】車を押し無口に生活する。家族はバラバラ、昔の家族は戻らない。それが月々の10万円なの？ 嫁、姑、夫婦皆関係が悪くなる。これはどこにぶつけるの？ 町長も期待はずれ。国民（住民）の真意とまったく違う結論を急いだり、国・県に従順で楢葉としてどうしたいのが見えない。もっと住民の立場にたたないと皆楢葉は老人だけで、そのうちなくなります。

0009 女性 40代

家族の生活が二重三重になり心身共に限界が見えて来た。

高速道路の無料化が廃止になれば経済的にさらなる負担になる。

家族の事をしなければという気力だけが支えでした。

財物関係の連絡は個人的に受けとっていません。

言っている事とやっている事が違いすぎる様に感じる。国・町・東電、三者とも、要望を聞いてはくるが何も進めてくれない。

0010 女性 60代

高速道路無料化が9月で終了となりますが、楢葉に行き来し、家の様子や修理などをしたいので引き続き無料化をお願いしたい。長期にわたり、内部被ばく、外部被ばくの検査が無料で受けられる様お願いします。国は除染後、線量が低くなり、その後、雨、風等により、また線量が高くなった場所も再度除染すると言っていますが、確実に何度でも除染する様徹底してほしい。

0011 男性 40代

仮設住宅がせまい。せめて、六畳にしてほしい。今は、四畳半です。東電は、賠償基準が安いと思う。どんなに除染しても、事故前の放射線量にならないのだから、賠償を高くしてほしい。また被爆者手帳【被曝者手帳】をもらいたい。原発は消費地に作った方がいい。東電の場合は、東京湾。自分で使う電気は自分の所で作った方がいい。原発が安全だと言うのなら。原発を動かしたいのなら、今考えられる全ての事故防止装置を付けるべきである。国は、楢葉町に貯蔵施設を作りたいようだが、作りたいのなら、全町民に補償すべきだと思う。

たいへん遅れました。申し訳ありません。参考程度にして下さい。

0012 女性 60代

牛も夫も、東電のため、ころされました。こんご、どうしたらいいのか。わかりません。

0013 女性 70代

今回の避難生活を送るにあたり、いわき市をはじめ、楡葉町職員の方々には、大変な御世話様になりまして、心より御礼申し上げます。又、全国各地よりの支援物品の数々、頭の下がる思いです。

テレビや新聞には発表しないあの町中の田んぼ、畑。

東電の中で働いて居る方々の仕事ぶり。

山々の除染が出来るはずもない計画に...これは不思議です。

今現在、車であちこち楡葉の現場を目の当たりにして J ヴィレッジでの汚れた袋詰め山の山、どこの集会所にも黒色の袋の山、人の集まる場所になぜ仮置き場なのか、それがわかりません。

私も、年齢的に田、畑、山、もうあの様に荒れ果てた地に作物を育て、食する気力もありません。あと何年車の運転ができるか、今の心配はこれです。夫と共にしっかり自分の足で歩けるうちに.....自宅に戻りたいのです。

0014 男性 20代

楡葉町へ戻るだけでなく戻らない意見も尊重すべき。戻らない人への賠償がいつまで続くか心配。

他町のように、5年戻らない宣言をすれば、今後の生活設計ができ、見通しが立つ。

0015 女性 70代

楡葉町役場勤務の方々には、避難から現在まで、大変な難問をつきぬけて頂き感謝申し上げます。まだまだ続く仕事ですので、体に気をつけて、のり切ってください。

県知事、県会議員、国会議員の方にはまだまだ県民の気持ちにそって力をつくして。

町の防犯には特にがんばってください。係の方々も御苦労様です。

0016 男性 50代

・公務員は日本という会社の社員!!

会社が赤字なのに、社員が年収とか、ボーナスとか、一般会社よりいいのは、おかしいよ!! 一般会社の給料と公務員の給料では、同じ額でも、手取りが全然違うよ!! 公務員からも、保険料とか年金を引けばいいのに!!

・これからは、楡葉町の町民は、半数も戻らないと思う。今まで【略】町政だったし、これからは、良くなるとは、思わない!!

0017 女性 40代

いろいろ耳に入ってくる事は良い事がないようです。楡葉町の上に立っている人はほんとうに住民の事を考えているのでしょうか? 住民の事を考えて下さるのなら、今の時期警戒区域見直しは、早かったような気がします。他の町の話を知っていると、ほんとうに住民の事を考えて動いているみたいです。ほんとうに今家族が3重生活を送っているのだから、楡葉町が見直しされてもすぐに行動することは、むずかしいです。このような事がたくさんあると思います。財物の賠償も、その家族の年数の思い入れがそれぞれ違うと思うので、上下差をつける事は非常に悲しい事で怒りを覚えます。できる事なら、みんな町民が全員生活出来ますよと言えるようになってから解除してほしいと思う。そして3月11日の前の生活に

戻してほしいです。仮設に離れて暮らしている父母が毎日のように、電話してくるので、悲しい思いをしています。いつになったら、家族全員がああ笑顔のある家に帰れるのでしょうか？ はっきり言って無理でしょうね。とにかく、早く賠償を進めて1日も早く家族全員と一緒に住める事を願うだけです。今のアパートを移って全員で住む事は出来ないの、今のアパートから家族全員が住めるアパート代を東電で（家賃）出してくれるようになってほしいです。

0018 女性 10代

避難生活が始まってから、精神的にも体力的にも負担がかかり、生理不順や円形脱毛症になりました。職も希望するところが見つからず、通勤1時間もかけて、肉体労働をするはめになりました。体調が悪くなっていく一方、やはり精神的に限界だったので最近退職しましたが、今現在、職が見つからない状況です。

今、楢葉町の復興について頑張っているようですが、はっきり言って、戻る人は少ないかと思います。

若者は職もない楢葉町に戻らないと思うし、それは分かりきっていることです。なら、文句を言われぬように補償をしっかりとっていただきたいです。失ったものはお金では取り戻せません。ですが、生活していくためにはお金が必要なんです。東京電力には誠意を見せてほしいです。

東電大嫌い。東電バカヤロー。復興なんて求めない！ 震災前の生活を返せ!!!

思い出も友達も大切なものをうばったくせに!

0019 男性 50代

現在私自身、福島第一原子力発電所の安定化に向けた工事に携わっており、毎日、国 東京電力の関係の中で現場対応に明け暮れております。まだまだ安定化されているとは程遠い印象であり、緊急対応がなくなる状況に思えます。

原子力発電所で働かせて頂き、子供を育て、【進学させて】あげることが出来たことに関しては、正直感謝しております。だからこそ、復旧工事に自分の経験と知見が役立てばと思い、積極的に工事へ係わっているところです。従って、日々の復旧工事に追われ、町の事が後回しになってしまっている状況です。

この場を借りて述べさせていただきたいのは、自分を含め「人としてどう生きるか」を常に考えて前に進んでいきたいと思っております。今回の事故には当然いろいろな想いがあって、それをまとめていくのは難しいと思っておりますが、楢葉町の将来の10年後、20年後のハッキリしたビジョンが早い時期に策定されることを希望しています。もっとハッキリした時点で、生活拠点を決めたいとも考えております。

最後になりますが、職場は日々線量との戦いです。経験者は消えてしまい（国による基準で作業ができない状態）、未経験者が増加、安全確認が難しい状況となっています。国も発電所の復旧を考えているなら、もっと現実的な基準作りを再考してもらいたい。

0020 女性 40代

地元に戻りたい気持ちは十分ですが、これからの子、孫を考えれば、恐ろしくて、楢葉町には戻れない。目に見える物でもなく、においがする物でもない放射線は、こんなに恐ろしい物とは実感してなかった。今後どの様に生活していくか、かなり不安である。

0021 女性 30代

中間貯蔵施設の場所について不安です。メディアでは、どんどん知らない所で話が進んでおり、もしかしたら檜葉町にも!? 波倉地区が中間貯蔵施設の仮置き場となるかもしれないという事です。

仮置き場は、予定では、3~5年をめどにとなっていますが、どこの県でも受け入れが拒否されれば、そのまま檜葉や双葉、大熊に永久に置かれる状態になると思います。中間貯蔵施設のある町に、誰が遊びに来たいと思いますか? 住みたいと思いますか? 私は生まれも育ちも結婚後もずっと檜葉で生活しておりました。それが一瞬にして消えてしまったのです。

本当に中間貯蔵施設仮置き場だけで終わるのか、不安です。

0022 男性 70代

老夫婦2人で生活しています。檜葉では畑、家の仕事など、毎日体を動かし、充実した生活を送っていました。避難は体育館、ホテル、親戚宅、と転々とし、気を使う毎日。自由もきかないし、お金もかかりました。現在は仮設住宅で近所の人達と話をしたりして、落ち着いた生活をしています。早く自宅に帰りたい気持ちと、行っても何も出来ないの(畑など)複雑な気持ちです。

これからの生活の事です。檜葉に戻ったとしても、除染しきれないと思います。孫もいて小さいので、来て欲しくてもなかなか来て欲しいとは言えません。以前のように畑は出来ないし、元通りにはならないと思います。

去年の9月から仮設住宅に入居しました。檜葉の自宅にいたみたいにはいきませんが、何軒かの人達と行き来があります。そういうことが、話をしたりすることが支えになっていると思います。そういう人達は多いと思います。

これに関しては、よくわかっていません。人の話では、足りない少ないと言われていました。家は住んでいないと相当いたみます。カビもすごいし、雨漏り・畳の入替え等…。やる事がいっぱいあります。

国、東京電力は早く戻したいとしか思えません。もとの住民の意見を聞くべきです。町もです。町民の意見を全然聞いていません。国、東京電力には残念、不感しがあります。どうかこの気持ちをわかっていただきたいです。よろしく願い申し上げます。

0023 女性 70代

まずは早く檜葉町に除染をしてもらって下さい。

0024 女性 70代

何もかも生まれて初めての事ばかり。新築の住宅に入れて戴き、毎日「変わりないですか」と見回りもして戴き、有難いと思っています。福祉のお世話になる事が出来、病院も決まり、少し落ち着く事ができました。

3月11日に長男の家が半壊となり()、二男が の【職場】に単身赴任で に住んでおりましたので、そこを乗っ取った様な生活を約1年4ヶ月。病院も近く、御近所の方々も良い方ばかりで、何不自由なく過ごしておりましたが、少しでも檜葉に近づきたい、御近所の皆さんにもお会いしたいという想いから決心致しました。夫婦だけの生活、大変不安でした。二人共、通院が必要な体、帰町が長引いたら、生きて帰れるだろうかと大変不安です。

商売は帰町が長引けば、娘は「やめる」と言うだろうと覚悟はしております。私も、もう手伝う事も出来ないと思いま

すし、今は、何も言わず見守っております。

ここにいて、毎日何にもせず、過ごす事が辛いんです。早く帰りたい。家には、やりたい事、やらねばならない事が沢山あります。震災前、【ボランティア】等もしておりました。何かお役に立つ事があればしたいと思います。

0025 女性 70代

友達となかなか会えない。

0026 女性 50代

先日、家族で自宅に戻り、家の周りや中を見て、変わった所はないか見て回り、日に日に荒れていく庭や傷んでいく家を見て、皆が愕然としてしまった。特に高齢の両親は、今まで、守ってきた土地や建物を見て、悲しんでいたように見えた。このような気持ちを賠償で済ませることができるのでしょうか？ これから先も不安で過ごすことになると思うと、残念でならない。また、今まで、三世代や四世代で生活してきたが、若い世代を戻らせることはできないと思うので、今まで引き継がれてきたものもなくなってしまうのかと思うと、また悲しくなる…。若い世代が、早く生活できるように、何事も後手後手にならないように支援して頂きたい。生活再生を願います。高齢者は、日に日に心身共に老いていくので避難中は家族に負担が特にかかってくるので、重ねて支援をお願いしたいです。また、町の復興・復旧には除染や1F・2Fの問題があり、なかなか前には進めないと思いますが、中間貯蔵施設については大いに議論をしていただき、対応をしていただきたい。どこかには保管場所がなければならない。立地町としての考えもしなければならないのか…とも思います。先が見えず過ごすのは重い負担です。

0027 男性 50代

原発の廃炉（第1、第2）、財物賠償が不適（少ない）。

楢葉町だけでは、復旧は不可能ではないか。ペット問題、町は東電の言いなりになっているのではないか。町長への不信感が大きい。

子供達は楢葉に帰らないと言っている。自宅は住宅ローンがまだまだある。先が見えない。

0028 女性 10代

小さい頃から【習い事をしており】、原発事故がなければ【習い事の検定試験を】受験の予定であった。【習い事に使用するもの】は持ってくる事が出来なく、レッスンはできない。賠償は未定。腹が立って仕方がない。

着の身着のまま犬だけを抱いて避難した。避難場所を転々としても一緒に避難したのに、借り上げ住宅はペット不可で一緒に住めない。ペット可の住宅を探しているが見つからない。親戚に預けて、毎日散歩に通っているが、大変だし、犬も病気をしたり、かわいそうである。早く一緒に住みたい。放射能が心配で楢葉町に戻りたくないが、その賠償はどうしてくれるのか聞きたい。生活が全て変わって、大切なものをたくさん失った。進路も変わった。原発事故は人の人生を変えた。

0029 男性 20代

避難生活が二重生活なので、生活費（水道代、電気代、食費代）が大変かかってしまいます。

警戒区域の見直しが早いのではないのでしょうか？ ライフラインの復旧・復興をしてからでも良いのでは…。

財物賠償が分かりにくいので説明してほしい。

0030 女性 50代

- ・避難するときと一緒に避難したが、戻るときは一緒に難しい。原発事故の恐ろしさ、難しさを感じた。
- ・除染が最優先課題。しかし、きりのない除染にお金をかけるなら、皆で住める住宅を作ってほしいと思う。庭いじりが好きだったが、帰っても出来ない。
- ・年金をもらうまで、まだまだ働かなくてはならないのに、なかなか思うようにいかない。
- ・家に自由帰宅になったものの、ドロボーの心配や不安なことがまた1つ増えてしまった。
- ・東京電力へ 地域振興や雇用確保、町の財源にも恩恵を受けてきたのは事実ですが、着の身着のまま出てきた私達にしっかりとした賠償をしてほしいです。

0031 男性 60代

除染には協力しますので、1日でも早く町の再生に力を入れて下さい。

0032 女性 50代

家に帰って一番感じたのは玄関から草。【そこから】2メートルもない家に入る事が出来ない、早くあの草を刈って下さい。家の中に入る事が出来ない。ハチ、蚊、蛾がいっぱいで、刺されて医者に行く有様です。一日も早く草を刈り、除草剤をまいて下さい。

0033 男性 30代

- ・解除になっても、現在のJヴィレッジがある限り、不安です。
- ・Jヴィレッジ～1Fまでのバスの行き来
- ・タイベックの汚染されたゴミ
第一原発～Jヴィレッジまでは、檜葉町が解除になったが、バス・トラック・自家用車は来ないで欲しい。
- ・解除になって、イメージが悪い!!
- ・Jヴィレッジにいる友達（東電）が多すぎ!!

0034 男性 60代

財物賠償基準の内容を明確にし、厚く補償すべき。

警戒区域を解除するならば、原子炉建屋を覆い、放射性物質が拡散しない状態で解除すべきではないか。（使用済プールからの放射性物質の放出）

双葉郡の町に子供が住むような産業の再生、復興が一日も早く出来るか、心配である。（国・県は双葉郡の復興にもっと努力すべき）

双葉郡内の子供で、就職出来ないでいる人が多数いるので、声をかけあって就職に向けて活動してもらいたい。

0035 男性 70代

仮設住宅を自宅の住居と間違えている人達がいる、非常に嫌だった。

年をとっていきにしたがい、自宅に行っても片付けや家のまわりが体力的に出来るかどうか心配だ。

異郷では死にたくないと思う心だけです。

財物賠償基準の金額が低すぎる。

国と東京電力は正確な情報を発しないため、何を信用して良いか分からない。町は、職員がそれぞれにてんでバラバラで、云う人ごとに違うので戸惑いました。

0036 男性 60代

今回でアンケートに答えるのは4回目くらいになりますが、現在まで、アンケートに基づき、政府で取り上げたものは有りません。避難者は、政府の指導により、すべて終わりです。町議は落葉、町長は枝くらいにしか考えていないようで、しょうがないです。説明会で～省・～省の担当者が来て説明をし、町長より意見を聞いたり、お願いしますが、「検討します、大臣に伝えます」だけで、回答が来た事は有りません。政府に従いなさいと感じ取れます。

0037 女性 70代

避難生活は文字で示しているように、元の檜葉町での自分の生活のようではありません。帰れる迄堪える暮らしです。

今一番困り、心配している事は、一日も早く帰りたい檜葉の家の裏に何本も孟宗竹が出来て家が壊されそうです。一日も早く切り除いてほしいのです。お願い致します。今月8月13日にお墓参りで見つけて、がっかりしています。いつもは竹の子の時に土から出ていれば取り除いておりましたのに!! よろしくお願い致します。家が壊れないうちにお願い致します。

0038 女性 40代

津波により家は全壊しています。そのため、いずれは家を建てなければなりません。避難区域になった場所に、これから中間貯蔵施設ができるかもしれない、はっきりしない場所に家を建てるつもりはない。

中間貯蔵施設の問題がはっきりしてから見直しをして欲しかったと思います。解除にすることを、町民が喜んでいないと思わない。

0039 男性 70代

今まで経験したこともない出来事で人生が大きく変わってしまった。原発は安全だと、皆がそう思っていた。町には原発によるお金がどんどん入って、公共施設も整備され、原発で働く人も多く、まさに原発の城下町だった。原発様々の考えが町政に行き渡っていた。城下町は崩壊してしまった。町・東電は、地震・津波の天災を盾にとって責任をとらない。私達はお金のために大切な魂まで売ってしまった。立派な公共施設でなくても良い、不便でも我慢すればいい。安心して暮せる前の環境に戻して欲しい。過日、除染の説明があった。聞いて呆れた。まるで漫画だ。こんな方法で除染なんて期

待出来るのかは甚だ疑問だ。(例えば、農地の除染方法の一説明では、農地の表土をゼオライトを入れて反転すると書いてあるが、よく聞いてみると、ただ表土を耕起するだけだと云う。ならば反転なんて表現するなと云いたい) 山林の除染などはやらないと同じ。国はただ作業をしたという形だけで、これで果たして除染なのか。結果次第では納得出来ない。また、前の町長のお陰で第1原発の隣町でもないのに、放射能物質の中間貯蔵施設を町に造るという国の発表があったが、断固絶対反対だ。そんなものを造られては、町には帰らない。本気で怒っています。前町長は【略】。

0040 女性 60代

どうかこうにか自分なりに、いわき市の方、避難者の方々と交流したりして過ごしている。(色々な方にお世話になっています)

光熱費

- ・プロパンガスが高い。風呂のみで冬場は13,000円。調理時はカセットボンベを使用中、夏場で6,000円。
- ・交通量が多く、もし事故でもと思うと運転が出来ず、徒歩で行動中。(独り出の時は...)
- ・部屋が狭い。収納場所が無い。暗い。(風呂とトイレ)
- ・騒音が朝まで続き、夜間、浅眠気味。

周辺の散策、散歩。公園で過ごす。人との出逢い。言葉(おしゃべり等)。

特になし。

国に対して

- ・高速道路を一日も早く開通してほしい(鉄道の代用に)
- ・国道6号線を一般町民にも使わせて欲しい。(まで行きたい)
- ・川内街道も同様。(に行きたい)
- ・高速道路の無料化延長。(離ればなれになっている孫に会う為。これは是非とも...特に願っています。)

楢葉町

- ・除染。
- ・インフラ(上下水道)。
- ・宿泊を早期に許可してほしい。月に4~5回くらいは我が町でゆっくりと眠って心身を落ち着かせたい。

東京電力

- ・原子炉を可能なものは稼働して、40年経過したものから廃炉にして次のエネルギーに変えていく....。
- ・我が町も東電には少なからず恩恵を受け、町が良くなったと痛感しています。こうなった以上、前向きに感じ、最善の方法で、生活したいと思います。

0041 男性 70代

1. 復興特区

中間貯蔵施設を受入れざるをえない状況のなかで、町政活性化、交流人口増をはかるため。

保育園から中学生まで、子育て一貫教育を行う環境づくり、施設を拡充する。

高齢者向け施設を誘致して、高齢者コミュニティのモデルづくり、医療機関の充実をはかる。

Jヴィレッジ、ゆずの里の特性を活かして、檜葉町を訪れる人達にPRし、情報発信する。

2. 原子力

原子力事故による原子力否定、脱原発の心情を理解出来るが、日本のエネルギーの安全保障の観点から「原子力は当面必要」とするオピニオンリーダー不在で、メディアには期待出来ない。外交・防衛・エネルギーは国策課題だが、先行き不安、不満がつゆる。

100万kWの電力（原子炉1基分）を生産するには、原油量200kl/h消費する。1日当たり4,000トン以上になる。化石燃料輸入に依存するか、石油代替エネルギーを併用するか、検証する方法があるはずと考える。

0042 女性 40代

避難が始まり、実家、住宅、現在の借り上げアパートの住まいと、約1年で3回の引越しをしました。未だに不安があります。

現状で、子供が中学1年で、高校はいわき方面にと考えているが、高校までにいわきへの移動が出来るかとても不安!!

あの震災で多くの尊い命が失われる中、私達家族は誰一人怪我や欠けることなく無事だった。生きていればどんなに辛くとも、前を見ていけると子供達と話ができた。この我が子を良き社会に送り出すまでは、自分が健康でと考えられた事を私自身の心の支えにしたいと思います。

財物賠償については、未だに前に進む事がない!! とても国や東電に対しては不満や不信感が拭えない!!

とにかく檜葉町に帰りたいじゃなくて! あの震災・原発事故前の生活に戻してほしいだけです。将来、我が子や、孫やその家族が檜葉町で安心して暮せない町に戻っても意味が無いし、町も活性化など無いと思います。また、除染作業がどこまでの効果があり、莫大な税金が投入された事に、私自身すごく抵抗があります。国はそんなに除染が大事ですか?

0043 女性 70代

地域の人達の温かい思いやりに感謝している。

体が不自由なので、外出することができない。

兄・妹の励ましや物資の支援は有難かった。

財物賠償など、個々に知らされないの、わからないです。新聞に出ていたようですが?

借家に住んでいて、別な家に住む住宅など、檜葉に作ってくれるのでしょうか? 賠償などの相談にも交通の便が悪く、一度も出かけられずにいます。自宅(借り上げ住宅)までは来てくれるのでしょうか?

0044 女性 50代

再編の区域で、財物の賠償金額に差があるのは納得出来ない。実際、今までと同じような生活に戻るには大変な労力が要るし、期間がかかるのだから、その辺をもっと考慮に入れて補償の事を考えてほしい。

0045 女性 70代

一時帰宅が自由出来るようになって、電車が広野駅迄であり、車の運転が出来ない私等は帰る事が出来ません。せ

めて月に3回ほどでも、“バス”でもあれば、家の戸を開けられるのと思っています。帰宅が自由になった今でも、帰る事が出来ません。家も修理しなければ、住めないほどでもないか？ 戸の開閉が出来ず、土間が大部ずれている。天井も一部落ちそうですので、今一番の問題として、交通機関であり、私としては以前と何も変わっておりません。庭は雑草でどうにもなりません。1日も早い除草をお願い致します(除染)。また、役所をお願いしたいことは、半壊か一部半壊と査定して欲しいのです。暑い中ご苦労様です。よろしくお願い致します。

“送られてきた檜葉広報の中で、帰宅出来ない人のバス送迎の日付がありました”

0046 女性 60代

原発現場が危険な状態の中20km圏もどンドン一方的施策のもとに避難解除されてゆく現状が歯がゆい。元が危うい収束、廃炉に向けた方法方策も定まらないままモンスター東電配下でいよいよ飼われるモルモットになって、以前以上に原発補助金という麻薬にどっぷりつかって、それを自ら断ちきる勇気も何もなく、再び思慮もない恥も知らない町民として暮らし続ける道を選ぶのかと思うとつくづく情けない。さらには一部の意見として雇用のためと第2原発の再稼働などとのたまたま話に至っては、町は何を考えているのかとやるせない気持ちだけが強くなります。

町内に中間貯蔵施設の設置を多少でも考えるのであれば除染費用は無駄使いになるからどうせ帰還する環境になくなるわけですから除染はせずにその費用をそれぞれの賠償資金(町外で生活できる)に充ててほしいと思います。中間貯蔵施設の設置、原発20km圏内であること2条件イコールそこに住民は住むべきではないと考えます。早く賠償金を確定して次に進ませてください。

0047 男性 60代

ふる里檜葉町の復旧・復興を願っている。現実的にはライフラインや除染などで人が住める環境にもどしてほしい。同時に富岡・大熊・双葉・浪江を通して南相馬市との物流が確立しないと復興は加速しない。一日も早い連絡等の整備が大切であると思う(袋小路ではどうしようもない)。なお、子供を戻す(学校など)ことには慎重に対応してほしい。健康を考えれば一番最後にならざるを得ないと思う。

0048 女性 20代

東電の賠償の仕方はいかにもお役所です。ゴネる人には多く出している。実際同じものでも出ている人と出ていない人がいる。その上、働かないほうが何だか得をしているような気になってしまう。まるで麻薬みたい。人をダメにする。目先で黙るように支給しているのではないかと思う。

「町について」警戒区域見通しの通知は全く町からなかった。私は見直しをメディアで知った。しかも具体的な除染計画も明確になっていない。これからどんな計画で町民を呼び戻すのか、どんな考えがあるのか不明。補償があるから住民票を置いている人が多いだろう。事実私もその一人だ。

「政治家について」野党は原発事故について与党をつつくけれど原発を推進したのは今の野党ではないのか。それを棚に上げていることが一番許せない。どうして立場がかわっただけで責任もなくなってしまうのだろう。

「県知事について」今の佐藤知事が知事になった本当の理由を教えてください。Jヴィレッジを建設してくれた東電。そのJヴィレッジの持ち主が知事だということをみんな知らない。

全てにおいて。危険なものは弱者に回っている気がする。うまい話をぶら下げて。地方は苦しい。それに飛びつかない手は無いに決まっている。けれど、受入れてしまった自分たちも悪いといえば悪い。こんな事になるなんてと本当に思った。だから再稼働なんてやめてほしい。起こってしまったのはすべて手遅れだ。畑で作業をしたり、外に洗濯物を干したり、ペットと暮らしたり。そんなこともできなくなってしまった。それが一番悲しい。何も高い車を買いたいとか、良い家に住みたいとかそんなことは思わない。お金なんかいらぬから全部戻してほしい。できる事なら家に帰りたい。でも無理だと思う。自分はリスクをしょってまで帰りたいとは思わない。病気になっても誰も責任をとるわけではないから。

0049 男性 60代

避難生活に慣れすぎました。

外は除染してもらっても、中の掃除の事を考えると頭が痛いです。自由に出入りできるようになったといっても、掃除に通うのは疲れますし、ガソリン代もかかります。

近くに親戚がいるので、いろいろ助けてもらっています

家に帰って驚いたのは、畳から家具類すべての物を買替えなければならず賠償内ですむかどうか...

除染の現地説明に行ってきましたが、説明する人によって各家々の除染の仕方が違う様なので、業者間、一律の指導をお願いします。

0050 男性 60代

- ・避難生活をして毎日考えることは人生が狂ってしまった。無駄な生活をして何も想像ができない。
- ・余震もあり今後もっと大きい地震の発生が懸念されている。放射能の漏れもあり冷却水も一時間もの水漏れもあり、大きな地震発生で原子炉建屋は大丈夫か...? 不安です。
- ・国・町は警戒区域の見直しは時期尚早で、住民のための計画ありき。現実的な対策とはなっていない。なぜ、早期の見直しを行ったか、低線量であるか被曝しても何ら変わらない。「大丈夫」、この発言は住民をモルモットと同様な扱い、人権無視そのものであります。完全に除染を行った後に安心できるから帰還するのが人間性のある政治であると思う。解除の早期を後悔しないでほしい。
- ・家屋室内の除染は専門知識のある東電の放射能であるから東電社員が行うべきである。
- ・財物賠償は家族構成で行うのではなく個人個人の物件を基に保証すべき。
- ・行政は若い人、老人達の温度差はどう考えているか、子供たちや親たちは町には帰らない、なるべく放射能の少ない勤務地に近い地域に住むという。老人達は、仮設住宅は「いやだ」、「ストレス」から精神不安を感じる、汚染された我が家で死んだってよいという。先々の失望感が漂っている
- ・復興には第2原発の再稼働をもくろんでいるが、これ以上原発で不安にさせないで下さい。産業として原発、放射能がある限り社会は簡単に風評被害の払拭には耳を貸さないだろう。商品として売れないし、買わないだろう。楢葉町は、山、川、海、日光明媚な所で山を、除染をしながら風力発電、木戸川の川べりには山型の水力発電、農業用水路を改造して小型発電を、また、農地、水田は汚染されているから太陽光発電、国からの補助金をうけて原発に代わる発電を行えばクリーンのイメージが発想され復興が早く進むのではないか。脱原発を掲げなければ楢葉町は復興できない。まして中間貯蔵庫が設置されれば町には戻れないでしょう。

0051 女性 20代

体に障害がでてきて、困っています。医者にかかっても、(三か所以上の病院にかかりました)みんな「わからない」と言われ続け、快方に向かえません。

仕事は派遣で安定しておらず、休みもとれません。そのため遠くの医者にも通えず、電話の相談も利用できません。メールなどを利用した相談手段ができたらと思います。

0052 男性 70代

要望を申し上げます。私は70代になる高齢者です(男)。避難生活はもうたくさんです。人生先が見える高齢者の考えは財物の賠償等よりも、一日でも早く、自分の家で宿泊生活出来る事が一番の願いです。警戒区域が見直されて出入りは自由になりましたが、泊まれないのが誠に悲しいです。人生の残りを檜葉町 生まれ育ったところで過ごしたいと思っています。毎日の様に家に行っていますが帰りには涙です。原発をなくして安全安心の日本になります様願っています。

0053 女性 40代

- ・警戒区域の見直しで、盗難、空き巣などがとても不安!
- ・賠償金も見直しで減少になるので納得できない。

0054 男性 50代

町長にはもう少し広い視野を持って国、県との対応をしてほしい。双葉郡のおかれている状況は同じではないのだから、それぞれが時間をつかって早い復旧を始めて欲しい。自然災害など助けを必要とすることは、これからも起きてくるし、起きている。いつまでも支援を受ける側ではいけない。

0055 女性 40代

県外に避難しているので、情報が(檜葉町)遅くてこまります。県外にいる方には早めに情報を送ってほしいです。

0056 女性 60代

これからの生活がとても不安です。家族3人で仕事をなくしてしまい、毎日がとても不安でなりません。

0057 女性 50代

復興・復旧の工程をしっかり守り、その状況をホームページなどで目に見える形で知らせてほしい。そしてできればもっとスピード感のある対策をお願いしたい。長引けば長引くほど戻る住民は少なくなり、高齢者は体調を崩し、我々の世代でも精神的に限界のところまできています。国は結局過去のことしか考えていないように思えるので、町が主体的に対策を立てて復興に向けてやるしかないと思います。

0058 男性 40代

国・東京電力はしっかりとした賠償をしてもらいたい。土地・建物・生活環境をしっかり考えてほしい。

0059 男性 60代

震災から現在まで7回も移動して不安な毎日を過ごしています。慣れない町での生活はとてつらいです。帰りたい気持ちがつる一方、帰れるようになるのはあと何年先なのかといつも考えています。子供が来ることがない街には住めるのでしょうか。

0060 男性 30代

これから除染を進めていくといいますが、各地区の除染状況を聞く限り、たいして成果が上がっていないように感じます。形だけの除染を行うのであれば、それは一部の人たちの金儲けに過ぎないのではないのでしょうか。それならば櫛葉町が先導きって、中間貯蔵施設の建設を進め、今全国にあふれている放射性廃棄物を引き受け、日本国のために櫛葉町が今こそ動くべきではないのでしょうか。それに伴い、櫛葉町に帰町する人々にとっては大きな問題になると思いますが、除染費用を新たな土地買収費用にあて、新たな櫛葉町を汚染されていない土地で改めて作り直すというのでしょうか。そうすれば子供たちも安心して住める街を作れるのではないのでしょうか。町というのは次世代を作る子供たちによって作られていくものだと思います。もう一度、真剣に、真摯にお考えください。よろしくお願いします。

0061 男性 70代

仮設住宅、借り上げ住宅共に、公平な支援物資の配布、公平な待遇をお願いしたい。

0062 女性 40代

私達は、昨年4月、仕事や子供の学校の事などを考え、まだ不安だったいわき市に戻り、自分達でマンションを借り、生活を再開させました。お金も自分達の財産(預金)を切り崩し、必死で生活していました。その後仮設住宅が建築され、避難されていた方々も住める事になったのですが、いまだに仮設に住む方と私達借り上げ住宅の者達に優先順位があって、納得できません。町としては、借り上げ住宅の人達は自主生活ができる資産を持っていて、支援しなくてもよいみたいなどころがある。物資はすべて仮設で配られ、私達にはほとんど配られない状態です。私達は別にお金を持っていたから借り上げに住んでいるわけではありません。その当時は、生活を始める為には自分達ですべて決めて生活をスタートしなくてはならなかったからです。町には、平等に同じ町民としてこれからも接してもらいたいと思います。

0063 男性 40代

・仮設住宅と借り上げ住宅で差別感を感じている。仮設であると物資面やコミュニティが充実しているが借り上げはない。

コミュニティで【コミュニケーションを】図りたいが、そこへ行くまでの交通手段がない(孤立している)。町としてももう少し住民間のコミュニティの充実を図ってほしい。

・自宅に戻りたいが、室内除染をどうすれば良いのか。高齢者がおり、独自の除染は困難と考える。

・賠償はどこまで対応してくれるか。自宅室内の家財は汚染され使用できない(除染しても不安)と考えている。すべてを廃棄した場合、それを補償してくれるのか？

0064 男性 70代

仮設生活を早く解決して、のどかな福島県民にしてほしい。安全安心である東電の神話は偽りであったのか。私は高齢者です。ストレスで体の調子の悪い時もあります。

0065 女性 50代

とにかく今は、一日もはやく心穏やかに楢葉町で暮らしたいだけです。

0066 男性 70代

政府の発表によると、中小企業の賠償は27年2月まで、給与所得者は26年2月までとなっているが、企業の業種により、定住人口が従前近くに回復しないと再興不能な営業損害と、就労不能損害の賠償は企業再興となるまでの期間、継続されるよう取り計らい願います。結果は広報紙等でお知らせください。

0067 女性 70代

楢葉の帰還アンケートの結果として、帰町希望者の70%強が高齢者とのこと。もし帰還したとしても人数は増えず減るばかりのところでは生活するのは、夢も希望もなくなってしまう。今帰町が2年先か3年先か見通しが見つからないと、歳を重ねるごとに、帰町に不安を感じてしまう。現在、季候的に生活する上でも便利で住み良い、いわき市に住んでいて、これが長期間続くと帰町の壁にこぼまれてしまう危機感を覚えてしまう。警戒見直しにあたって自由に出入りできる様になったもののライフラインの復旧がなされず、掃除もままならず、何の為、家に帰るのか意味がない。警戒区域が見直しされた故、防犯上かえって不安が募るばかりである。早急にライフラインの復旧と除染をのぞむ次第である。ご協力ご支援の程、よろしく願います。

0068 男性 60代

- ・除染もライフラインもできていないのになぜ解除になったのか
- ・【製造】業であるが、会社のことと 機械は使いものにならなくなっている為、新しいものを買うことはできるのか。問屋が離れてしまい新しい営業をしなければならぬがうまくいくかどうか不安。
- ・ベテラン社員はもどってくるのか。
- ・若い人は住んでくれるか(社員がいけないことには、仕事は不可能)。
- ・【略】息子が受け継いでくれなくては、【事業再開】はできない。息子は帰らないと言っている。

0069 女性 30代

【住所記載あり、資料あり】

原発事故で原発難民だ！ 浜通り(双葉郡)は消滅しますよ？

もっと国と東電に補償・賠償を請求しないとだめです。除染の遅れと除染範囲が屋敷から20mと決めて、私達には管理区域内で生活しろと言うばかりです。除染は徹底的に行い、前のB.G.(バックグラウンド)まで線量を下げるべきです。国と

東電は前の状態に戻すべきですよ!

補償・賠償は永久にするべし!

除染は徹底的に行う事!

双葉郡を前の状態にする事!

原発を推進した国・東電は重大な過失あり!

国がコストを優先した結果、事故を起こした!

原発の安全対策を馬鹿にした結果だ!

原発は生命・財産を全て奪った。責任ははかりしれない!

一日も早く故郷へ戻れる事を信じて、市で生活します。よろしく!

追加 参考資料 6p あり 作成【氏名あり】 確認の方! 国にも提出するべし!

0070 女性 60代

財物の賠償に関する事はまだ何も届いていません。義理の父(80代)は東京へ行っているため何もできないと思うので、賠償の書類が欲しいです。

【住所記載あり】

仮設の一人の部屋が4,5人の部屋で狭いので二部屋の所望しいです。娘達が来ると大変狭いので、二女は市(【津波被害が甚大だった地域】でした)全部流され現在で(知らない土地)過ごしているが、時々来るのです。家が無くかわいそうです。

これからは二部屋の仮設をつくっていただきたいです。一人でも...

の財物の書類お願いします。

0071 男性 70代

早く楢葉町に帰りたいです。

0072 女性 60代

中間貯蔵施設作ったら、除染が進んでも若い人達は将来の事を考えたら帰らないと思います。私は定年になり自分で建てた家に退職金を全部費やしリフォームしたばかりで、これからという矢先で3.11に合い、原発事故が無かったらこんなに悩まなかったのに。

0073 男性 60代

一時、県外の親戚のところにか月避難したが、何ら支援がなかった。いわき市内の借り上げ住宅を見つけ物資の支援を求めたが、断われた。支援に格差があると感じた。

避難以降、父はうつ病、母は看病疲れから脳出血により介護施設へ入所、家族がばらばらになった。稲作、畑作は有機栽培を実施中だった。退職後はこれらを拡大し販売を計画していたが田畑家畜が出来なくなり、目標がなくなった。

今後は土産(農作物)が出来ずに、農産物購入で生活が苦しくなる。

一方的な財物賠償基準を作成したことには問題あり。

原発事故前の自然を取り戻すこと。

0074 女性 50代

ソ連のチェルノブイリは25年たっても人が住めないのに、楢葉町に住めと言うことが無理だと思います。除染をやって半年もたたないうちに元に戻ってしまうようでは、除染した意味がない。やはり原発の炉心棒を抜いて完全な状態にしてから帰る事を考えた方が。

家は雨漏りして家自体が壊れているので、どうやって除染をするのか分からない。国や東京電力に家と土地を買ってもらいたい。大丈夫というなら議員や東電の偉い机の上だけで話をしているような人に先に住んでもらいたい。

0075 男性 40代

国や東京電力はもっと真剣に取り組んでほしい。増税だと言う前に国会議員の数を減らして給料は半分…。今の私達の状況を考えたらそれでももらい過ぎだと思う…。東電の社員にしてもそう…。賠償の相談にいったい何人の人員をよこすのか…。一日に何十人しかこないのに東電社員が7人も8人もいる必要があるのか、仕事を失った辛さを何人の国会議員や東電社員が理解しているのかはなはだ疑問である。

0076 女性 60代

今一番つらいのは、家を津波でなくした友達や親戚がみんな、楢葉町には帰らないとっていること。自分は高台の家だったので助かったが、今まで茶飲み仲間だった皆が周りからいなくなってしまう。それと、息子に子供ができれば家で一緒に暮らすつもりだったのに、息子はもう楢葉町には帰らないと言う。私たちににとっての初孫ですごく楽しみにしていた。原発を理由にされると私たちも帰ってきてほしいとは言えない。やはり、地震・津波・原発のせい。本当に悔しい。

今住んでいるところあたりに家をほしいが、東電・国・楢葉町からの金ではとても足りない。できればそれなりの賠償をしてもらいたい。一度盗難にあった時も東電は何もしてくれなかった。大事なものをたくさん失っているというのに。

0077 女性 40代

国はなぜ避難基準を年間1ミリシーベルトから20ミリシーベルトにあげたのか。低線量被ばくの影響も不透明であり、我々は人間扱いされていない。生きてる間に補償してほしい。「何もなかったこと」にするのは許せない。

町は警戒区域見直しに反対する町民の声を無視し、町民帰還と復興のことしか考えていない。楢葉町に住み続けることで差別されることもあるだろうし、戻らないことを選んだ町民にも平等に接してほしい。

避難指示解除準備区域が解除されても、事故前の生活に戻るまで賠償が続くよう、弱腰にならず毅然と訴えてください。最後に、除染はあまり効果がないと聞きます。除染にかかる費用を町民自立のために使ってください。

0078 男性 70代

2F 原発は歴代政府(中曽根ら)東電(木川田)県(木村)らによって楢葉町長(富岡も同じ)と議会を騙し、地権者にすら秘密に誘致させられたのである。1Fも同様である。いくつかその証拠が残っているが、例えばS42年11月の楢葉町議会全員

協議会議事録など。

「安全神話」と金。安全対策は二の次。真面目な住民の声は無視。良心的科学者技術者排除。米ソ事故・国内事故の教訓無視...書ききれない...で強行されてきた結果が今回の事故である。住民らに何の瑕疵があったか。こうした経緯を知るなら、被害者に対して“要望”の表現は極めて不適切である。“させるべきこと”とすべきだと思います。「要望」の認識で「復興」をいうのであれば失礼ながらやめてほしいと思います。

少なくとも立地4町の復興は、1F・2F原発の完全廃炉、廃炉に伴う全放射性廃棄物の完全管理(最終処分地は1F・2Fの現地以外ない)終了後でなければありえない。安易に復興をいうことは、原発建設とその後の経過を見ないであれこれ言うのと同じく、無責任だと思います。

3.11の原状は100年先でもどうかと思います。それでもその先の人々が安心して住めるよう最大の努力をしなければと思います。住民の意見はすべてにおいて真っ二つになると思いますが、それでも住民が主体の復興でなければ真の復興にならないと考えます。上述の如く民意無視の結果が3.11です。

0079 女性 60代

警戒区域の見直し、これは除染もされてない。インフラもだめ、原発の4号機もあぶない。これに又中間貯蔵の件。こんな状態では先が不安で楢葉町に住む人は本当に限られると思います。

東京電力の賠償問題これも必要最小限の品物を購入したのですが、支払いの段階になると納得がいかないです。

とにかくこれから先まだまだ問題は山積みです。国、東電の言う事に惑わされる事なく楢葉町の町長さんも後何年か先町民全員が夢と希望を持ち毎日が安心して暮らせる楢葉町にしてほしいと思います。これは町民全員が願う事と思います。

0080 女性 60代

今の私は家族6名でアパートに住んでいます。楢葉8月10日準備区域によりお盆にはお墓にも行き線香をあげて、いざ家についた途端、腰が抜けた。新しい家も古い家も皆同じ草いっばいで情けない。それでも家の中に入れば、(かびがくさくても)なつかしく、でもやっぱり涙、涙、涙。皆とアパートにいと孫や若い人たちとケンカになりそうで一人で悩み、自分の部屋がほしくて仮設に。4,5人の部屋で、フンを敷いたらその部屋はいっばい。家にいる時は自分の部屋が10畳の部屋、台所が3ヶ所もあって、80坪の家に住んでいた。それを考えると今が情けない。

それでも毎日若い人たちの為と思い、夕食の用意と孫を見るため仮設とアパートの往復です。早く大きな家に帰りたいです。

0081 男性 50代

避難先の人々に快く支援や相談にのっていただいた。

被害者(町民全員)が生活再建できる基準を示すべき。区域見直しに関係なく、一律に賠償すべき。国は東電任せにしなくて、国が責任をもって、生活再建できる施策を講ずること。

町が復興するためには、町民ひとりひとりが意識を変えることが必要ではないかと思う。(双葉郡を、ひとつのまちとして考えるなど)。

支え合う心といかに生きるか、皆で!!

子や孫が住んで、誇りを持てるまち。未来に夢がある子供たち小中高生の意見や意向を聞く。

町では震災前に子供議会等を行いまちづくりの参考にしてきた。全住民のまちづくり、今こそ。

行政区長の連携

行政区長へ権限をもっともっと。今だから。

- ・行政区民のコミュニケーションをもっと深めるため
- ・今までの行政区民のつながり、縁をとりもどすために
- ・震災前の部落の件を、復活させることが大事と思う。

調査いただいている大学の先生、生徒のみなさん、ご支援いただいていることに対し感謝いたします。ひとつお願いがございます。我が町の人々は先祖から伝えられた我が町の人情、文化、気候、慣習、習慣、決心、支え合いで暮らし、生きてきたことを想ってください。

多くの榊葉町民に会ってください。聴いてください。これだけでも大きな調査になると思います。

0082 男性 50代

不便そのもの(3人部屋の場合、3部屋ほしい)

買い物が不便である

親族が来て、はげましてくれたこと

国...原発ゼロ、強く望む

榊葉町...中間貯蔵施設を強く反対する

東京電力...原発廃炉を強く望む

0083 女性 50代

今回の事故で家も失い、仕事も失い、収入も失い、ふるさとも失い、ペットも失い、すべて失ってしまいました。悩みもたくさんあります。この先の生活がすごく不安です。私たちが今まで通り安心した生活がおくれますように東電、国に切に要望いたします。

0084 女性 50代

避難前は自分のペースで農作業をしながら、ゆっくりと毎日暮らしてきた母ですが、今は何をすることもなく、何をすることも出来ずに、早く榊葉に帰りたいの一心です。

警戒区域見直しで自由に立ち入ることは出来るようになったので(テレビ・新聞等の情報で毎日榊葉のことを知ることが出来、)どうして今すぐに帰れないのだと繰り返すばかりです。母はこの震災でもの忘れ、痴呆が進みました。小さいアパートの中で、自分の思いをぶつけることも出来ず、年老いていく母を想うと心がつぶれてしまいます。母の青春時代は戦争で終わり、今ゆっくりと生活が出来ていた毎日だったのに...どう思われますか？

0085 女性 40代

原発収束していないのに、解除するのはおかしいと思う！ 原発事故後、家族は離散したままです。小さい子供を連れ県

外で、暮らしているので、以前のようにスッキリとした気持ちではなく、将来の不安がいつもあります。

警戒区域が解除になっても、子供を住ませたくはありません。家を建てかえ、まだ3年しか住んでいなかったのに、ローンだけが残っています。その他、土地を何件かの方に、貸しています。

手放したくても、手放すことはできるのか、心配です。

私と子供達も、いつまでも県外にいるつもりはなく県内に戻りたいと思っています。でも今はいわき市には借家がない状態なので、戻る計画もたてられません。

3.11.後、想像もしなかった恐怖と不安な思いになりました。お陰様でずいぶん子供達と共にたくましくもなれました。悪い事ばかりではなく、沢山学んだ事もあります。でも子供達も放射能に対する不安な気持ちは、一生持ち続けると思います。将来が明るくなるように事を運んでほしいです。

一人一人が少しでも明るく暮らせるように、真剣に取り組んでほしいです。お願いします。

0086 男性 70代

- ・原発は収束しているとは考えられない。現状は原発の建屋の状況を考えると、常に放射能を放出している状態と思う。23.3.11.の地震で原発全体(建物、配管、配線、コントロール装置等)に相当のダメージを受けているはず。その後の繰り返し起きている地震で、相当損傷大きくなっているのではないかと思う。とても心配だ。
- ・私は第2原発から4km圏内に住んでいる。第2原発の事故について、具体的に説明されていないが、大事故になる一歩手前だったと聞いている。もしそれが本当なら最悪の事を考えておかなければならない。
- ・原発の異常時に大事な予備電源装置を海側に設置されていたことを知り、あきれた。
- ・除染について、空から「中和剤」の散布によってできないか？ 中和剤の早急な開発を期待する。

0087 女性 70代

何が何だか分からない。もういやになった。

0088 男性 50代

3月11日から今日まで何も「考える」、自分の頭で「考える」ことなく時間が今の生活状況にしてくれ、借り上げ住宅に入り、子供たちもそれぞれの学校に通うことができます。8月10日から楢葉町の我が家に行けることになり、「さあどうぞ!!」と言われて唾然としました。私たちは家に帰れずに、これまで生活してきたのに何が変わったのか？ 何が良いのか悪いのか。自分の心の中ではまだまだ前に進めません。お盆には父が戻るなのでお墓参りをしようと考えてはいたけれど、その日になっても動くことが出来ずに会津で過ごしました。

まだまだ私としては前向きな考えになれずにいます。今回の「警戒区域見直し」でも何が良くて8月10日を迎えられるのか。まして復旧・復興への行動などずっと先のこと、国、県、町、東電への要望はただ一つ。前の生活が出来るようにしてほしい。

0089 女性 80代

町の再建計画は早く出してもらいたい

(Q43 1)理想として早く進めてもらいたい

【高齢者福祉施設】から 病院に転院して、遠くて、困って居所にもってこられない。考慮してもらいたい。またそれらの情報は知らされてない。

0090 女性 60代

警戒区域解除になっても除染、インフラ整備が出来ない現状で解除する必要があったのか疑問に思う。国、東電は住民にほんとうの事を伝えていない、それが不安である。

0091 男性 30代

東電の賠償は一生やるべきである。1F-1,2号は、欠陥原子炉を無視した県も悪い。賠償が早期に終わる様だったら、町に帰るつもりはない。先が見えない不安でケンカが増えた。

0092 女性 20代

避難する前、榊葉町に住み生活を送っていた時には庭も広く洗濯物を干すにも余裕があり家族分を思いっきり気にする事なくいたのですが、震災後、借り上げ住宅に住むようになってからは、ベランダがかなり狭く自宅にいた時のようにはいかず、普通の着るもの以外に大きいシャツ、タオルケット類など定期的に洗濯したい時などスペースがなければ近くのコインランドリーに行き乾燥機にかけなければいけなかったりと、避難しなければなくて良かった事に無駄な労力・時間・お金がかさむとなると気持ち的なストレスにも繋がります。

私は避難当初、3か月間は 県 市の全然行った事のない知らない土地に行き不安を抱えながらも生活をしていた時、福祉センターという所にいた時には顔も知らない私達に声をかけていただき、困っているだろうからお年寄りなどの方から、支援物資をたくさんいただきました。もし、自分がその立場になったらできない事だとも思いますし、生活に必要な不可欠な物は私達のこれからを元気に進む為に勇気づけられました。

一時帰宅していた時や現在警戒区域解除になり自宅榊葉町に一週間1~2回くらい帰宅し、清掃や片づけをしに行っていますが、避難して家を空けていたため、カビなどにより衣類・雑貨・文具類などにおいが消えず、使用できなくなっているのが現状です。そんな中、東京電力様が申し上げるのは、避難している間新たに買わざるをえなかった物を賠償請求で出していた所1回目~3回目までは出してもらっていたのですが、4回目にも出した所、急にダメだと言われ精神的損害に含まれると言われ、そっちでまかなくて下さいと言われていたのですが、そのお金にはまにあわないほどの物を失っていますので、別にお金を出しても良いのではないかと思います。もっと避難者の立場になって考えてもらわなくては困ります。

0093 男性 60代

・財物賠償基準に関すること

放射能土砂置場を榊葉町にも設置すると国は考えているが、これからも放射能の発生に神経を使うのはたまらないし、風評被害の発生することはあきらかだ。町に残るにしろ、出るにしろ、再生活資金が足りないの、財物賠償額を上げてほしい。

・国への要望

国会の事故調査委員会で、国、東電、原子力村が悪いと結果が出たのだから、厳重な処罰を願います。もし、処罰がなければ、彼らは今後も無責任な行動をする。

0094 女性 30代

子供の学校の事で今悩んでおります。市内の学校に転入させ、お友達が沢山できました。しかし、榎葉町の学校も明星大の敷地に仮設校舎ができます。子供は悩んでいます。今の学校も離れたくない、でも榎葉の学校も行きたい。まだ小学生なのにこんな選択をさせないといけないのか、一番辛いのは子供達です。来年、小学校にあがる子供もいます。まだ6歳、状況が分かっておりません。来年の小学校は何処に通わせれば良いのか、将来の事を考え榎葉の学校が良いのか？園の子達と離れなければいけないのか？とても酷です。かわいそうです。東電が憎いです。

0095 女性 20代

借り上げで今住んでいる所は、借り上げが終了したらどーすればいいんですか？

今までは祖母や兄妹みんなで生活していたのに、避難してからみんなバラバラになってしまいあまり会わなくなりました。娘達も遊び相手が居なくなってしまうさびしそう。

今この状況でなぜ立ち入りを許可したのか分からない。解除になんの目的があるんですか？解除したからって前みたいに子供達がなんの心配もなく外で元気よく遊べるようになるんですか？

少数の町に戻りたいという人の意見を取り入れての解除なら納得いかない。将来ある子供がいる家庭の人からしたら迷惑な話です。

元の警戒区域に戻すべきです。家を掃除したいなどの人は、一時立ち入りみたいな感じで行って掃除すべきです。

0096 男性 70代

除染して放射能が0にならないと帰町は絶対しないと考えます。

元通りの家をかえしてほしい。地震だけならすぐ修復、修繕出来たのに、放射能のせいで帰れなかった。だから責任をとってもらいたい。財物の基準が示されたけれど、とても納得のいく金額ではないです。

家に帰るガソリン代を補償してほしい。

インフラも整備されてないのに帰れといわれても国の考えはおかしい。

店やスタンド、病院、生活に必要な施設もないのに、どうやって生活しろというのか疑問である。

町も国にだまされてはいけない。中間貯蔵など絶対反対。仮置き場など問題を起こした所で、処理すべきである。

0097 女性 40代

家を直すにしても、東電のお金だけでは無理。どーすれば良いか分からない。

0098 男性 60代

住宅ローンもやっと終わり、これからのんびりと思っていた所の災害でした。地震と原発事故で今は榎葉町に住んでい

く自信が有りません。現在借り上げ住宅に住んでいますが生活再建はどこにすべきか日々悩んでいます。財物賠償についても金額が低く、家を修理した方が良いのか、それとも取り壊した方が良いのか。いっそ東電で買い上げてくれれば良いのに…。そんな事ばかり思っています。どうにかならないでしょうか。

0099 男性 60代

正直、今でも避難している現状が信じがたく頭の片隅で、現実をさげようとする本能があることを認めざるをえません。去年の三月以前の豊かな自然の中で、あたりまえに、自分の家で作った米や野菜をたべていた生活。近所の人達と兄弟のように生活していました。今は家族も犬も一緒に住むことも出来ません。歩く距離も狭く、すべてが嘘であってこればと思います。

去年は笑うことも泣くことも忘れたようでした。今は人生の空しさをしみじみと考えさせられ、なぜ、生きていなければ、こんなに苦しんでまで生をうけているのかと思う一方で、子供達や孫のことを考えると、しっかりと現実と向き合おうと思いつながら子供と孫は帰れるのかと思いつあぐねています。こんな馬鹿なことをした政治家達の(原発の依存)おろかさ、人間の一部の人達の欲のために、罪もない人間を犠牲にしたことは死んでも許せません。孫には櫛葉に帰りたいと泣かれますが馬鹿な昔の政治家が、毒を空からまいたので帰れないと答えています。この気持ちは、実際に身にふりかかった人間でなければ理解できないと思います。

0100 女性 70代

仮設住宅に住んでいますが、隣の住人の声が聞こえてきてプライベートがありません。

集会所に他県のボランティアの方々に来ていただいて様々な催しをしてくれた事が心の支えとなりました。

財物賠償はとても納得のいく金額を示しておらず出来る事なら家を国に建ててもらい、住める様にしてもらいたい。他の地に家を建てた人もいますが、とても家を建てるお金などなく、地震だけならすぐにも修復、修繕出来ていたのに、今さら帰ってどうこうしなさいと言われても、あの家の状況見れば力なく、とても住める状況ではありません。ただ涙が出てくるばかりです。お風呂もこわれ、天井は雨もりでたれさがり、動物のフンだらけの家の中 たたみはくさり、異様なおいがして、くものすだらけ。

国や東電の人がその状況を見て住んでみたらいいじゃないですか？ こうした精神的ダメージはそうとうなものなのです。怒りがこみあげてきます。なんとか賠償面をへらすことなく誠実に対処していただきたい。

0101 男性 60代

水道水(ダム底の泥)を計らず、どこのテレビもそんな事には知らんふりで、櫛葉は駄目だと思います。3/11日のままで家の中はまだ(茶わん)割れたままです。8/10 帰ってもいいと言われても玄関入って...もう住めるような...とても無理だと思います。涼しくなったら毎日通って掃除をしても、捨てるものもかなり山々にでる事でしょう。掃除してくれるボランティアの方々の手伝いに来てもらいたいです。皆、ほとんどの人達がそう思っています。ダムのそこを計って0になってから住民を帰すようにしてほしいです。

温泉の地下水(原発で汚染水をたれながした現在時間がたてば温泉の水にも...セシウムも出てくるし...一度温泉を始めればとめる事はできないので)について専門の先生方に聞いてほしいです。除染もやらずに住民にお金で...もう解決してほ

しいです。なぜ？ 除染はお金がかかるから...除染の仕方が専門の方とかその仕事をしていた人にやってもらわないと駄目だと思います。全然やった事もない人達のあつまりでは。おそろしいです。

0102 男性 70代

国、東電の財物基準は生活再建には程遠い。状況によって櫛葉以外で生活再建を考えた場合に対応出来る基準してほしい。平穏な生活を破壊した責任として当然の責任である。

国、櫛葉町...危険負担は一部地区にのみかたよらず公平、公正に判断してほしい。

Ex.当地区に何故に中間貯蔵所、仮置場、がれきの圧縮プラント、第二原発と集中している(帰りたくとも帰れないではないか)公平に危険負担を分散すべきである。

0103 女性 60代

私達避難者に対して、これまでも多くの気遣いを示してくださり、また今回もならば町の復旧・復興のための調査をしてくださり心より感謝申し上げます。私達家族は飼っていた猫を含め全員が無事に避難することができ、命があったことに感謝の気持ちで毎日を元気に過ごしております。3/12日午前友人から電話をいただき、いわきの友人宅へ避難し、翌日奇跡的にガソリンが満タンに入れられたので それから へと移動し、現在は 県 市に住んでおります。被災から15日間、無我夢中であちら、こちらへと移動し続けましたが、その間私の心の支えとなったのは、近い将来、自然災害や今世界中で起きているさまざまな問題が、すべて神の王国政府によって解決されることを知っていたからです。このつらい状態はつかのまで、これからは永遠に渡って平和な社会で生活できるというすばらしい希望があることを知っていたからです。また「時を予見しえない出来事はすべての人にのぞむ」(たまたま私達が福島原発の近くに住んでいた)ということも聖書から知っていました。国や東電などさんざん叩かれていますが、関係者は復旧・復興を願って働いてくださっていると思います。あれから一年と6ヶ月が過ぎてしまいましたが、時間が経過するとともに、櫛葉を思い出します。私達も自然豊かな櫛葉町にまた住みたいと思っております。それまでの間、私達には想像もつかないほどに、いろいろな仕事をしてくださっている方々に感謝するとともに、戻れる日を楽しみにしております。皆様くれぐれもお体に留意されますように。有りがとうございました。

0104 女性 30代

新築の家に10ヶ月しか住んでいません。現在、主人は単身赴任、私は子2人と県外へ避難しています。借り上げ住宅があるおかげで生活はできていますが、打ち切りになったりしてしまうと、生活に余裕がなくなるのではないかと不安になります(家のローンも残っている。福島までの主人の通勤。二重生活と、お金がかかっています)。

私は、できたら、櫛葉には戻りたくありません。子供を連れて帰るのが不安です。除染などをしっかりしてもらい、原発のきちんとした収束を願っています。

0105 男性 20代

親が一時帰宅して、足の踏み場もない状態、カビ臭く畳はいたみ、壁は落ち、瓦も落ち、物は散乱し、一年半ぶりに家に入った。この状況で、帰りたと思いますか。さらに屋根が崩れて、雨漏りがして、放射線、ほんとうに大丈夫で

すか。私は地震のあった次の日には へ戻っているのに、今更、帰町する気はないですし、国の人、東電さん達、楢葉町に来て、住んでみてください。

0106 男性 70代

一年以上家を離れている間、家の中はねずみの住処になっていて、あらゆる所にフンや尿、物をかじったクズ・カスがいっぱいであり、へび迄押し入れの中に居たりで、品物全部が捨てるありさまです。それにボイラータンクが冬に凍ってしまって水漏れしてこれらも購入する様になり、いずれにしても家具とか、押し入れはじめ、家の中の消毒は必要でしょう。これらの賠償は別に補償して下さる事。とにかく、当時の事を思い出してください。あの時の思いは、これらの補償はできるはず、いや、してほしいです。日・日が立つにつれ、メランコリーが日々、深くなるばかりです。頭がおかしく寝られない夜が続いています。

0107 男性 50代

警戒区域が解除になった途端、車の賠償の条件が変わってくるのはおかしい。その他賠償も心配です。

0108 女性 40代

<ひとり言です> 地震による被害が少なかったので、建物も家財も大丈夫と思っていた、が、長期の避難により、亀裂が長くなったり、壁がふやけたり、ねずみにより、押し入れの中は糞と尿でまみれ、悪臭を放ち、ふすまには穴があけられ...自由に立ち入りが出来るといっても、結局片づけることもできず、荒れるのも見るだけ...どうして、決めることを決めてから進まないのだろう。帰りたいか?と聞かれれば、帰りたいと言う。でも実際は、帰れる状態ではないだろう。原発は未だに落ちていない。放射能を含むゴミも町内に置くという。第二原発も動いている。この状況の中で、ここに住めと言うのか? 安心だ、安全だと言うのか? 何事かあってまた避難しろということにならないか? 考え出したらきりが無い。誰か知恵を貸して下さい。

0109 男性 30代

避難中に心の支えになったこと、“支え”になったことは子供の存在です。避難生活は私たち親にとっても初めての経験であり、仕事のこと、これからの生活のことを考えると、どうしたらいいのか、どうするべきなのか、まったく分からない状況でした。以前よりもちょっとしたことで夫婦ゲンカをし、一時はこのまま離婚になるかもというところまで親である私たちも精神的においこまれていました…。でも、そうならず、今少し前を向いてこれから将来の事を考えられるようになったのは、私たち夫婦の“宝物”である二人の子供の存在があったからです。子供達の笑顔に何度となく救われました。

私は楢葉町住民が、楢葉町へ戻る、それが復旧・復興であるとは考えていません。楢葉町へかりに戻ったとしても、妻の職場がある は、また避難地域のままであり、戻ったからといっても元の仕事、会社へ戻る、原発事故以前の状態へは、どうしても戻ることはできない。だとすれば、今、私たちが生活をしているいわき市で、新たに生活再建し、これから生きていかなければいけない!と考えています。東京電力、国は、事故以前の普通な、あたり前の生活を送っていたころのようになるまで、新しい土地で生活再建が本当の意味で送れるようになるまで、責任を持って補償していく

べきだと、その責任があると思います。

原発事故により、一生勤めるであろう仕事を奪われた人たちが大勢いる事を、人生を狂わされた事を、もっともっと東電の人、国に分かってほしい。

0110 女性 30代

早く安定した生活がしたいです。10年20年先の見通しがつく生活です。子供が来年、幼稚園に入園するのですがどこへ入園させたらいいのか分かりません。転校ばかりさせるのは親として苦にしか思えません。12月に3人目の子供が産まれます。面倒をみてくれる両親を呼びたいのですが、現在の住まいがせまいので呼べません。売家や売土地を手あたりしだいさがしてはいますが檜葉の家と同じ条件の家がなかなか見つかりません。いわき市にある土地を、原発避難の家族に安く、提供して欲しいです(できれば高齢者、小さい子供のいる家庭などの優先順位で)。

0111 女性 70代

原発が出来る以前の檜葉町に戻してくれ。

0112 男性 60代

県の借り上げ住宅に避難しているが部屋が狭い。駐車場が一台しかなく他の車は自分で駐車場契約している。仮設住宅と違い、周囲に知り合いがいない。

財物賠償に不安がある(基準が自分達にどこまで該当するのか)。6月以降の賠償内容。

町民の意見を優先して国・東京電力と意見交換してほしい。

0113 女性 50代

避難先が次々と変わる中で、ストレスが原因で頭痛や不眠の症状に悩まされ外出をためらったり、部屋に閉じこもるようになりました。

自分の体調管理をしなくてはならない不安と障害者と認知症の義父母の世話。施設に入居してもらいたくても満室で連絡待ちの日々。そんな避難生活の疲労や精神的ショック、持病の悪化などで体調を崩して今なお通院中です。

避難者の立場に配慮した将来を見通せるような賠償や地域再生のあり方をしっかりやってほしいと国をお願いします。町に戻る・戻らないにしても生活していくためには膨大なお金がかかります。家族が多いとそれなりに出費も多くなります。賠償基準も築年数によって異なるのには不満があります。新築して築年数が低い家はほとんど損壊していません。築40年以上の建物は、生活するには無理があります。築年数に応じて賠償額に差が出るのに不満を覚えます。新築できるだけ貯蓄もすべての人があるとは限りません。町の職員にも被害状況を調査してもらいたいです。罹災証明は外見だけでなく家の中も見て判断してほしいです。

0114 女性 40代

仮設住宅に住んでいるが、3人で4畳半二間は狭い。高校生の子供も居るが、自分の部屋もないし、勉強するスペースもない。狭い部屋に3人で小さくなっていると、イライラして、不仲になってしまう。2人でも3人でも4.5畳二間には

納得できない。もう少し考えて欲しかった。長期になればなる程、苦痛になる。ペットが居るので我慢しているが、限界がある。家族がバラバラになったのも、困っている。また、両親は会津に避難していて年老いているので、心配である。

0115 女性 60代

今まで東京電力は、放射能がもれ人体にどの位浴びると死亡又は奇形児が生まれることがあることを町村ごとに説明してきたのでしょうか。又色々なトラブルを隠し良い所だけ報道しても平成 23 年 3 月 11 日のような状態になった時、放射能について知識がない人達が多い。又、1 週間位で自宅へ戻れると思えば犬を放してきたが 2 週間位で自宅へ行くと犬の姿がない。本を見て探したが見つからない。死んだのかと思うと涙が止まらなくなる。それに中間貯蔵施設を楢葉町に作る話がテレビ、新聞などで報じられている。帰ろうと考えていたのに帰れない。子供達も住まないと言われ老後はさみしい思いで過ごすことになるだろう。

0116 女性 50代

現在、借り上げ住宅に住んでいます。仮設住宅に比べると支援物資は 1~2 回ぐらい郵送されただけでいろいろと聞こえてくるし、同じ町民として避難している立場は同じだと思います。何度か役場の役員の方へ「平等をお願いします」と話しましたが...仮設が優先みたいです(残念です!!)。

H23.3.12 早朝から突然避難指示がでて、着のみ着のまま子供二人、ペット一匹私とで自宅を出ました。(車で 6 時間かけて)最初は避難所 親類宅 知人宅と....

なかなか繋がらない携帯 TEL に友人から TEL をもらい、「よかったら、家に来たらいいよ。」と言ってくれました。これからどうしたらいいのか? 不安な気持ちで一杯だったので、とっもうれしくて、涙がぼろぼろこぼれて、抱き合いました。友人はお姑さんと同居しているのですが、お姑さんたちも私達家族のことすごく心配してくれました(3 月いっぱいお世話になりました)。お世話になった 家の家族のみなさんには感謝、感謝の気持ちで一杯です。

主人は東電に勤務しています。どうしてあんな事故がおきてしまったのか? 加害者と被害者の立場でいます。とっも心苦しくて...

私は【略】検診の仕事をしています。今年の 月から県民健康診査の仕事で携わりました。日を増すごとに何百人何千人の健診で、「こんなに沢山の人が避難されているのか。」と思うと息苦しく、心苦しくて、申し訳ない気持ちになり、涙がポロポロこぼれてきました。時々不安な気持ちになり、何もしたくない時がありますが、「自分の足で立って、前に進まないダメな人間になってしまう」と思うので!!

0117 女性 60代

今の生活に疲れました。出来れば 1 日も早く楢葉町に帰りたいです。

今の生活はお金がかかりすぎて不安です。米、ミソ、野菜全部買って食べるなんて楢葉の生活では考えられないことでした。

第一原発の収束を願います。

楢葉町の町長、ご苦労様です。体に気を付けてください。

0118 女性 40代

警戒区域が解除になって、一時帰宅をした日の帰り道、国道を北へ向かう県外ナンバーの車が多く驚きました。(関東圏や、なにわナンバーなど)お盆中だったので、墓参りのためなのか...わざわざ線量の高い地域へ何をしに行くのか...

町の発行した立ち入り許可証などは何の役にも立たず、チェックされるわけでもなく、町民のいない町に他人が自由に出入りできる、というのはやはり防犯上、とても不安を感じました。

0119 男性 70代

8/14 福島民報での記事で、未登記支払い対象外の件で、市町村に問い合わせが、相談件数 500 件超とあり。その中で東電の釈明は不動産登記支払いとする。条件の理由として一般に公開されている、賠償額の算定が迅速に行えるためとある。担当者は(不動産登記を求める、あくまで先行払いする対応で)

本賠償は固定資産税、評価額に基づき支払うことになる。1日も早く本賠償できるよう努力するとあるが。

私の場合も未登録ですが、固定資産税は納めているので(本賠償に)期待します。

上記の件で早急に市町村に納税証明証の対応を、お願いします。

0120 男性 70代

家屋を登記していない場合の賠償はどうなるのか。

畑を作るのに他人の土地を借りている場合も賠償をしてくれるのか。

避難してから病気になったのに、昨年は 12 月まで以前の病気しか認めないのは納得できない。

我々のこの状態になったのはすべて東電の責任である事を認めさせるべきと思う。

0121 女性 10代

すでに結構な量の被曝をしていて、甲状腺にも何かできているので、除染はもう自分には関係ない。それより楢葉町に早く帰りたい。東電で悪いのは幹部だと思います。ほかにもいろいろ言いたいことはあるのだけれども、面倒くさいのでやめておきます。

0122 男性 30代

国・楢葉町・東京電力の3か所がきちんと協議して、町としての進む方向を打ち出してほしい。

0123 女性 40代

警戒区域の見直しは何をしたいのか？ 私にはその意味を理解できなかった。4号機から燃料棒の取出しが始まったばかりでまた大きな地震や災害などでリスクが大きいはずなのでは？ 安全を第一に考えたら見直しという答えはないと考えられます。廃炉になってからでないと、生活は大きなリスクを背負わされるだけだと思います。

事故があって生活が大きく変わって、元に戻りたいのはみんな同じだと思う。しかし子供の将来・結婚などを考えると、今後楢葉町で生活していたらどうなるのだろうか考えると...相手の親の気持ちになると、私だったら「反対」します。健康や将来に関して絶対大丈夫と言えるようなデータも一切ないので。もし国・東電が「もう大丈夫」だというのは、

国家移転を双葉郡に希望します。福島の再生のためにも要望したいです。

0124 女性 60代

借金をして店を再開しましたが今は反省しています。返済できるかどうかがとても心配です。何の心配もなかった地震前のことをつい思ってしまいます。友達・親戚とは電話でしか話すことができないし、将来のことを思うとどうしていいかわからない。孫にも会えない生活です。自宅に自由に帰れるようになったのに、今度は中間貯蔵の話が出てくるし、帰ることができないのなら早くはっきりとした方向性を示してほしいです。帰らなければ自宅はどんどん住めなくなってしまいます。安心して住める家が早くほしいです。

0125 女性 70代

月日が経つのは早いもので、避難してもう1年5か月にもなりました。すぐ帰ると思っていました。1日でも早く福島に帰りたいです。年を取ってからの都会暮らしは本当に大変です。車は2台とも自宅に置きっぱなしです。警戒区域見直しになっても何の意味もないと思います。行きたくても遠くて帰れないし、いわきにいる友達が皆電話でいるいと教えてくれますが、それがせめてもの心の支えになっています。

いつになったら帰れるのかわからない、この大変な状況に政府は何をやっているのか。もっと国民のことを考えるべきだと思う。与党も野党も手を取り合って国民のために尽力してください。議員たちは自分のことしか考えていないのではないかと思う。自民党が与党になっても同じだと思う。タレント議員などと言われている人達は本当に政治のことをわかっているのだろうか。税金ドロボーだ。無意味な議員は減らせばいいと思う。東京電力にひとこと言わせてもらう。口ではうまいことばかり言っているが、実際国民のためには何をやっているのか。私たちを一刻も早く元の所へ返してほしい。この思いがわかるか。被害者が自分たちの親だったらどう考えるか。

家も田畑も庭も捨てて、今の生活をいつまでさせるつもりなのか。家にいるころはアリのように働いていたのが、今ではイモムシのようになってしまった。百姓をしたり、で働いていた。痛いところはあっても何でもできた。今は何もやることがない。痛いところだらけだ。医者には週に3回も行っている。この気持ちがわかるか。今はみんな買って食べている。米・味噌・野菜すべてだ。賠償金を払っているからいいと思っているのか。東京電力の社員たちはそれでいいと思っているのか、それを訊きたい。この生活を変えてもらいたい。自分の家にも入れない、だから家はどんどん傷んでいく。除染などしても雨でも降ればまた同じだと思う。もう少し福島県民のことを考えてください。

最後に楢葉町の町長さんにお願いがあります。何百万もかけて家を直しても大変なだけです。若い町長さん。私たちはどんなところでも住めるところを作ってもらえればいいと思っています。なにより1日でも早く楢葉町に帰りたいのです。何年かかっても待っています。いつまで元気でいられるか、いつまで生きていられるのかわからないけれど、楢葉町に帰れる日が来るのを首を長くして待っています。お願いします。松本町長さん、まだお若いのに大変でしょうが、どうか町のために頑張ってください。お願いします。

0126 女性 50代

今現在、電力関係で働いているが、まさかこのようなことになるとは思わず、10年ローンでリフォームした我が家も住めないのに払い続けている。残ったローンと今後自宅に帰るに当たり家の中を見て、それはもうがっかりしている。270

万ぐらいの額では我が家は再建できず、修復にはどれぐらいの金額がかかるのか心配です。また借金をするのかと思うと心苦しくどうすればいいのかと困る。今後の見通しはグレーです。

0127 女性 70代

周りに知っている人が誰もいないので早く家に帰りたいです。自由に出入りができても泊まれないので残念でなりません。

0128 女性 60代

檜葉に越してきて1年もたっていませんでした。檜葉でこれからの生活を楽しく店を開く予定でしたが、原発事故のため強制的に追い出され目に見えない放射能に汚染されてしまいました。これからの人生設計を壊されてしまったわけですから、国・東電はせめて以前の生活に戻れるだけの補償をすべきだと思います。

現在住んでいる国家公務員住宅は市が国より借り入れてくれた住宅です。マンション風で新しく快適な生活を送っていますが、ただいつまで住んでいられるのが不安です。初年度は今年の4月まででしたが、1年延びて今のところは来年の3月までの契約で、その後はどうなるのかわかりません。

0129 男性 60代

避難生活も1年5か月を過ぎようとしています。借り上げ住宅の近隣の方々にもよくしてもらっていますが、いわき市の方々への遠慮とか申し訳ない気持ちがあり、出かけたりするのが、気が引ける思いです。高校に避難中は先生方・生徒さん・近隣の床屋さん・お医者様・主婦の方々...多くの方々から励ましや心遣いをいただき本当に力がわきました。感謝しています。

財物賠償基準に対してはもっと多くしてほしいです。家を建て直してそのままこの地に住むか、ほかの場所に移り住むのか。故郷を守る、離れる...どの人々も不安な悲しい悔しい気持ちでいっぱいだと思います。それなりの賠償は当然だと思います。

中間貯蔵施設を檜葉町に作ることは絶対反対です。作ることによって、帰町しようとしている人々の心は乱れ、まして若者・子供は帰らなくなると思います。この先何十年も、まだ私たちに重い荷物を背負わせるつもりでしょうか。

第一第二原発の早期廃炉を心よりお願いします。東電の元会長・元社長・元副社長、その他幹部の方々、政治家の方々、ご家族とともに浜通りに移住してください。

0130 女性 60代

現在私は60代です。孫はまだ【乳幼児】です。震災前、若い子供たちは檜葉町に戻る考えでした。新しく家を建てることも考えていましたが、ほかの町に住むことを希望しています。地震で半壊し動物が入って糞尿など臭いがひどいです。天井にも穴が開き断熱材も出ており壁は崩れ、新しく家を建てたほうがいい状態です。でも私一人が檜葉町に住むことを考え中です。私一人檜葉町に戻って田畑で野菜を作るのもなあと考え、今後、希望が持てないような気がします。

0131 女性 50代

震災後の原発事故でいままでの生活が 180 度変わってしまい、最初の頃は不安でストレスがたまり体調も悪くなってしまった。

今は少し落ち着いては来たが、これからのことを考えるとまだ不安がいっぱいである。

最近、旅行先での新聞を読んだが、原発のニュースは本当に少ししか載ってなくてももう福島県以外では忘れられているんだなあと思いました。

私は、原発は絶対反対です。今回のことで原発の怖さという事をつくづく思い知らされました。核などという物は、人類が使ってはいけないものです。1 年半がたっても線量も全然減っていきません。人類の愚かさをあざ笑っている様です。私は被曝者としてもっと怒ってもいいと思います。

皆で声を上げていなくては、政治家だってあてにはなりません。国は何もやってくれません。楢葉町ももっと強く出て東電や国に対する責任追及をしていなくてはなりません。この事故で亡くなった人達の為にも、お願いします。

0132 男性 60 代

国、東京電力、体質はなんら変わっていない。

これだけの住民の方の人生が変わってしまったのだから、お金だけではなく(お金の問題ではない)、震災前の生活に戻してほしい。

0133 女性 60 代

一年半近くたって実際楢葉に行き、屋根は瓦が壊れ落ち、蜘蛛の巣がはり、クロスの中や壁が壊れ、台所は臭いもすごく、どこから掃除をしていけばいいのか、ぞっとしているところです。

幸いにして 60 代ということで、ここからは脱出して行かなければと少しずつ掃除を始めました。

まずは放射線量のきちっとした水が出ること、ごみのこと、課題は山積みですネ。

農地の事はまだまだ先の事です。

少しずつでも自分たちで出来ることはやろうとしている気持ちを大事に受け止めて欲しいです。

0134 女性 60 代

国、東京電力は避難生活者の気持ちを全然理解していない。(物品の保証に不満である)保証基準の設定が明確でない。

国、東京電力の発表に信頼性がない(事故の原因対応、経過について一部公表である)。

国の基準で食物、飲料水、海、川、山林及び生活環境は本当に安心なのか疑問である。

除染後に安全が確認されてから避難解除するべきではないか。

東京電力の職員家族、関連事業者の方々がなぜ除染ボランティアに出ないのか。

いわきの住民にも邪魔者扱いされているような気がします。

小さな菜園、花壇の水やり、また外の洗い物の為に外に水道を引いてほしいです。ぜひお願いします。

0135 女性 60 代

東日本大震災以来、1 年 5 か月が過ぎ、二度目の夏を借り上げ住宅で迎え、未だに悲痛・苦痛な避難生活を強いられ、

榎葉町に帰ることも、新しい生活を始めることもできず心を痛めております。

この様な、苛酷な生活を国、東電はどの様に責任を果たしていくのか？ 早急に対策を講じて今の状況を一刻も早く解決してください。

そうでなければ高齢者、小さなお子さん達は、本当につらい、苛酷な状況の中で命まで危険にさらされている状況です。避難民には、ストレスばかり積もり、毎日命を削って生活しているのが現状です。

特に仮設住宅での生活は、狭い、夏暑い、冬寒い、隣がうるさい、毎日がイライラです。ストレスがたまり積もっていくばかりです。

これは経験した人でないとわかりません。私達は何一つ悪い事はしていないのに何故、このような生活を強いられているのか全く納得できません。国のエネルギー政策に協力してきて、日本国にこの様な辛い対応をされていることに落胆し、愕然としています。

一刻も早めに我々のこれから生きていく道筋を示して下さい。...もう限界です。

0136 男性 40代

町に対してのアンケートに帰町、警戒区域解除について反対の意見を言ってもとりあげてくれない。

全ての年齢層で集計すれば帰町の方なのだろうけど、小さな子供を持つ20~40代だけで集計すると戻りたいと言っている人は少ないはずである。

将来を考え、復興を目指すのに年寄りの意見を重視する、若い人の考えを軽視するやり方に不満を感じる。

公共機関、公共工事のためとしか考えられません。

ここに書いていることも立教大学として本当に伝えていただけるのでしょうか。

0137 女性 20代

空き巣に入られてドアが壊されてその賠償が心配です。

0138 女性 30代

<仮設住宅に関すること>

プライバシーがなく、ストレスがたまるので、復興住宅の建設等をして欲しい(考えて欲しいです)。

<行政等>

- ・国、東電の今後の対応・対策・収束状況について、その都度情報が知りたいです。
- ・町からの情報はありがたいが、もっと先の予定等(一か月先位)も教えて欲しい。

<その他要望>

- ・早く生活基盤等、インフラ等や修復を進めて、町を震災前の状態までとは言わないが、以前のような当たり前の生活をしたい。
- ・また、避難中は、いろいろな方々(他県)からの支援は、大変励みにもなり、感謝しています。ありがとうございます。支えになっています。
- ・今回のアンケート結果、または意見を聞きたいです。

0139 女性 60代

私は要介護の夫との生活でしたが、避難中の今年に入って夫が転んで頸椎骨折をしてしまい 月より入院中。今後、歩行はできないと言われました。帰町して元の生活を送ることは困難になりました。今後の事を考えた時に自宅を買い上げてもらって娘の住む今の土地に住みたいと思っています。

私たちのような事情のある人はほかにもいる事と思います。売りに出しても買い手のつかない現状をふまえて是非とも自宅を買い上げていただきたいと思います。切に要望いたします。

0140 男性 60代

東電のやり方は住民に対して不公平です。

0141 女性 10代

メディアでは、たいてい原発は非難されています。それだけの事態を引き起こしたということは確かに事実です。しかし楢葉町をはじめとする双葉郡の人々の多くが原発に勤めています。私の両親も、友人達の親も、原発勤務です。そして、私たちは、小・中学のときから、原発とは多少交流をもっていました。卒業証書に使うケナフを育て提供してくれたのも、原発さんでした。私たちの町がどんなに田舎でも、何不自由なく生活してこれたのもまた、原発が町を豊かにしてくれたためです。私たちには、これまで原発からそれなりの恩恵は受けてきました。ですから、同じ町民が原発を非難したり、国会の前でデモを行っている様子を見ると、残念で仕方ありません。むしろ怒りすら感じます。実際、私と歳の近い人々は町を追われていても、ほとんどが原発推進派です。メディアで取り上げられているのは、まだあまり原発と関係をもったことのない幼い子供や自営業の方や、お年寄りの方、そして県外の方ばかりです。実際には、私のような考えを持った人々も大勢いるということをお忘れないただきたいです。私たちが本当に求めているものは、賠償金でも脱原発でもありません。以前と変わらない「町」そのものです。そのためには原発の恩恵が必要不可欠ではないかと私は考えています。ノーリスクで何か得ようとするのは不可能です。だからこそ安全策を強化しなければならない。それができれば、脱原発なんてする必要はないのではないのでしょうか。

0142 女性 30代

私は、楢葉町で育ったので、楢葉町が好きです。みんなが安心して暮らせるよう、1人1人が前向きな気持ちをもって、歩んでいってほしいと思います。

0143 女性 60代

東京電力さんも御苦労なさっていることとお察し致します。それは住民も一緒です。自分の家があってもかえれない。このようなことになるとは夢にも思っていませんでした。それは東京電力さんのために生活してきた人達もたくさんいると思います。でも私達のことは何もわかっていらっやらないのではないですか。自分達も一年でも二年でも私達の町に住んでみてください。実際に生活してみないとわからない部分がたくさんあると思いますよ。除染にしても各家庭ごとにやることは違いすぎる。なぜ統一できないのです。私達はそこまではできませんと言われれば、そうですかとしか言えな

いんですよ。こちらで強くできれば「じゃあ、やります」とか、おかしくないですか。何にしてもそうですね。賠償にしても最初のうちはだしても遅く請求した人はできません、の一言で終わってしまいます。変更になったら変更になりましたと連絡もなしに一方的に決定して終わりなんですか。この様なことは誰が考えてもおかしいですよ。最後に除染とかライフラインを整えてから解除するならわかりますが逆じゃないですか。いろんなことをたくさん書いて申し訳ございません。

0144 女性 50代

心の支えになったことは...人の声です。突然、それぞれにバラバラになりながら、やっと聞くことが出来た人の声に(楢葉の人)心一杯熱い思いとなりました。また、いわき市内に住むところが見つからず、あいている所があっても、どこかの自治体でおさえられていて個人では借りられず、入れず... に入るしかなかった時に...見知らぬ土地での生活が始まり...そこで親切にかけていただいた人の声に、私は、とても勇気づけられ、支えられて、なんとかひるまずに今日までこれましたことに、ありがとうの心一杯です。

震災や原発事故で止まってしまったであろう...状況や時間がある反面...新しい土地での出逢いやかわりなど...避難しなければ経験できなかったこともあると思います。ふるさとの大切さも、離れて初めて強く思うものがありました。ふと足元にあった幸せが、どんなに尊くかけがえのないものだったかと...離れることにより、さらに強く思いました、こんな思いを無駄にせず生かしてより良くしていこうと生きる糧にしようと...願い頑張れることにありがとうの思いです。

0145 男性 50代

元の生活に戻して欲しい。

仕事の関係で遠く離れてしまい、生活環境など大きく変わったので家族の皆はそれぞれ違うストレスをかかえている。

しっかり生活再建のサポートをして欲しい。

0146 女性 60代

原発事故前月に2、3回行っていた実家も(片道40分位)、現在は片道3時間20分~30分位の所用を要する。又、母も亡くなるなどで行く回数も増えているにもかかわらず、一緒に屋根の下で暮らしていなかったという事で生前、見舞いに通った交通費さえ1円の補償もない。

0147 男性 50代

区域見直しによって家に帰ったが、家の中はクモの巣だらけでネズミのフン・カビ臭さ、虫の死骸等むなしさを感じました。家を失った人や借家の人は戻るかどうか選択肢が有るが、家持ちは厳しい。廻りの人達も、自分の家も息子達はもうこの土地には住めないといい老人の町となるのは明らかである。自分は昨年3月末より【原発関連の】工事に携わっているが、今年に入って仕事量が減り収入が少なくなってきた。自分は原発に携わってきたものとして責任と廃炉を見届けたいとの思いで戻ってきたが、今は、あの時会社をやめて補償をもらった方が良かったのかと自問自答をしてストレスがたまっている。今、2Fでは通常状態に戻すという事で、管理区域から外に物品を出す基準は300c/minである。しかし我々が家から持出す物は13000c/minである。原発で教育を受けたものとしては受け入れられない数値である。ALARA(アララ)【as low as reasonably achievable】の精神状態(可能な限り低く)の言葉が今出てこない。これは放射線教育で教わっ

た言葉である。

0148 女性 50歳

前向きになれない。避難疲れで体調が悪い。

夫が県外で生活しているので、夫の母(90代)が寂しそうでかわいそう。住居が四階なので母が外に出ない(足・腰が弱っている)。夫の留守中に母に「何かあったら」と考えるととても不安。檜葉の自宅を片付ける事を考えると、自分一人なので大変である(膝と肩が痛い)。賠償が切れてからの収入がなくなるのが不安(年老いて母を残して働きには出れない)。

娘が津波にあったが生きていた事。

カビや雨漏りで、壁、床、畳、障子など全て交換すると、費用が全く足りない(地震保険に加入できなかったので保険金はない)。

国、東電はもっと誠実な対処をしてほしい。

0149 女性 30代

避難解除準備区域になった事で、だれでも立ち入れる様になった事が、県外避難者にしてみると、大変不安です。現在の財物賠償の指針では、高額な住宅ローンをかかえた家庭には、不安が残る。

0150 男性 50代

自分の住んでいた所は借地なので、家屋は自分の物でも、今回修復するのに一千万くらいかかると思います、家をリフォームして(一千万かけて)まで檜葉に戻りたくない。

財物賠償を早くしていただかないといわき市の土地建物の価値がうなぎ登りなので心配です。このままでは自分達の住む所はないです。

又、借地なので地主に返すには解体費用もかかります。この費用も東電、国が補償にしてくれるのか、ゴミの処理費用もどうなのか。なぜ町は解除・警戒区域見直しに賛成したのか、ただ国から言われ、法律がどうかと言っていますが、町民の事は考えてないのではと思う。東電は堤防を1cmも高くしてないのに何を根拠に安全なのか判らない。家屋から出るゴミについては町が無償で処理するようお願いします。福島第一原発の5・6号機運転しているとのうわさがある。原発を運転するなら福島第一原発を運転したらどうか。避難中なのでどうかと思います。被災者がなくなると思う。日本なので他の所で運転再開してまた事故起きたらどうするのか。

0151 女性 60代

避難生活も1年5か月を過ぎ狭い部屋で何もすることもなく体の方も大分鈍ってしまいました。早く元の生活に戻りたいです。私の避難している区ではサロンが開設され、同じく避難している人が集まり、お茶を飲んだりお話をしたりして気をまぎらわしております。

国や東京電力では、未だに本当のことを公表しておりません。何を信じていいのかわからなくなりました。誠意ある態度で福島の人達に謝罪して頂きたいと思います。

警戒区域が解除されましたが、楢葉町に中間貯蔵施設が設置される予定になっており、これでは矛盾していると思います。自分の町のゴミだけならしかたないとして、外部のゴミは絶対に持ち込まないよう願います。

0152 女性 70代

津波で家は流出、隣の人達ともバラバラ。戻れるなら早く戻って元の生活が出来たらと思います。早く安心して生活出来る様をお願いします。

0153 男性 60代

自由に出入り出来るようになり、家の屋根の瓦、田畑の雑草の刈り取り、少しずつ毎日の様に通り作業している。自分で作業をする人には何の補償もない(現在)とされていますので、少しは補償してほしい。何もすることがなく、毎日生活をしていたので出入り出来る様になったら出来ることは自分でしたいです。

0154 男性 70代

事故当時と家族間の状況も変わっています。若い者が帰れない(身体的、仕事上の事)町に、自分達だけ(年寄り)が戻る決断はできません。かといって若い者に頼り切る生活も難しいです。悩みはつきません。全て解決出来るまでに帰町などあり得ません。が確実に齢を重ねています。

0155 女性 60代

帰れる・帰れない・帰りたい・帰りたくない、選択肢を与えてください。それぞれの人にそれぞれの家族に、同じ条件は当てはまりません。事故前の状況と現在では、いろいろな意味で家族間の問題も変わってきています。同じものさしで量る事だけで解決しようとしても無理です。離れ離れになった家族だって帰町できるから...といわれても事情が変わっています。“帰町できるのに帰らないのだから後は知らない”の対応が、本心、恐ろしいです。

0156 男性 20代

国や町や東電をどうこうということでもなく、2011.3.11.14:46 以前の風景や人間関係、自分の気持ち、変わらない日常に戻れるなら戻りたい。ただそれだけです。

0157 女性 60代

国の対応は遅い。県は双葉郡復興の事を全然考えていない。知事は出身地会津方面ばかり考えている。マスコミが先行した情報では困る。区域見直しの前にインフラ復旧してほしかった。除染は進まないと思うので富岡町と同じ区域見直しをしてほしかった。

0158 女性 60代

とにかく、もとの姿の楢葉町であってほしい。財物賠償基準についてはどの家族にもお金では代償出来ないもの等、多々あると思う。それが一番難しいのではないかと思う。

それに対して国、東電はどう思うのか？

平和な家族を早く戻してほしい。

何も私達は悪い事をしてないのに家族バラバラに生活している。何とかしてほしい。

0159 男性 70代

避難した人達誰もが人生の中でこの様な大変なおもいをするとは思ってもいなかったと思います。住み慣れた地域や広い家がありながら狭い家に、そして誰一人知らない土地へ行って突然に何も持たずに逃げたあの思いは、二度と子孫にはさせたくないし、将来に渡りこの様な事はあってはならないと思います。国政の誤りと声を大にして訴えたいです。目に見えない、人間の手におえないものに手をかけても高度な成長は望みません。もっと安全を最優先した政治をしてもらいたい。一歩まちがえば県民皆が逃げる様な安全性の欠けた原発、それでも再稼働に踏み切ったこと、小さい島国の日本が東日本と西日本でもう一度間違いが起きたら放射能で汚れた国土になってしまうことでしょう。

人の上に立って舵をきる人は、行き先を間違わないでほしい。やっと避難解除準備区域に一步進んだら中間貯蔵の話が出てきてこれだけは絶対反対です。

若い人達は、戻れません。戻れない決断をさせてしまう。帰還困難区域とは違い、楢葉町はなんとかなる線量です。戻れる、戻れると言っているしながら貯蔵を作ったら若い人は戻れないと言っている様なものだ。これだけは回避させてください。お願いします。

0160 女性 40代

子供が二人います。二人とも男の子です。この子供達が将来子供をもち、その子供に何もなければ少しは安心できるのでしょうか？ それともその先を気にしなければいけないのでしょうか。

元気だった義母が精神的にまいってしまった。親戚の家で気がつかいすぎたのだろう。本当に大変だ、これからも。

実家が で良かった。少しは早く避難できて心に負担が少なかったと思う。両親共避難された方は本当に大変だったと思う。

財物賠償は勝手に決められてよくわからない。

私は福島県に嫁に来て14年目でした。頑張って、家族になり築き上げてきたもの、また一から現在の場所です。やり直します。この気持ちわかりますか!!! 子供の二回の転校、子供がひきこもりになったら誰が辛いかわかりますか!!! 家族がバラバラになったことありますか!!! 東電の社員の方、海外旅行に行ったり、保養所も素敵ですね。本当に腹が立ちます。友達や知人に社員の方たちたくさんいます。立派に生活していらやましいです。

これは私の愚痴です。

0161 女性 60代

除染しても本当に安心して住むことができるのか。子供、若者がいない町に成り立っていくのか。原発事故がまだ不安定なのに警戒区域見直しなど考えられない。

中間貯蔵の問題もあるのに。

8月27日の540平方メートル焼く問題。【楢葉町波倉の町有地の林野から出火、下草約540平方メートルを焼いた。

福島民友 2012/8/28】 色々な問題が山積みだけど本当に心配だ。

町の健康手帳(記録)が欲しいですヨ(3.11 を忘れないためにも)。

飯の町、檜葉をいわき市に。

避難生活の中で近所の人達にやさしい言葉をもらったり、野菜、水などいただき本当に助かりました。今も時々いただいています。ありがとうございます。

暑い中原発に勤務されている方に感謝します。(防護服を頭から足のほうまで着て働く姿、本当にありがたいの一言です。)

でもこうなる前にどうにかしてほしかった。

0162 女性 40代

他の町と同様に檜葉町も5年間は帰らないことを宣言して補償を満額得られるように進めてほしい。

まとまった金額が入手できないと今後の生活設計ができない。

0163 女性 60代

現在義理の母が町の病院に入院していて、夫も認知症とかの病気があり私もちょうと病気が見つかって入院する予定があり、家族が離れて暮らしておりとても不便です。

国、東電などはもっともっと私達がどれだけ心のストレスになっているかを考えて、本気で今の状況を考えて下さい。いろいろな問題が多すぎて、計画の立てようがないのです。

その日、一日を前向きに暮らしているだけで町に「戻る」「戻らない」さえも決められずにいます。この気持ちはなんと言っているのかわかりません。

とにかく前の計画が立てられないのが一番つらいです。

家に帰って見てくると何をどうしたら良いか、わからないほど家のまわりがちらばっています。(牛に荒らされて)あれを見たら絶望にも等しい思いもします。とにかく「絆」という言葉をよく耳にしますけれどもこの「絆」の意味さえ何なのかと思います。あまりに失ったものが大きすぎて...

私は農業が好きで、毎日がとても充実して暮らしていたのでやはり何とか前ほど大きくなってもいいから、農業がしたいです...でもそれも夢であると思いますし、草だらけになった田畑を見るだけで帰ると疲れてしまいます。「早く何とかしてください」と言いたくなります。

0164 女性 30代

檜葉町の人には本当に檜葉町の気候や景色や食べ物、人づきあいが大好きで、避難地域が解除になれば、一刻も早く帰りたいと考えている人が本当にたくさんいます。その中には、子供が小さい若い母親、父親もいます。そんな人たちをどうか被ばくさせないで下さい。飛散している放射性物質の半減期を考えたら数年で帰れることは不可能です。それに、まだ第一原発からは放射性物質が出続けています。そこに帰って、檜葉町の人をみすみす被ばくさせてはいけません。安全なんかじゃない。子孫に影響が出てからでは遅い。また、国はきっと被ばくして病気になっても、因果関係を認めてはくれないと思います。

町として帰らないという決断をしてほしい。

また、私達には小学生の子供がいますが、榊葉町から仮設の小学校(榊葉町の)へ入りませんかという案内がきます。榊葉町はいつ帰れるかわからないのに。

仮設の小学校をつくって、そこに来てくださいと言っていますが、果たしてそれは本当に子供のためなのでしょう。小学校6年間「仮設」で過ごすこともあるかもしれない。

そこで子供たちに何を学べというのでしょうか。今住んでいる地域の小学校に通うことが大事だと思います。避難者同士固まってもしょうがない。他のところで生きていく力をつけたほうがいいと思う。これからが大変なんだから。

0165 女性 50代

- ・東京電力は加害者でありながら、賠償に関する交渉でも代理人が「それは認めない」とか「それは認めます」とか堂々と発言している。負担したにも関わらず、領収書がないから認めないと言う答えを出す東電には誠意のかけらも感じられない。
- ・原発事故前の生活に戻してくれるなら、それで十分だと思っているが、東電の対応は逆なでする行為であり、榊葉住民は、今後第二原発の存在自体を否定せざるを得ない状況になると思う。
- ・家屋の中の除染作業を住民自らがやれとの話があるようだが、東電と原発推進を図ってきた国の責任で行うのが筋ではないか。納得いかない。
- ・両親も同居しているが、80代と高齢のため、「早く榊葉に帰りたい。死ぬときは本当の家で死にたい。住めないと言うが、怒られても良いから本当の家で暮らしたい。」とよく言うようになった。このような高齢者の声を東電はどう受け止めるのか。聞かぬふりをするのか。一日も早く事故が収束し、原発と共に東京電力には福島県から消えてもらいたい。
- ・東京都民の大半は、電力不足を理由に原発再開を希望していると聞くが、再開ではなく、東京湾に原発を建設し、自給自足すべきだと思う。
- ・中間貯蔵施設を榊葉町に計画しているが、町民も町会議も反対の意向であるのに、なぜその案が出るのか理解できない。
東京湾原発建設用地の埋め立てに使ってください!

0166 女性 70代

知らない土地での避難生活にも少しずつ慣れてきましたが、震災前に同じ敷地内に生活していた孫一家が、毎週末に避難先の から泊りに来てくれているので、心が癒されています。

自宅に自由に行けるようになりましたが、高齢で戻りたい気持ちはありますが、片付けやら修理のことを考えると、子供や孫たちの手を借りなければならないので心配です。また、帰っても隣近所の方は避難中に死亡した人も4~5人おり、何軒の家に灯りがともるかわかりません。もう元の生活には戻れないかもしれないと思うと、気持ちが暗くなります。

0167 男性 70代

原発事故は未だ収束はしていない。何よりも先に収束させること。また、国、東電はもっと積極的に除染やインフラ整備に力を入れる事を強く希望する。

医療機関や商店街など強力に、そして早急に整備しなければ町民の帰町は遅れるだけではないか。

0168 男性 30代

アンケートで済む話ではないと思います。実際、自分がこういう立場にならないと、人の苦しみ、痛みなんてわかりません。申し訳ないけど、あなた方も一度被災地に足を運んで肌で感じてください。机上の理論で済む話ではないですから！

0169 女性 50代

避難前は 工業用地の中の会社で社員として働いていたが、会社は風評被害等の心配があるため、櫛葉での再開は難しい。

50代である私は再就職先がない。家のローンや子供の教育費(大学生)、自分の年金積立など悩みは多い。

0170 男性 60代

- ・現在借り上げ住宅に私たち2人と息子と3人で住んでいる。避難生活を考えるとお先が真っ暗である。考える事ばかりである。櫛葉町に帰れば放射線汚染があり、いわき市も同様である。第一原子力発電所の事故等が収束宣言を出したが、線量は出っ放し、汚染は海に流しっぱなしではないか。到底収束とは言えない。また私は週2回の血液透析を行っている。櫛葉町に帰っても医療施設はなく、いわき市まで通わなくてはならない。私の女房も障碍者で週1回のリハビリ等が待っている等、問題は山積みである。
- ・また息子は仕事がなく、ハローワークに行っても自分に合った仕事がない人はたくさんいるらしい。双葉郡内より避難者が多いため仕事が見つからないのが現状です。町に帰っても若い人たちの仕事の雇用対策を早くお願いしたい。
- ・財物賠償は行っていただきたい。先日自宅に帰ったら家の中の物等はすべてカビが生えネズミの巣になり床はカビなどで一部落下していた。1年5か月も窓等を閉めきりですべての物は破棄とするしかないと思う。東京電力と国はすみやかに賠償を行いすべての損害賠償をするべきである。
- ・また除染はどこまで進め汚染をなくするのか覚悟を知りたい。極力最小限等の数字まで除染をお願いいたします。若者たちが帰るためには低線量、汚染があってはいけない。これからの子供たちのためにも・・・！

0171 女性 50代

年配者、自営業者の意見ばかり取り入れるのではなく、5年後10年後に今さまよっている若者・家族が戻れるような復興をしてほしい。赤ちゃん・幼児・妊婦・こどもも高齢者と同じく、帰町ではなくそれぞれが安心して戻れるような町づくり。若者は戻らないと聞くが本当は戻りたい。だけど友達が誰も戻らない、少数の人が戻っても復興というのなら、戻せない。

家族構成が夫婦だけ、高齢夫婦は絶対戻りたい。町民全体が子や孫がいると想定して進めてほしい。今の方針では子や孫に戻ろうとは絶対に言えない。戻れる人が戻っていつか子や孫に故郷にかえってきてほしい。まちづくり・復興とは何か。

いわきに土地を求めている人が多いと聞くが、誰もが悩んでいることでそして決断できない、国に負けないで町の方針をはっきりと示してほしい。子供が戻れないところに櫛葉の将来はない。

0172 女性 50代

一戸建ての家があるのになぜ、狭い借り上げ住宅にいるのかと毎日思っています。特に洗濯物を干す時に大変です。避難している住民にしかわからないこの苦しみ。地震がなければ今回の原発事故も起きなかったでしょうし、これから廃炉に向けて、働いている人も大変だと思います。本当に家に帰って入ってみるとかび臭く、住んでいないと家は痛むし、これから先が心配です。

最後に東京電力に、賠償相談に関して電話の対応の悪さにかかりました。「申し訳ございません」の言葉は聞き飽きました。避難している人の身になり本当に申し訳ないのか、これだけ避難住民が困っているのに対し請求したもののすべてを出すべきだと思います。この請求は3回目までは出しましたが、4回目からは出しませんなど、まったく避難住民のことを考えておりません。電話に出る方によって言っていることが違ってきます。上司の指導よろしくをお願いします。この苦しみは避難している住民だけがわかることです。

0173 男性 40代

こんな生活苦しい。友達と離ればなれ。友達とたくさん話したい。前は農業で体を動かしていた。今、運動不足で体調がよくない。アパート生活いやだ。風呂・トイレ汚い。榎葉の家はきれいだった。広くゆったりしてきれいだった。アパート生活で犬と一緒に生活できない。犬に会いに通っている。ガソリン代もばかにならない。

損害賠償、担当者によって、保証してもらった人とお金が出ていない人があるとは一体どういうことか。おかしい！前のように友達に会いたい。スーパーなどで立ち話したい。今はだれも、話をする人がいない。家族間の行き来だけ。お金を出すのではなく、友達や近所の人、交通費、電話代、みてほしい。前はスーパーなどの立ち話で用は足りた。ストレスだ。

除染が終わったら一番最初に東電社員を元の家に戻せ。東京電力の社員ほど戻らない人が多い。たいしたことない放射線量なら、一番最初に帰って安全だということを証明せよ。

そもそも東京電力の社員の態度、どちらが被害者で加害者なのかわからないほどに態度が【大きい】。

慣れない環境で出費が多い。友達と電話したり、会いに行ったり、自分の時間も持てなくなる。友達を返せ。子供が一番かわいそうだ。

元の生活を戻せ。他人事ではない。

0174 女性 50代

中間貯蔵施設を作るのであれば町の土地を国が買い上げて作ればいい。中間貯蔵施設は絶対反対です!!

0175 女性 30代

、 借り上げ住宅でもなかなか見つからず、ようやく見つかった物件は県の補助額では足りず、補填している状態。持家との2重ローンでいつまでここに住めるのかと思うと不安。また、引っ越しのたびに子供は転校したりと、精神的な負担も大きい。金銭面も心の負担も考えると、暗くなってしまう。

どんなにつらい時でも子供たちが大好きなスポーツを思い切りやってくれた。それを見ているときは何もかも忘れられ元気になれた。

震災後何度か帰宅し、今回も警戒区域見直しにより一度帰宅したのだが、行くたびに帰るべきところではないと強く思う。とにかく帰る・帰らないに関わらず、財物の補償は全額であってほしい。(町単位で補償が異なるのが納得いかない。) そうでないと、次の生活が考えられない。住まない家に何十年も借金を払い続けるのは納得いかない。中間貯蔵施設を設置して国に町ごと買い取ってもらいたい。

どちらにせよ、財物補償は早急にしてほしい。

0176 女性 10代

東京電力への要望。私の住んでいた町や家や友人を返してください。避難後メンタルが弱くなり、毎日病院に通っています。以前に比べ友人との関係がうまくいかず高校生活が苦痛です。

0177 男性 50代

避難後、前向きに物事を考えることができなくなり、帰還したとしても以前同様の生活が送れるとは思えない。若い者たちは町から消え、老人の住む街へと変わる榊町になるだろうと考える。

今後の生活にはとても明るい未来があるようには思えない。国の対策や東電の無責任さが日に日にマスコミによる報道で露呈していくのを見ては悔しい思いがあふれます。他人事で、数年後には原発事故の恐ろしさや避難生活を送ってきた私たちのことは忘れられていくのかと思うと悲しくてやるせないです。

家族のほとんどが避難中に体調を崩し、身体的にも精神的にもボロボロになりました。この思いを誰にぶついたらいいのか...!

0178 男性 60代

本アンケートにおいて中間貯蔵施設について一言も触れていないのはどうしたことか？ 今、政府による中間貯蔵施設の建設候補地には榊町も含まれている。何故なんだと疑問がわく。当初政府の説明では、放射線量が高く帰宅困難地域内に選定するという話ではなかったか。榊町は放射線量も低く警戒区域解除準備区域に8月10日付でなっただけではないか。これからようやく避難者の帰還に向け本格的な除染やインフラの復旧を始めようとしているのに。

中間貯蔵施設の設置は、警戒区域が解除になったとしても、帰還者の数に影響を与えることは見え見えである。町として、絶対反対を突き通すよう要望する。

0179 女性 60代

仮設住宅はあくまでも仮の住宅で心が落ち着かない。避難準備区域になっても寝泊りができないので家の片づけが思うようにできない。

最近一緒に避難していた犬を亡くして、猫も病気にかかっていて落ち込んでいる。避難生活はもう限界です。

中間貯蔵施設は当然戻れない地域に作ってほしい。榊町には絶対に作らないでください。

0180 女性 50代

汚染された家屋内の片づけ清掃をしなければならない不安。

0181 男性 50代

第一原発から今も毎時 1000 万ベクレルのセシウムが放出されているという中、一度の除染もせず避難指示解除準備区域にしたという事は、残念である。せめて、帰町という判断は、慎重に進めてもらいたい。

0182 女性 50代

・母がデイサービスに行くのに避難前は、バス送迎があったのですが、それがなくなり仕事をするにもそれに合わせて物事を進めなくてはならないのでとても不便になりました。

リフォームをやって終わったばかり、それなのに屋根が壊れ住めない状態、賠償などどこまでしてくれるのでしょうか？壊れた状態のまま除染するとの事、理解しにくいですが？

いっそ皆壊して持って行ってもらった方が！

家を見るたび涙がでてきてなりません。少ない給料で長年子供を育てながらリフォームした家ですが、とても悲しくなってしまう。

・原発事故の収束それのみです。

・職を見つけて働きに行ったのですが、気はつかってとても大変、一からやり直しの気合いで行って、とても疲れ、やれやれです。

・不安としては楢葉に帰って自由に野菜を作って食べる事が出来るのは何年たつての事なのか。ハウスで自由に野菜を作る事が出来れば願ってもない事です。田んぼや畑、山を見ながら、早く楢葉に帰りたと思う中、家に行っても楽しい気持ちになれません。山に行っても山菜採れずきのこも魚も採れず、かき、いちじく、くりあらゆる物が食べられない。今まで普通に生活してた事、それがぜいたくになってしまいました。

0183 男性 20代

・財物賠償は、名義変更なしでも現在まで住んでいた住民票があればすむ様にしてもらいたい。町長はもっと意見を言っても良いのでは...

・東電のせいでどうしてこんなに苦しまなければいけないのか！手続きに走り回らなければいけないのか！

・楢葉町町長もっとこの問題を理解し、説明の出来る方々があなた方よりも居ます！お年寄りの中には、説明をわかりやすく話し集会ではきちんと意見を述べる方々の事を理解し、話を聞いて勉強してください。そんな方々の方が町の説明よりも分かるから...

国の言いなりにしないでください。

0184 男性 60代

東京電力の事故により今まで同居していた家族と仕事の関係上、別居を強いられた。今どき子供の家族と一緒に暮らせることは大変に喜ばしいと思われる。

そんななか家族のもとに移動する経費について請求したところ理由のよしあしにより該当しない旨の話がありました。実際のところ、家族に会いに行くのにいちいち理由があるのでしょうか。離れ離れに生活しているのには毎月、毎週でも帰

りたいのが人情だと思います。この事故により私達の家族の絆がこわされないよう出来る限り息子や嫁さん孫に会いに行きたいと思います。

避難生活の中でくじけそうになる時、孫の笑顔で元気をもらい、家族で話し合い、これからの生活を切り開いて進んでいかななくてはならないから、自分で壊した人生設計ならあきらめもつくが、他の事で壊されたのが、悔しい。この思いはどこにもぶつける事が出来ないし、経験した者にしかわからない。

0185 女性 70代

新築したばかりの家なのに原発事故で周辺も我が家も汚染されてしまいました。孫たち親子は地元には戻らないと話して、私達年寄りだけ戻ってもどうかなーって考えてしまいます。宅地は借地なので家は買い上げてほしいと話もしていますので、私も戻る気持ちを感じてきません。見直しはされても除染はされても若い方達の居ない家は考えられないんです。どうすれば良いのか悩んでしまいます。家を買って取ってもらうにしても賠償額では追いつかないと思うし、そう簡単なものではないと思っていますが。

0186 男性 60代

財物補償等での登記 床面積が、現在の床面積とちがう場合は……？でしょうか。

0187 女性 70代

8月27日、檜葉の家に帰り玄関を開けたらクモの巣、カビの臭いがしてめまいや頭が痛くなりしばらく家の中に入ることができませんでした。

これから70才すぎた高齢者が行って家の中の片づけが出来るかなと思いながらお墓参りして帰ってきましたが夜になって色々と思い出して眠れませんでした。

ストレスがたまります。

0188 女性 70代

山、山に囲まれた部落、何の不自由もなく平凡な生活をしていた70代になる女性、我が家を離れたことなくこのいわき市で生活することは大変です。

隣の部屋の人に気遣い、少々の音にも気遣い、神経が高ぶります。

孫が傍にいたから、又友人が何かと世話をしてくれたり、力になってくれた。でも心は晴れません。

檜葉に帰ってみて、地震ではあまり壊れていないが一年以上も過ぎれば使用できない物が沢山あり補償で直したいと思います...どのくらいの補償が出るのか、不安です。

においもなく、目にも見えない放射能に対する不安。

責任は東電か、国かと言っているが、安心して住める檜葉町に戻してもらいたい。又、解除する前に除染してもらいたかった。私達のこと、忘れないで下さい。

0189 女性 50代

榎葉町に行くたびすれちがう防護服を着た人達を乗せたバス。本当に帰っても大丈夫なの？とってしまう。2,3時間風を入れて又いわきに戻る。何ともやり切れない気持ちでいっぱいになる。

0190 女性 70代

ここに避難してきた時は駐車場が一杯の車だったのが今はパラパラ。随分と引越しされて行きました。孫、小学生ですが学年一人とか、友人がいない！こんな状態を聞くと、なんというか胸が痛む。もちろん私自身も榎葉町の時は一週間の半分は婦人会その他のサークルに出かける日々だったが今は一か月にやっと1~2回出かけるのみ。出かける気分にならず...気が沈む日が。

どこに住み家を、安住の地を求めればよいか。

若い人の職も心配の種だ。どうしてこの様な目に....

一時帰宅で玄関に入ると、どっと疲れが出てしまう！

一年前初めて戻った時と変わらず、掃除もままならず水も無く、いつになったら暮らせるやら。

0191 女性 70代

原子力発電所は安心安全という言葉が鵝呑みにしているいろいろな疑問がかき消された状態で信じ続けた自分の思慮のなさにもすごい嫌悪感が生じています。今は亡き両親に、日本の国は天災の多い国だから、その時のために真面目に働き先祖が植えた木も60~80年と経ち建築材として十分に使える成木に育っていましたが、3.12日以降の放射能を被り今迄の苦勞が水泡と化し、年令的にも余力がなく、再建ができるかどうかこれが現状です。現在、私としては性格上一番嫌いな賠償やいろいろな方々からの支援などを受けて、情けない生活を強いられて日々を送っています。率直に云います。もう“嘘”はたくさん。どなたの発言も信じられない。国の指導的立場にある方々は保身に走らず被災者の立場に【身を】置き替えこの苦しみを早く解いて下さる事を望む。

3.11の天災に関しては、過去何回もありながら十分な提言がないまま深刻に受け止めて居なかったので避難訓練や又早目に安全な区域を設定し居住地を移転すること。小学校の教科書に天災の発生を年代表にして悲惨の状況を伝えることを望みます。

0192 女性 70代

国・東京電力へ。1年7ヶ月留守にしていた家がどんな状況か解りますか？住む状態ではないですよ!!各自、住める状態にするにもすごく大変なことです。使用できなくなったものの片づけゴミの山です。美里から通うにしても毎日とはいかない!!25年度から井出地区の除染が始まるそうですが、それまでに日毎状況が変わってゆきます。東電が安全保障をしない限りいつまた榎葉町が避難しなくてはならない環境になるのではと思います。安心して住む生活は戻らないと思います。常に不安がつきまとい。まして若い人々は戻らないでしょう。平凡だった生活が(H23.3.11以前)いまはとても幸せだったと思います。元に戻して下さい。

0193 女性 60代

私は借り上げ住宅に住んでいますが、知らない町で昼は一人になって心細い思いをしました。同町に仮設住宅が出来、

従妹が引っ越しして来た時は大変嬉しくなりました。毎日がむなしくてうつになるのではと思う位落ち込む日々でしたが、従姉妹のおかげで気持ちにはりが出て生活しています。人は一人では生きていけないとつくづく感じました。又、家族の温かさを強く感じています。世間では東京電力への批判が強いですが、私個人としましては、大変恩恵を受けて生活してまいりましたので感謝しております。責めるつもりはありませんですから、今回この様な事故が起きてしまったことは、ただただ残念です。これから先は、希望の持てる日々が必ず来ると信じています。

0194 女性 40代

町は帰還ありき、復興ありきの国の意向しか考えていないようですが、原発事故当初からの対処を見てみると、すべてが後手後手です。町がすべきだった最優先事項は 町民の安全と健康を守ること 町民の財産保全、生きる最小限を補償することです。町が優先したことは「榊葉町」という名前を保持することであったのではないのでしょうか。国の意向に従って、たとえ形骸化した町の型わくは残せても、じりひんになることは間違いないと思います。望郷の念の高齢者は戻っても、若い世代やその子供達は戻らない、すなわち将来的な税収の確保がじりひんである以上、この先の、“帰還デモンストレーション”は、失策に終わること以外想定できません。富岡町、大熊町、双葉町、浪江町は、まず、町民の財産、精神的損害の保全補償に力を入れることに方向性をもっています。しかし、川内村、榊葉町、広野町は国の意向に従い帰還の意向を全面に打ち出しています。将来的には前者と後者グループは明確に分裂し、「双葉郡」という行政区域は消滅することは明確です。「双葉郡」というひとくくりがなくなれば、川内町、広野町、榊葉町の単体行政区域も存続していくことは困難です。榊葉町の執行部は「原子力災害の対処法の前提」を完全に読み間違えていました(現在も間違っています)。全ては榊葉町の町長をはじめとする執行部の質の低さが原因、以上です(利権政策を改めよ!!)。

0195 男性 30代

・借り上げ住宅について。

昨年5月に入居した。最初は家財がなくなるとか生活スペースを確保できていたが、生活必需品を揃えていくと生活スペースが狭くなり住みづらくなってしまった。屋外スペースも駐車場しかなく、庭もないため、スタッドレスタイヤを室内の台所に置いている状況。借り上げ住宅の変更(引越し)を新潟県に申込んだところ、認められなかった。冬は、床、押入れ等の結露が酷いため、布団類がカビてしまった。虫が侵入してくるため気持ちが悪い。大きなムカデ、ゲジゲジ、クモ類がいるときがあり、子供が刺されないか心配でたまらない。

・就職について。

現状で榊葉町への帰郷は難しいと思われるが、新潟県での就職も考えられずどこに生活の拠点を求めてよいかわからない。いわき市に避難している親の面倒をみたいと思っているが、幼い子供の被曝や将来差別を受ける可能性(出身地による差別、結婚、子供の出産時など)を考えると、自分の勝手に戻るわけにもいかず、考えがまとまらない。榊葉町は私のふるさとであるが、幼い子供達にそれを求めては申し訳ないと思っていて、将来自ら考えて判断すれば良いと思う。

・現状について

原発事故が原因で前職を離職した。いまだに就職できずにいるが、避難先の近所や幼稚園等で白い目で見られている気がする。お金が沢山入って、働かなくても一生遊んで生活できると思われている。いわきナンバーの私の車を見ると、見ず知らずの人でも、私達家族に視線を向けられる。

0196 女性 30代

警戒区域見直しになったことは町としては復旧・復興の第一歩だとは思いますが、私たちのようにまだ小さい子供をもつ親としては、いくら除染をしたからといって町に戻り、生活することはむずかしい事だと思います。ましてまだ福島第一原発も安全ではないはず…。また問題が起き、避難するようなことになる大変です。体育館生活はもう二度とさせたくないですし、子供にもあんな思いをもうさせたくはありません。国や東京電力は危険なら危険と正直に公表すべきだし危険なところに住民を帰してはいけないと思います。

0197 女性 60代

環境の変化、福島県浜通りにくらべ、周囲は山で夏は猛暑で夜も眠れず去年は(エアコンが品不足で購入できない期間)死ぬかと思いました。戸外はアスファルトの照り返しで暑くて、檜葉にいた頃が懐かしいです。ここは生活するには便利ですが、いくら不便で何もなくても檜葉の自然がいっぱいで農作業や庭いじりができる場所へ戻りたいです。

高速道路の無料設置を9月30日に終了しないで全員が(他町村)帰宅できるまで伸ばして欲しい。

財物賠償は母屋だけなのか物置は含まないのか不安です。農家をやっている者にとっては農機具が物置の雨漏りで使用不能になりそうです。自由に出入りできるようになってから空巣被害の話を聞きます。見直しが早過ぎたのではないかとすぐに帰ることができないのに何の準備ができるのか？

ストレスがたまり、夫婦げんかになり、ウツ状態になったり、未来がなければと思うこともあります。

0198 女性 30代

私は に勤務していました、あの日から人生が変わってしまった。東京で育った私は、いなかの生活にあこがれ、檜葉町に引っ越してきました。夫と2人で介護の仕事をし、これからの生活に夢をたくさんもっていました。あの日から中央台小学校に避難して過ごした日々、子供は先に避難、老人はあとまわし、その老人を見ている私たちに対しての会社、国、町の対応、いまだに自分を取りもどすことのできない日々を送っています。原発の爆発のあと、子供がほしかった私の気持ちと、老人をおいてはいけない気持ち、苦しい選択をした事、今でも忘れません。その後、夫とも離婚、夫の家族に子供を見せてあげられない。生きていく希望もなく死ぬことも考えました。人生がすべて変わってしまった私には今からこれからという思いはまだまだありません。一時帰宅にもまだいけない、なぜならその家は、夫と2人ですんでいたものです。何を取りにいけばいいのでしょうか。

爆発さえなければいつもいつも考えます。

その後、放射能の検査をしに 県にいきましたが、その時内部被曝はしてませんと言われてももう遅いのです。小学校での避難生活での情報はそんなレベルではなかった。東電の関係者がどんどん小学校から逃げていく中で老人と残る事を決めた私の気持ち、決断はいまさら、もう何も言われてもかわらないんです。

自分でもどうしたらよいかわかりません。

檜葉町が好きだったから。

どうしたら前に進めるのでしょうか？

先の事はどうやったら考えられるのでしょうか？

たすけて下さい。

0199 女性 50代

原発事故が収束しない今戻っても、中々前の生活には戻れないと思います。若い人達が戻ってこない町には未来が見えないと思います。一日も早く事故の収束ができることを心から願っています。

0200 女性 30代

現在、【乳幼児】の子供がいます。放射性物質については専門家の意見も分かれ、どれが正しいのか判断しかねます。とても不安な日々です。自分の気持ちとしては町の復旧や復興に尽力したいとは思っていますが、子供の未来のことを考えるとためらわれます。安心して住める場所を切に欲しています。

0201 女性 50代

家族は、三か所に避難していて、孫と会う事も年に2,3回。私の方から会いに行かなければ会えません。家は新築にしたばかり。子供たちは帰らないと言っています。考えると切ないです。原発が収束していないので収束する30~40年、国はしっかりとした対応をお願いしたい。

0202 女性 70代

楢葉町に居た時は農家で、米、野菜ありましたが、今は米、野菜、水、なんでも買って食べていますので大変です。それと長男が【略】より戻りまして(転勤)、5人が一緒にの部屋(仮設)に住めないの、別になった事が一番こまります。私は糖尿病を持っていますので。

0203 女性 60代

生活精神的疲労。

毎日の生活の音のひびき。

放射線被ばくりスク。

0204 女性 30代

避難中、初めは思いやりある言葉を沢山うけてきたが、今となっては風化し、逆にお金を沢山もらえていいなあという考え方をする人が多く目立ってきた。そういう人達に、お金はいらぬから元の生活を下さい!!と声を大にして言いたい。

子供二人の将来が不安です。結婚する時に、相手方の親から放射能の影響(子供(奇形児)の心配やガン等)などで反対されるのでは...

又、甲状腺ガンを発病させたら...など心配・不安はいつまでもつきまといまいます。

0205 女性 60代

何も書く事が出来ません。

毎日が心ここにあらずです。

楢葉町に帰りたい気持ちで一杯です。

0206 男性 70代

子供達に放射線、放射能の智識をおしえ子供を守る。

避難指示解除は早すぎに思う。町長さんはいわき市に自宅を持ったと人のうわさに聞きましたけど町長が先に帰って住んでみては。

町の職員や町議会の人々一軒一軒家の中を見て、どのくらい汚れているのか見てきてください。人の住める家では無い様な気がします。今は動物の住むところになっていますよ。

1年6か月前は草も雑草もなかった。庭、屋敷全体牛のふんや、雑草がはびこって私達老人の仕事ではないです。主人も病気、私もわずらって、足腰が悪く、片づけることも出来ません。ストレスにより自律神経やられて毎日毎日薬を飲んで生活をしています。

若い子達は楢葉には帰りたくないと言っております。家は半壊で建て替える金もありません。このまま、仮設生活でもいいかなと思ひながら暮らしております。

東電の方、政府の方々に。3.11.前の土地に戻してください。

0207 男性 40代

無理して帰るつもりはないので、新しい土地で生活再建できるように、十分な財物賠償あるいは買い取りを望む。除染に多額の費用を使うよりも賠償の方へ使ってほしい。地震被害だけであつたら、町へのこだわりもあるが、放射能で汚れた土地に帰りたくない。

0208 女性 50代

楢葉町から20人くらいで避難して8人くらいで暮らしていますが今は作業でがんばっています。避難した時は皆と一緒に安心していました。楢葉町に荷物を取りに行くこともできています。東電の人が頑張っているのがよくわかります。避難して入院していた人々が亡くなって辛かったけど今なんとか生活しています。

0209 女性 40代

基本的に原発は国策だと思う。次に、その場所に作ったことは町の責任だと思う。今回、原発事故がおきて責任のなすり合いばかりしていますが、本当にそればかりでいいのでしょうか？

先人がおそらく責任を持って決断したことに、大地震がきっかけでこの様な原発事故になってしまった。地震さえ起きなければ...と思う反面、毎年、双葉郡内で訓練してきた事は形式だけだったのでしょうか？ 実際にこの様な事故が起きたらという不安はなかったのでしょうか？ この危機感は何処にあるのか。誰にあるのか...小さいレベルの責任ばかりでなく、みんなが小さな責任から逃げていると思います。国、東京電力、町、その他いろいろな形で支援していただいととても助けていただいています。本当にありがたいと感謝しています。反面、支援されることが当然と思ひ、自力で動くことを忘れても町の復旧、

復興を遅らせている一因ではないかと思います。

人間は十人十色と言われますが、一つの事を決める大変さが多々あると思いますが、町長さんをはじめ、頑張ってくださいたいです。

檜葉町が檜葉町であることを、忘れないでほしいです。一日でも早く、前進することを願っています。

0210 男性 30代

子供たちの健康・教育・進路などを考えたら、帰ることによるメリットはない。しかし、住宅ローンを抱え、さらに新天地での生活を再建するには、現在、示された賠償では、苦しい。全額賠償になる5年後まで帰還宣言することは、絶対に、やめてほしい。区域再編により、自由に出入りすることを継続し、除染やライフラインの整備を進め、年間1ミリシーベルトに下がった後や安全賠償後に帰還すればよい。この点については、富岡町や大熊町は判断が良かった。ぜひ住民のことを考え、見習ってほしい。帰る住民にとっても帰らない住民にとっても安全賠償になれば、生活の再建はより進みやすくなる。また、中間貯蔵施設は受け入れざるをえない。建設予定地や半径5kmを国に買い取ってもらうしかない。地元が受け入れないで誰が受け入れるのか…。原発事故の被害地ではあるが、立地していた地でもある。多数の反対もあるが、受け入れるのが正論であると思う。その結果、檜葉に戻らない人もいるのかもしれないが、完全賠償がされていれば、生活再建は、できる。世論は正しい。地元への愛着もあるが、そんな問題ではない。完全賠償と中間貯蔵施設の受け入れのこの2点につきる。以上。

0211 男性 70代

私たちの年齢では帰るところは檜葉以外考えられない。一日も早い復興を頼みたい。賠償のほうも速やかに片付くように。

0212 女性 40代

精神的に落ち着いた生活に戻りたい。

0213 女性 60代

精神的にだんだん落ち込んでいるのが感じられる。原発がどれほど恐ろしいものかがわかっていない。将来はのんびり暮らせると思っていたが、その道が突然絶たれてしまった。せめて帰れるまでは頑張ろうと思う。

0214 男性 70代

私共が避難するときは、何の説明もなくただ「原発が危ないから」とだけ言われて草野中学に行かされたのです。一日2回、おにぎり一個とお茶をいただきました。まだ3月は寒く、着の身着のまま3日間を過ごしました。

4日目の朝8時ごろ、県市に住む弟夫婦に「早くこちらのほうへ来たほうがよい」と言われ、急遽のほうへ12時間かけて向かい、そこで何日ぶりかのお風呂をいただきました。あたたかい夜ご飯を頂いたときは涙があふれてきました。こんなにありがたく嬉しく思ったことはありませんでした。その夜布団でゆっくり休ませてもらいました。その翌朝テレビに映っていた光景はまるでこの世の最後を思わせるようなもので、恐ろしい現実身に震えました。止めようがない恐

ろしさ、心臓が止まりそうでした。2機も水素爆発をしてしまった。放射能が飛び散っているのにどうしようもない。「安心で安全だからこの浜通りに置かせてください」と言って、それを信じて福島浜通りの住民は置かせてあげたのにすべては「嘘」だったのです。ひどすぎます。国・東電は何をしているのか。そして1年5ヶ月もたっているのにまだ家には帰れない。一時帰宅で帰ってみると、震災当初はわずかだった壁の亀裂も1年のうちにだいぶ大きなものになっていました。家の中も外も庭も裏の物置も、かつての姿は見る影もなく、空き巣が壊したドアなども、見れば見るほど命がすり減ってきます。楢葉町は解除になったのだから除染を早く始めてほしいです。そして安心して住める自分の家にしてほしいです。大学の先生方にもお願いいたします。本当に安心して生活できる町にしていきたいです。

0215 女性 70代

今住んでいるところの近くに【集落】の人達はいないので、会いたいときは電車とバスで行っています。

0216 男性 40代

仕事がなくなり、社会保険をつける会社をさがしているが、なかなか働ける場所がないため困っています。3人で居るのでせまい為悩んでいます。

0217 男性 20代

おかげ様で双葉郡民は現状放射線におけるモルモットになった。自分の子供がこんな事に巻き込まれて健康には、害がないと言っているが有りえない。一生責任を持ち対応して欲しい。

一時帰宅で受けていた、身体の汚染確認は、あんなので汚染しているかどうか分かるはずがない。なんで足の裏しか測定していないのか意味が分からない。測定者、放射能の意味を知っているのか？

東電はただ見ているだけ、全て業者まかせ。今までの、状態と一緒に。何も変わってない。現場では、てんぐ状態、どこかのサイトでも同じ。原子力発電所は、いらぬ、あつてはいけぬもの、今回起こったことは、無かつたことみたいで腹がたつ。今すぐ発電所を起動させる!？ 【略】だったら東京都庁中心にでも原発作って電気を作ればいい。故郷を返して欲しい。今まで、これからの人生を返して欲しい。

0218 女性 50代

中間貯蔵は楢葉町にはやはりつくるべきではない。帰れる町なので、ほんとは帰還困難地域につくるべきである(賠償額は楢葉町よりよい)【略】もしも最悪、楢葉町に一カ所つくらなければ絶対に除染すすまなければつくるが、国に条件をいくつかだす。1つは、楢葉町民に近くにあるのは、いやな思い(不安な思いで精神的苦痛をあたえるのでいしや料的な額を支払ってもら)。

P.S. チェルノブイリの人々がぜったいに中間貯蔵はつくってはいけぬ、そこに住んではいけぬと、テレビでインタビューされてました。楢葉町のだけの中間貯蔵施設だったらよい(楢葉町のための除染進行のため。ほかの地域のものは受け入れない!!だったらよい。)

除染(畑 家の前辺り、ずっと、草ボウボウなので)

除草してもらって、除染をはやめにやっていただきたい。とにかく中の物は、ほとんどゴミになってしまいました。(捨

てる物がかなりあります)どうするんですか? 早めにゴミ収集して下さい。お墓のとも除草していただきたい。やぶの
ところは、やはり、放射線量が高かったです! アブやハチ? 「ブーン」と回転もはやくなっていて、凶暴化していました。
(やぶ 草ボウボウだからですね!) 除草と除染をほんとお願ひします。ほんとは家の中も何かいい方法で除染していただ
きたいです。

0219 男性 50代

町民1人1人が早期に自分が住んでいた町に帰町したいとおもわれます。場所によっては、数年戻れない
所もあると思います。国や、東京電力がしっかり受けとめ賠償問題等の対応に誠意をもってお願いしたいと思ひます。長
い避難生活の中大変御苦労されてる事だと思ひますが健康第一で留意され頑張っただきたいと思ひます。

0220 男性 70代

- 、 先の見えない避難生活では我々老人にとっては、知らない土地での生活は心身共に疲れはててしまっている。
避難中に心の支えになった事は、8月10日をもって自由に帰町、帰宅を出来る事になった事、これが一番の支え。
- 、 財物賠償はしっかりしてほしい。それが出来なければ元通りに放射能と言う目に見えない猛毒を東電、国に持つ
て行ってほしい。そして元通りの平和な生活を出来る様にしてほしい。償いだけはしっかりしてほしい。町もこの事に
対してはしっかりやってほしい。

0221 女性 50代

年寄り(80代)が、いわきの仮設に入り私達夫婦(50代)は隔週で、様子伺いに通っています。その為に、細かい支出や体
の疲労等リスクを伴う。

主人は元より都内で赴任中でしたが、今は私も都内で職を得て、共に暮らしています。年寄りのどちらかが具合悪くな
れば、仕事をやめ、いわきへ移らなければなりません。仮設に入り、仕事をせずの年寄りの面倒を見るだけの生活には、
今から不安があります。

除染やインフラ整備が進んでも全く元のような生活にはならないと考えています。増々、年寄りだらけの町になりそう。
先は決して明るくなるとは思えません。いつも宙ぶらりんの感じです。

東電からの賠償は、即決感が無く、今必要な補償をしてもらえません。何カ月も前の事を思い出しながら記入して請求
する状態です。未だ未だ手続きが煩雑。毎日、今、暮らしていることで精一杯(精神的にも物理的にも)です。

お世話になります。宜しくお願ひ致します。

0222 女性 60代

避難した当時は精神的に不安定で、なぜこんな事がと頭の中はパニック状態で、それでも子や孫の事でどうにか心のバ
ランスを保っていました。時がたつごとに東電への憎しみ、何も変わらない国に、腹を立て、こんなに、双葉郡や福島
の人達を悲しませ、自分達は何も変わらず、ボーナスをもらい、東電の職員の中には、家を新築している人がいる。こんな
理不尽があるのが腹が立ち、又、鉄道も除染もまだ。どれだけ我慢すれば良いのか、一日をどんなふうにごせば良いの
か。前の生活には、戻れないと思う。幼い孫が戻るには無理。私達は先があまり長くはない。親を見送り、これから、自

分の本当の人生が、とっての時、本当に悔しいかぎりです。町には、財物賠償ならず、精神的にももっと働きかけてほしい。こんなに苦しい思いをしている私達に月 10 万ですませるつもりですか。家の修理も一平方メートル 14,000 円でどう修理出来るのか。原発が、なければ、修理して住んでいられた家、一時帰宅のたび傷んでいく家を見て、悲しくなり、先人の東電を受け入れた事に腹立たしく、何もかも失い、この国の長達の責任のなさにもテレビで知事が東電さんと声をかけていたのを見て、何も分かっていない。避難して、1 年も経つのに何も決まった事はなく、ただ一日をどう過ごせば良いのか。そんな毎日がいつまで、それでも孫が生きる希望になり、成長が楽しみに過ごす日々、生まれた所に帰りたいのは、誰も同じ、一日も早く、安全な町に戻り、生活したい。

0223 男性 20 代

親にも、家をつくることがないので自由に結婚して好きなところで暮らすように言われているので、今までとは考えが全く違くなりました。親は、1号機のスタックのベントラインの高線量配管がいつ破損するか、4号機他1~3号機の燃料の取出し(プール内)が終わるまでは、福島には戻らな!!と言っているの、それを守ります。親は東電の子会社なので状況はよく知っており1Fの状況にも詳しいので家族の中ではマンツーマンでいろいろ教えてくれます。私は福島より遠い所で、結婚してくれる相手を探して暮らして行こうと考えています。楢葉には今の所戻る気持ちはありません。中間貯蔵施設が出来れば、絶対に戻る気にはなりません。若い人が戻らない町になってしまうのに国や県は何も考えていない様に思えます。神奈川ではニュースにもなってませんし、福島に帰った時に、親より、新聞より、福島のニュースよりいろいろ知ることが出来ます。福島の浜通りの双葉郡は人が住める場所ではなくなりました。結婚すら出来ない状況だと思います。非常に残念でなりません。

0224 男性 40 代

障害児をかかえての避難生活であり、町、県、国から『新たな』支援は全くなかった。私達は一戸建てに入らないとアパートの両どなりや、下の人、上の部屋の人に迷惑をかけてしまいます。【略】夜の物音にも気がつかれます。妻も私も娘も息子(障害児)も精一杯な状況です。アパートの住民から苦情が出れば立ち去るしかない現状を知っていますか？ どれだけ気をつかえばいいのですか？ こういう家族には優先的に一戸建て等の住居を用意するのが本当ではありませんか？ 障害者手帳 1 級、1 種。療育手帳 A の子供なのにアパートの 2 階まで毎日、妻がおんぶして運んでるんですよ!! もう少し考えて頂きたいものです。となりのアパートの駐車場をかりて子供をおろしていても、苦情が出て、自分の駐車場から乗り降りする様に言われ、雨の日も、雪の日も毎日毎日妻が子供をおんぶして階段を昇降しています。本当に何とかしてほしいです。自分なりに、一戸建てを探していますが、いわきでは見つからないのが現状で、見つかって月 12~15 万円も支払うこととなります。(安い物件は地震で修理が必要でそれも実費でも修理ですし...)今は、住んでいるアパートの住民からの苦情が出ない様に生活するのが精一杯です。(苦情を言った人は、仮設に入ればこんな苦労はないんじゃないの? どの町から来たの? 人のアパートの土地に入らないでほしい!! 障害を持った子供がいるなら 1 階の仮設がおすすめだよ、こんな 2 階のアパートに入らなければ良かったのに...)こんな事を言われてまで、がまんしながら生活するのはもう限界です。でも子供のために何を言われても「すみません」と言って生活しています。本当に町・県・国には助けを頂きたいと思います。

0225 女性 40代

農家育ちの私にとって狭いアパート生活には限界があり、それに、私の子供は、障害をもっているので、音もたてるし、訳なく汗をかいたり笑ったり、TVの音量を上げたり【略】…。自分の家にいる時は私から叱ることがなかったのに、今は毎日毎日、朝から寝るまで叱られている毎日です。子供は叱られて育つのでしょうか？何を言っても分からないわが子を毎日叱っているんです。私自身どうしたらいいか分かりません。はやく家に戻りたいが、戻れない。何を書いても私達の話真剣に聞いてくれる町、国、東電の方々はいないので、いろいろ思っている事はありますがおわります。でも、いわき市の中では、何人か私の話を真剣に聞いてくれ心配してくれる人がいるので、その人達がありがたいです。

0226 女性 20代

去年から病院に行く回数が増えている。ペットを一人で育てなくてはいけなくなり、ペット禁止の団地で暮らしている。今までは庭や畑で自由に生活できていたが、今はバレないように隠れて暮らしている。生活音がうるさくイライラしてしまう。知らない土地で…不便…住む所見直して欲しい。家ぐらい自分で選びたい。

0227 男性 60代

復興住宅について。

私達二人暮らしの為、年齢から見て色々大変である。地震、東電による放射能汚染、時間による経過で建て直すには経済的にも無理がある。出来れば町の復興住宅等に入れる様希望します。

0228 女性 10代

私は学生なので難しい質問ばかりだと思いました。この質問は、大人むけのものだと感じました。

0229 女性 20代

町長さんは、学歴にこだわらず、信念を持ち、東京電力に対して、楢葉町に本社をもってこい!くらい言ってみてもいいのでは。他の町長さんはお年でもすごい活動してますよ。

財物は、名義変更しなくても補償してもらえる様にしてほしいです。

町長さん、楢葉町にはあなたよりくわしく話せる方々がいます。もっと学習し、とりまきだけでなく反対住民の方々の声をきちんと聞く様に。

社員の皆様様の物資に、一言ずつそえられたお言葉に泣けた。世界中に感謝です。ありがとうございました。

0230 女性 50代

不動産登記の名義が違う場合について、現在居住している場合に変更していなくても大丈夫な方法でしてほしいです。どうして、こんな苦勞をしなくてはならないのか、東電はきちんと反省してほしいです。

町長はもっと自分に自信を持ち、東京電力に対して「本社移転しなければ戻らない」くらい言えないのか!楢葉町は第二原発もあるし二度ビックリはしたくない! チェルノブイリは 30km 圏内でも立ち入り禁止なのに。町長はお年寄の(有権者)声にほだされての準備区域としたのであるなら残念です。町民半数以上の声を聞いてほしかったです。

榊葉町には「安全保安」東京電力の安全に運転されているか、調査する団体があったはずですが、富岡町は、町民の前で頭を下げて謝っておりましたがー。榊葉町では接待を受けて終わりだったのかなあ？ きちんとして下さい。広報でのべて下さいませ。

一時帰宅で計ると、広報よりも高い数値なのはなぜ？

0231 男性 60代

財物賠償について。

国。東電は土地家屋の評価で震災前と震災後の評価の差額を賠償基準としてほしい。家財についても同様と考える。

0232 女性 70代

一日も早く除染をしてもらってもとの榊葉町にもどってきたいです。もうこんなアパートぐらしはつくづくいやになりました。

0233 女性 40代

今回の警戒区域見直しについてですが、とても不安に思っています。原発も収束していない、除染もされていない場所へ頻繁に出入りする事が良い事なのでしょうか。住民が安心して戻れるように先にライフラインの整備、除染などを待ってから警戒区域の見直しを行っても遅くなかったのではないのでしょうか。町民以外の方の出入りも自由になった防犯面の不安な町、電気、ガス、水道も整備されておらず帰っても何もできない町、正直、区域見直しされて出入り自由になってもこわくて戻れません。他の市町村同様、榊葉町も国や東電へ住民の声や意見をもっと伝えるべきなのではないのでしょうか。

0234 男性 50代

選挙で、国会議員になった人々が、一度も顔を出さないのは県民をバカにしている。国会議員こそ対岸の火事として、被災地を見ているだけでしょう。自民、民主、その他、今後国会議員選挙では、国民はおらが町の先生という意識を根本的に考え直す事が本当である。真の国民の代表と言える人を、国会に送り出す事の重要さを認識するべきと思う。日本中、世界中人々から、義援金が集まっているはずだが、政府は、人口が多いからと、分配もない。どこにその金は流れているのか、不思議でならない。地方公共団体も政府に対してNOを明確に表示すべきだろう。1団体に責任を押しつけるにも、刑事事件へと移行してもいいと私は思います。

0235 女性 30代

仮設住宅生活に耐えられない。仮設が狭すぎる。すぐに、今すぐに家が欲しい。新たな土地で家を建てたい。家に住みたい。避難生活が嫌だ、苦痛、早く家の賠償をして欲しい。警戒区域見直しの前に家の賠償が先。見直しになっても家に帰れない。帰りたくない。解除になっても意味がない。新たな家の賠償をしてもらいたい。もうこれ以上避難生活を続けられない。榊葉町に帰れる家もない、家の賠償を望む。

0236 女性 70代

避難生活から1年5ヶ月有りになります私にとりましては大変つらい毎日です。3月11日以来、血圧が安定せず精神的にイライラがつのります。仮設住宅の生活は大変つらいものでそれは住んでいる人にしかわからない事です。私に言うことは1日も早くもとの生活にもどりたくたいです。それを祈りつつ暮らしています。

0237 女性 40代

就職決めたくても決まらない。働く環境が整ってない。長女(【大学 年】)強迫性障害、潔癖症、学校への送迎、次女は特別支援学校 年で卒業に向けての進路、今後の落ちつき先、就職、子供、住む家と何も決まらず、日々過ごしています。

0238 男性 60代

楢葉町に将来は戻りたいとも考えておりますが、まだ、原発で汚染水が建屋内にもれて大変です。収束に向かって一生懸命に、暑い中で、線量計も車に、置かされたり、過酷な労働で、頑張ってくれている作業員の方達に、厚く御礼申し上げたい気持ちです。

家族5人で楢葉町に住んでおりましたが、今は母も避難中に亡くなり、家族は三カ所で暮らして離ればなれの生活です。でも赤十字より家電を届けて下さり、何とか生活はしています。

楢葉町は、まだ線量が高いです。家の廻りの除染はしても、自宅より20m以上はなかなか進まないと思います。中間貯蔵施設も国では、楢葉町にも作ろうとしています。ますます、汚染された物や危険な物を30年以上も置くつもりである。家の中で、窓を閉め切って、洗濯物も外に干せない、布団も放射能を気にして干せない。散歩も出来ないかなと気分も落ちこみます。子供達は“健康第一”と考えて「楢葉町には戻らないよ!」と親に言います。確かに自分も子供達の年齢だったら、そう言うと思います。

楢葉町に住んでも飲料水(水道水)が心配です。大丈夫と言われても飲む人がいるのでしょうか?否定的な考えばかりですが、これが現状の気持ちです。以上

0239 女性 60代

役場職員から、借り上げに好きで入ったんでしょう、支援物資は仮設は皆同じですとか、良い所に住んでいますね、なんて言われて、我々は町民じゃないんだと思った。 に行き、 病院で2ヶ月の間夫を入院させてもらってリハビリしてもらいとても助かりうれしく思いました。

家屋は人生で一度材料を吟味して造っているの(田舎の)年数で評価されるのは悔しいです。

0240 女性 60代

もっと若い人の意見を聞いて下さい。

0241 女性 50代

復興・復旧事業は、その事業を進める業者の金もうけ? 住民の将来、健康を考慮しているとは思えない? 目先ではなく5年、10年、15年の計画してほしい。帰る事は年金生活、生活保護をもらう状態、若い人に迷惑をかける人生です。

生きがいもなく不安ばかりです。作物を作り、食べるのも不安。NHK スペシャルを見ると本当に楢葉町は帰って生活して大丈夫なのですか？ 低線量被ばくの問題は？ 不安ばかりで楢葉へ帰る気持ちにならないのですが、いわきでの生活も不安です。気持の精神的にどうすれば良いのか。方向性を示して下さい方を望んでいます。

0242 男性 70代

東京電力殿へ

大自然の力に勝る科学力などない。人類は災害に学び、失敗を重ね、後追いで、これ等に対処して来ただけであろう。経営者の油断、怠慢が、このことを引き起こした、何ものでもない、と私は思っている。

0243 男性 50代

いろいろな思いがありますが、国、行政、東京電力、横、縦のつながりがなく各自の一人歩きで動いています。それぞれがまとまって話をしながら、一人一人の住民の身になり前に進んでほしいと思います。もっと足元を見て、福島県全体が平等に動いていただきたいと思います。

0244 男性 60代

避難生活も1年5ヶ月になろうとしているが、生活スタイルはただ生活しているだけ、先が見えない生活は不安でたまらない心境です。

現在、仮上げ住宅生活でまわりには知った人はいない状況の中で時々、役場から支援員の方々の訪問はホッとしました。大変助かりました。また、親戚の方々からの訪問やはげましの電話なども大きなはげみになりました。

財物賠償については津波で全流出してしまっているの、賠償は期待できず、望むべくもありません。次の生活が不安です。

町は必死に町民のために頑張っていると思います。しかし、首長、議員さんたちの町復興の道筋をまちがわないように施策を展開し、安心安全な町づくりをして欲しい。

国への信頼感はあまりない。信頼される施策を、スピード感をもって展開して欲しい。県の顔があまりみられないのが残念である。東京電力については、全く自己保身ばかりで被害者に対する誠実な態度が相変わらずみられないのが残念きわまりない。

0245 女性 70代

原発事故がなければこんな思いしなくてもすんだ。一日も早く楢葉町に住めるようお願いします。

0246 男性 40代

楢葉町として良くやっていると思う。

自分で買った線量計で測定すると17マイクロシーベルトや7マイクロシーベルトある場所があり不安だ。避難先で仕事がない。楢葉町に中間貯蔵施設を建てたら帰る人がいなくなるのではないかと。第一原発の天井が爆発で吹き飛びあいてるが大丈夫なのか。

避難生活で酷い目にあって納得のいく基準ではない。

賠償金はいらないので福島県を元通りにしてほしい。

0247 女性 30代

震災から1年5ヶ月経っても「避難生活をしいられている」と放送されている今日に憤りを感じる。他の市民とかかわらず日常生活を送っているのにテレビ等では、まだかわいそうな感じで生活を送っているように放送している。東電からの賠償も入っているのに、これから少なくとも財物や土地の賠償で多額の金が入るかもしれない人の顔や住まいをどうと公開してよいものかと不信に思う。最近では他者に自ら楢葉町出身と伝えることが少し心苦しくなってきた。被災者扱いされたくない。子供たちが将来楢葉町出身ということで差別や損をしない、させたくない、郷土を誇りに思える町づくりをしてほしい。もうこれ以上がっかりさせないで欲しい。今年産まれたかわいい我が子が40歳になった頃、福島に安全と安心は戻ってきていますか？ まだ立てもしないお座りもできない赤ちゃんの40年後を、国や東電は想像できるんですか？ 未来の子供たちに背負わせるようなことはやめて欲しい。

0248 男性 60代

に避難し、住民と同じような福祉・厚生をしていただき、大変感謝している。

本音は、まちに帰町したいが、本当に除染がすすみ安心して生活できるのか日々不安である。

避難中。子や孫が心の支えになり、家族の絆を実感した。役場からの故郷近況も支えのひとつだ。

財物は、個々の趣味やこだわりにより大差が生じると思うのだが、人数だけで査定されるのは不服である。財物は家の規模なども考慮してほしい。農機具などはどうするのか。疑問が多い。

不動産の賠償は、価値として今後0円になることが現実だ。(固定資産税とは別に)このことを考慮して、賠償を考えていただきたい。帰還困難地域も解除地域も同じ条件に思えるのですが…。小さい子のいる家庭は帰町が困難と思われる。長期に考えて人口減は避けて通れないので、自治体の合併を考慮に入れて、今後、復興・復旧を進めていくのも一案ではないか。

0249 女性 50代

震災から一年半近くたって、ようやく生活のリズムができてきたような気がします。避難中、母のもの忘れがひどくなり、うつや認知症の不安や心配など、最近は少し落ち着いてきて、順応できてきたのかという安心感もでてきました。長年住んできた故郷での生活とは全く違う環境の中で、困りごとが全くないといえば嘘になりますが、家族皆なで、いたりあって、一緒に住める、一緒に暮らせる幸福を感じています。いつかは故郷、楢葉に戻りたい…。そんな想いをかみしめながら、今の生活も充実した毎日にできるように生きていたいと思います。

0250 男性 60代

幸いなことに私は国、県、町などの行政に全く期待していなかった。長い会社員生活の中で、役人根性のくだらない、非効率と責任逃れをいやという程、味あわされたから。震災前から、一週間程の非常用食糧と水を家人の反対にもめげず、30年近く確保してきたため、今回の震災では行政から何の援助も不要であった。私が町を離れた3月13日には、ほとん

どの町民はいわき市に誘導されたにもかかわらず、食料・水の確保はないようで(北に戻る町民からその話を聞く)町の非常時の対応に大いなる問題あり。自らの判断で、村にいたり、空港を経由、県に避難、さらに速やかな決断で不動産物件を購入。避難所も仮設住宅も一切世話にならず。「行政は頼るものにあらず!」

P.S. 生年月日、居住地などを記入させたら類推可能なのに「匿名」とはこれ如何に？

0251 男性 70代

地域生活を元にもどしてください。

原発事故がなかったらと思えば原発避難しております。脱原発を全国に広めたいと思います!

0252 男性 50代

国、東京電力は、屋外の除染だけで終わらせようとしているが、屋内もかなり汚染していることを町民にしっかり説明し、屋内の除染も行ってから帰町となるべきだと思う。今回の解除後、何軒かの家で屋内の除染もせずに家の中でくつろいでいる方がいた。私は仕事上で室内の表面汚染を測ることができたため、自分の家を調べたが、かなり汚染していた。ほかの家も同じだろうと考えています。知人や近所の方々に教えたほうがよいのか悩んでいます。化学ぞうきんだけ渡しても意味がわからない方が多いのではないのでしょうか。

0253 女性 40代

解除になっても中に入れるだけで、まわりの除染も終わってないのに家の中を除染するにも不安。カビくさい、ぐちゃぐちゃの家を何から片づけてよいのか。水が出るわけでもなく、ゴミを外に出せるわけでもなく。どれだけ家や畑が汚染されているのか、何から手をつけてよいのか、不安になるばかりです。

0254 女性 60代

- ・個人の積み上げた財産は一律では不満。国と東電の言っていることとやっていることがよくわからない。モルモットとしか考えられない。
- ・いわき市にいても外国人と言われてしまうこと。

0255 女性 50代

第二原発のことは何も聞こえてきませんが、再稼働をもくろんでいないか？ その様な考えが少しでもあるなら、とんでもないことだと思います。また、そのように考えているのではないのでしょうか？

東電のことは、全く信用していないので。

0256 男性 70代

東京電力原発事故が収束しても(国会)安全、安心、信頼は取り戻すことはない。福島県産農産物、檜葉町産の風評被害は除染をしても収束はできない。安全、安心、信頼で一生涯をかけて築いた農業は、私共の財産です。国や東電には真の誠心、誠意のある補償をお願いいたします。中間貯蔵施設ができれば(5km以内)帰れない。残念です。

0257 女性 30代

榎葉町に住めないとしても、いわき市等で、雇用の確保、住まいの確保、学校の確保をしてほしいです。いくら学校再開しても、仮設住宅を作っても、雇用がなければ生活していきません。何とかして欲しいです。

0258 女性 20代

- ・一度も新居に住むことなく、今もローンだけを払っている。借り上げにしてもらっても、住宅ローンを払っているので持家がない人との差がある。
- ・月に子供が産まれる。榎葉に小さい子供を連れて、戻ることはできない。国、東電の「大丈夫」「問題ない」の言葉は信用できない。

0259 男性 20代

部屋が狭く、ゆっくりと休息できず仮眠するだけ!

避難生活の中での移動交通費について基準にそって請求しているにもかかわらず算定していただかず、精神的損害の中でまかなって下さいとのこと。これでは二重の精神的損害だと思います。

親戚、友人、そして人間の優しさでした。

基準がわからないし、ものによっては付加価値が違うと思う。

我々避難民をモルモット扱いするのではなく、一国民として一日も早い平穏な生活に戻してほしい。

0260 男性 50代

部屋が狭く、病院、お店が遠い。

加害者(東電、国)として、誠意が見えない。

今を生きることと人間の優しさ!

あくまでも基準であり、付加価値が問題!

我々町民をモルモット扱いするのではなく、一日も早い平穏な生活に戻してほしい。

0261 女性 70代

私は仮設住宅に入っています。仮設住宅はとても狭苦しいので早く物置が欲しいです。

0262 女性 50代

避難中に心の支えになったのは、人と人とのつながりです。今まで築いてきた人との絆が、これほど強かったことに気付かされたことです。たくさんの心に支えられました。それから、新しい土地での生活は、その土地土地での地域の人にまた支えられていることに気付かされました。新しく仕事を始めて、たくさんの人の優しさにふれて私も頑張らなければと深く感じ、これからの人生や生活の中で、何かしら役に立てたらと思っています。一日一日を大切にしないでほしいと思っています。

0263 女性 60代

市内の仮設住宅といわき市の自宅をいったりきたり(家族の仕事の関係で)しています。子供たちはいわき市に住み、自分たち夫婦は楢葉町に帰り墓守りをします。楢葉の住まいは私の母の家(現在90代でグループホームに入居)を除染して津波で床上浸水のため、修理して住みたいです。母の家は同じく です。

0264 男性 60代

帰りたいた人は帰る、帰りたくない人は帰らない。町に戻った人たちで協力しあい町を復興させましょう。

0265 女性 40代

第一原発の原子炉建屋を早急にドームで閉鎖して放射能の飛散を止めてほしい。臭いものには蓋をしろという言葉があるが、蓋もせず未だに飛散しているのに除染して帰れると考える人たちが考えられない!
頭のいい人や偉い人が多く関わっているはずなのに何をしている!

0266 女性 30代

震災当初、新学期が始まる時に楢葉町の教育長に連絡をして「楢葉町として小学校はどうするのか?」と尋ねたところ「再開する予定はないので自分で探せ」と言われ、避難先に近い所で小学校に通わせました。その時に、予定する場所が決まっていたらそこに行っていたと思います。

今更小学校を再開すると言われても転校や引っ越しを考えると難しく、遅いと思います。他の自治体は当初から学校再開の計画を検討していたと思います。対応が遅すぎるため人が集まらなかったのではないかと思います。教育がきちんとできる環境がないと楢葉町の復興はないと思います。

0267 男性 60代

早く家に帰れる様に。

0268 男性 60代

子供達が誇りをもって楢葉町のことを後世に話せるようなまちづくりを行うべきである。この件は町政だけでは当然無理なことであると思う。国、県、町、および事故を起こした東京電力も入りしっかりとした議論をし10年位(平成34年ころまで)に結論を出すべきと思う。

また現在表に出ているのは放射線、セシウム134、セシウム137のことしか報道されていないが放射性物質各種が他にも放射されていると思っています。国や東電は事実を隠しているように感じています。すべてを正直に公表してほしい。

たとえばトリチウム(3H)プルトニウム23p 第一原発から何kmのところにもどの位の量が測定されているか、数字で示してもらえればもっと安心できるし帰町の判断にもなると思う。

なお4号機より燃料棒を試験的に取り出しているところを報道で見ましたが、燃料棒を取り出すときは試験であってもカバーをして行うことが正しいと思います。あのような行動は町民を無視した行動であると思い怒りを感じています。

今回の事故は想定外の地震、津波による事故と言わず安全管理を怠ってきたことを認め現状を公開することが復興をスピードアップさせることにつながると思っています。10年後、20年後、30年後に2011.3.11.の事故について事実を話されても復興には役に立たないと思うし双葉郡、福島県の人々の気持ちを想う心があるならば一日も早く事実を公表してほしいと思っております。

【住所記載あり】

0269 女性 70代

年齢が70代です。慣れないところでの生活は年と共に辛くなってきます。

隣近所の方がバラバラになってしまい連絡が取れなかったことに関して、役場の方に聞いても教えてくれなかった。

借り上げ住宅に住んで隣の奥さんが声をかけてくれた事、役場の方に聞いても教えてくれなかった。

長男が相談している。

東電に要望 どんなことでも、私たちに本当のことを伝えてほしい。

0270 女性 50代

現在、 に住んでいますがまわりとの付き合いはまったく無く、冷たい空気の中で生活している感じがします。

主人は仮設にペットと生活しているのでそちらへ行くとまわりが町民の皆さんなのでほっとして楽しく話をしたり、気持ちが明るくなります。

0271 女性 70代

わけがわからない内に警戒区域が見直され、不信が出ています。楡葉にもどっても、その何年か後に家を処分して別なところに住みたいと思っても、二束三文以下ですし、買う人もいないでしょう。そうすると先が不安でたまりません。子供や孫が果たして、ずっと楡葉にいてくれれば良いですが、もう住みたくないとなれば、早く別なところに住めるように考えたからです。同じくらいの規模で別なところに早く住んで、ゆっくり安心したい。一時帰宅したときに、我が家を見て、がっかりしてきました。戻って住みたいのはやまやまですが、あれを見て住みたいという思いがなくなってしまいました。仮設ではなく、早く、安心して、ゆっくり落ち着いて住みたい。

0272 女性 50代

- ・家族、特に子供の優しさに感心した。
- ・私は東電の社員の方に親切に説明していただきスムーズに請求も進んできましたが、人によっては不満が多いと聞きます。社員の方々も生活があるのにカットとばかり騒がれ、良い社員が退社してしまったらこれからまだまだ賠償があるのにと思うことがあります。
- ・楡葉町の職員の対応にずっと不安をもったままです。中には、楡葉町役場が戻っても、家族は別な町に住まわせて、自分だけ通勤するという考えの職員もいると聞きます。その気持ちはわかりますが、それでは町民が安心して、帰町する考えになるのでしょうか。一度職員の意向を調査してもらいたい気持ちでいっぱいです。

0273 女性 60代

財物賠償基準がよくない。今まで通りの生活は無理！ 雇用のないところで生活再建はできない。いつ安全といえるのか？ 現在では危険すぎる。

0274 男性 70代

下水道事業を早急に完成させ、檜葉町に住めるようにしてください。でないとなりのことは何も思いつかない。

0275 女性 70代

私たち夫婦は膝関節症で手術をしたが自宅が狭いので寝起きができない。

除染もしないのに立ち入るのが不安で精神的ななやみがある。

東電の賠償金額が少ないため、生活が不安。領収書をつけてもカットされてしまう。

0276 男性 60代

私は家族7人、娘家族4人で 県 市に昨年3月14日避難してきました。3月18日に 市が避難所として設けてくれた老人福祉センター に入ることができました。毎日毎日ボランティアの方や近隣の皆さんがよくしてくれてとても感謝しています。そこで出会った一人の女性 さんに何か会を作ったらどうですかと言われ皆さんに話をしたところ、だれか先頭に立ってくれる人はいないですかと私が問いかけると皆口を揃えて自分が選ばれてしまった。

3月18日~3月31日で避難所は閉鎖しなければなりません。これからも強く生きて歩いて行こうと3月30日に「 会」という会を作り皆で連絡を取り、何も無いところから布団をもらい家族のもとへ届けました。市では住宅は提供してくれましたが後は何一つなかった。 さん夫婦、私の車2台で全部届け終わり朝早くから(3月31日)夜遅くまで無我夢中で駆けずり回り、私がかへ戻ったときは夜8:30頃だった。それから5月2日市長に要望書を出し、子供たちの学校、雇用、年配の方の心のケア、私たち避難者としての専用の窓口を作ってほしいなどの項目を市長の前で読み上げ、それから少しずつ前にむかって歩いていくことが出来てます。昨年の4月29日に第一回目の交流会が始まり、毎月一回は行っています。今では8月4日の交流会17回目を終え、南相馬市、浪江、双葉、大熊、富岡、檜葉、広野、久ノ浜、岩手県、宮城県、北茨城、 会の会員は300人います。自立に向けて強く地区の皆さんと共に歩いて行っています。私たちは自分たちの今までの生活がしたいだけです。国、東電はすべての要望を強く受けとめ、必ず実行する義務がある。国、東電は加害者だから。

県 市はとても素晴らしい。市民の方々に感謝です。

0277 女性 70代

国、東京電力は本当のことを言わない。

0278 女性 70代

私の家は3世帯に分かれています。一日も早くもとの生活に戻りたいです。除染をしていただき我が家へ戻りたいです。家族みんなで暮らすことを日々考えています。

0279 女性 60代

避難生活は毎日とても大変でつらい、死にたくなるほどつらいです。生きていく、ユメもキボウも全くありません。早くキボウとユメのある人生が。生きていてこんなにつらいと思ったことはない

困りごと、悩んでいることは山ほどあり書ききれません。

避難生活で何の心の支えもありません。

【財物賠償基準】は、ひさんです。

【国、榑葉町、東京電力への要望】は、国も、町も、東電も、何をもたもたしているのか、私の中では考えられない。一日も早くしてほしい。うつで死にたいと毎日思っている。原発事故ってこんなに人を傷つけどこに落とすなんてひどすぎる。

生きるキボウがないのは、大変つらい。一生東電うらみませす。

0280 男性 60代

原発反対。

0281 女性 40代

榑葉町だけでは復興できないと思うので、他の自治体と合併して新しいコミュニティをつくってほしい。

0282 女性 60代

除染を早くしてもらいたい。森林もある程度はやってもらいたい。特に住宅に近い部分だけでも。庭木なども切ってもらいたい。

0283 女性 30代

今回の警戒区域見直しは、とても理解できません。原発が収束していないのに復興はありえないと思いますし、除染をしてもすくもとに戻るのでは意味がありません。バリケードが外されて通行許可証の確認もしない。他県ナンバーの車がたくさん町内へ入っており、写真を撮ったり見物したり。ネットにもたくさんあがっています。パトロールも24時間すると書いてありましたが実際は人が足りないのでできていない様子。これ以上家が他人に荒らされるのは嫌ですが、どうしようもありません。

どうしてインフラ復旧と除染を先にしてから見直しができなかったのか。モニタリングポストの数値と、少し離れたところの数値が大きく違うことにも不安を感じます。内部被ばく検査や甲状腺検査も信用できないし、食品などの検出基準値以下というのも納得できるものではありません。基準値の根拠は？ 風評被害というが、風評ではないと思います。避難生活が長く続くことは、確かに相当なストレスになりますが、原発の収束どころか現状の把握すらできていないのに、警戒区域を解除されたことの方が不安とストレスになっています。

私の家は借家ですが持家ではないのももちろん家の賠償はないし、財物賠償基準にも納得していません。原発の恩恵なんて私は受けてないし、たまたま嫁いだ先が榑葉町だったから、そこで子育てをして働いて生活してきただけです。すべ

て置いて、すぐに出ると言われて、入るなど言われて、役場にも勝手に避難したんだろうと言われ、それでも頑張って仮設に入り、ようやく生活にも学校にも慣れた頃、解除しますよと。お盆にはお線香あげられますよと言われても全く喜べず、逆に不安と不満がつのり、国や町への不信感が増すばかりです。

0284 女性 40代

遅くなりまして申し訳ありません。アンケートを活用してもらいたいとの思いと、あまり思い出したくないとの思いがあります。

友人たちにはいつも助けてもらっています。

賠償や補償の格差による、ギスギスした人間関係が生じていることが悲しみを増しています。

マスコミの報道が現在はほとんどなく(原発のこと)、関係ない一般の方に「どうなっているの?」と聞かれる。私自身も正確なところがわからず答えられないことが情けないです。

0285 男性 60代

財物賠償について 所有財物に見合った算定方法をとってもらいたい。

0286 女性 50代

一番は東電の賠償に対する考え方が被災者に対して上から目線で考えてることです。自分の自宅に帰りたいたいと思っている人が数多くいたとしても、無職になってしまった人、以前より収入が減ってしまった人がいて今の賠償では今後の生活に対する不安が大きすぎて考えがまとまりません。

生活の立て直しや住宅再建をしたくても低い賠償ではできません。無職になってしまった人の賠償を定年までしてほしいと思う。何事もなかったら60歳65歳定年まで働くことができたのに、皆が以前のような生活を送ることができないのであれば、それくらいの賠償をしても良いと思う。どうやって以前の様な生活に持っていけば良いのか、毎日が不安です。家のリフォーム、建て替えなど、不安です。人生が変わってしまいました。

原発事故をおこして人々の人生を変えてしまったことに対する賠償・補償が大変低いと思います。

0287 女性 50代

私たち夫婦はすでに50を過ぎ、義父も高齢ですので、すべてのことにおいて妥協することで、多少の解決につながると思いますが、子供たちの将来を考えると憂鬱で夜も眠れませんが、後戻りできない現実に向けることなく、また、これも与えられた宿命だと強い気持ちでいなければこの難時は乗り越えられないと、自分自身を...日々叱咤激励しています。しかし、この事態はマイナスばかりではなく、長い人生において学ぶことも多いと思っております。

避難中の心の支えは家族でした。

0288 女性 40代

この前の 県の集まりで質問にもでました借り上げ住宅の延長の話なのですが、その後どうなったのか全然わからない。早く答えを出してもらいたい。働けない理由としては子供が未だにカウンセリングを受けているので働くことが難しい。

楢葉町の情報をもっとききたい。

0289 男性 40代

事故収束はまだである事実をもっとわかってほしい。ある意味モルモットのようで悲しい。

0290 男性 30代

賠償基準の見直し、安い金で家を建てたわけではありませんので新築同様賠償をしてほしい。楢葉町民皆様の心に傷を負わせたにも関わらず反省の色が見えないし、東電は人殺しである。

0291 男性 40代

楢葉町はもともと放射線量が少ないですから除染をしっかりやれば子供たちが戻れる町に再生できると思います。一番の問題は、一年以上放置された、自宅の修繕と子供たちの学校の問題です。

東電、国、町で家屋の修繕や新築の補助をしっかりやっていただけるのなら帰還する町民も多いと思います。また、子供をもつ親としては、学校の再開が心配です。

最後に新町長の松本幸英町長は私たち町民のために本当に全力を注いでいて頼もしく思います。賛否両論ありますが、皆が町長の意向を信じて帰還できることを祈っています。

0292 男性 60代

津波で全壊でも財物賠償を要求したい。

海岸沿いの農地は、国で買い上げ太陽光発電、あるいは廃棄物置き場にすればよい(若い者は帰らないので農業はできない)。

0293 女性 50代

原発事故のため会社がなくなり困っています。楢葉町に帰っても仕事がないと暮らしていけないので東京電力の方から生活できるだけの賠償金をお願いいたします。

0294 女性 40代

本心は戻りたくないが、ずっと先のことを考えると、いわき市で家賃を払いながらの生活は無理なので戻るしかない。戻っても仕事があるのか？ 国、東電には責任もって雇用の場を作ってほしい。

今更除染をしてもほとんど意味がないと関係者たちが言う。私たちはそういうところへ戻されようとしています。少しでも賠償に支払う金額を減らしたいからですね。将来体にどんな影響が出るのか実験されるだけです。意味のない除染に莫大な費用を大手ゼネコンに払って終わり。いい気なものです。

楢葉町には、今までと同じ町ではなく、大胆な発想で思い切ったまちづくりをしてほしいと思います。汚染された町に生活していることも忘れるくらい便利な町。将来自分の子供達が戻ってきたいと思えるような町。30年もたてば放射性物質もほとんどなくなるでしょうから…。

0295 女性 70代

生活の場も何度も変わり慣れない地をあちこち、とても不安が一杯、とても私の神経では耐えられない程だった。テレビを見れば津波のこと、毎日地震がある、どこへ行っても毛布だけで寒くて、多くの人が風邪をひいた。私も声が出ない。顔見知りの人に会うと抱き合っ泣くしかなかった。いつのまにか会津の方まで逃げてきてしまって体の調子ももよもよと崩れていく。5日も眠れなかった。とうとう発作的なものが現れた。うつ病と言われた。信じられなかった。やっといわき市に戻りいい先生にめぐまれ今日に至ってまいす。でもまだまだ薬は手放せないとのことです。時々疲れてくると症状が出て安定剤を口にする。その他の薬ともきれなくなっている。避難生活はなんとか慣れていて、隣近所とも仲良くまた体操したり、楽しい時もある。今年はとにかく暑いです。外から入ってくると息苦しくなる。わがままは言えないけど部屋が狭いです。

私の場合主人が子供達二人も優しく、救急車で行く時も検査の時もつききりで世話してくれました。役場のボランティアさんもよく接していただきありがたいと思っています。私はあまりわかりませんが、これから国、東電さんにお世話になることが一杯山ほどです。家族に頑張ってもらいます。

手が震えボールペンを使えないです。またテレビ、新聞もあまり見たくないです。すみませんよろしくお願いします。とにかく一日も早く家に戻りたいです。

0296 女性 60代

このような長い期間自分の住む場所がありながら、いまだに戻れず、行く先の方向も決められずに地に足のつかない生活をいつまで続けなければならないのか。あの当時お世話になった方々にはなんのお礼もすることが出来ず、たくさんのおいしいお心をいただいたままです。5年は戻れないと人々は皆口にします。が、5年も故郷をはなれて生活しなければならない状況だとすれば、今この地が故郷になりつつなってしまうそうです...。“生きる”ということの意味をこんなにも現実として考えさせられたことはありませんでしたが、生きるということは大変なんですね。

年老いた母がいます。仮設で生活しているそんな年齢の人たちを見るたび悲しくなります。自分よりも早く安定した生活をさせてやりたいと...でも意外やそんな人たちは昔の生活のくるしさを、身をもって経験した人たち...かえって私たちの方が力をもらっているような気がします。今の状況ではどうしたらいいのかわかりません。早く収束(本来の)をききたいものです。

0297 男性 70代

仮設住宅の生活は不便だが、人生にはこんなこともあるかと達観。町民の皆様と同じ環境に自分をおいてみたいと選択した。考え方として戦後の生活を考えると、衣食住はまあ万全、餓死することもなし、諦観する。だが、東京電力は住民の生活、夢、希望を奪って反省感がない。国も県主データを隠ぺいして事実を明らかにしない。信用する気になれない。政府は原発ばかりでなく、津波の被災地に対し、特別措置法を作り発生したガレキ等を他県にコストをかけて処理せずに、地元へ投資して大設備を作り、失業者を雇用し、景気を盛り上げるべきだった。だが、やってることは能書きだけ。消費税に明け暮れて、心がないことが判明した。簡単にいえばわずかな金を出して住民の資産を公的資金(税金)で獲得した。補償額も小出しだ。第二原発の処理についても言及しない。心の底に再稼働を意図してると思われる。住むどころではな

い。

町民、各自長年培った形のあるもの、無形の資産がある。それを奪うことは犯罪である。形だけの除染をしても後から放射能が戻っていました。悪い材料は全部後出し。無駄な費用はもったいないと思う。費用対効果 = 気分、実効は少ない。

0298 女性 40代

避難解除になっても24時間家にいれるわけではなく日中よりの限りがあるため、実際居住できるまでにはまだまだと思われまます。

帰宅にあたり、今まで水道、電気が通っていなかったことを考えると直さないと住めない状況だと思います。家全体の水道管を直したり、ガスレンジ、ソーラーetc.を全部交換が必要だと思われまます。家も閉めっきりで空気を入れ替えていないので傷んでると思われまます。家の賠償も、他の町と同様に考えてほしいと思います。

0299 女性 70代

8月10日に警戒区域見直しと同時にアンケートが送られてきました。作成したあなたたちは今の檜葉町に来て自分の目で見て町に入ると田畑は2m~3mの草がなびいています。除染もライフラインも直っていない町です。仮設トイレがあるといても5分もかかるのですよ。線量が高い所もあるのですよ。国は何を考えているのか。私たちはモルモットですか。最初の話では環境庁、安全保安庁の人たちは除染は木を切り屋根も家の中も除染もしますと。

今になって雑巾が送られてきました。自分の家の中は自分でというのでしょうか。送られてきた雑巾では廊下を拭いたら終わりです。国もだんだん話が違ってきます。あなたたちは一度檜葉町に来て町の様子をその目で見て下さい。東京にいて何の不自もないあなたたちにはわからないでしょうから。

家は玄関を入るとカビ、湿気のおい。壁は落ち異様で我が家でないみたいです。そうですね一年半も閉めきっておいたのですものね。

0300 女性 60代

敷地内に家が三件あるのだが、賠償仮払いで二件の仮払い金しか入ってない。問い合わせたら納屋がS35年に建てたのだから登記してなかったのが発覚。納屋といってもその間、鉄骨づくりにしたりしてリフォームして現在に至っている。東電では補償できないという。リフォームしないと入れないのに補償しないという。そんな馬鹿な話あるでしょうか。

0301 男性 60代

震災から1年5か月が過ぎました。今回、警戒区域見直しにより8月10日より自由に家に入れるようになりましたが、一次帰宅の時は時間が少なく、念入りに見られなかった家の中も、今回見られました。1年5か月もの間家を空けた状態での家の中は死んだ家でした。表面は大丈夫かと思いましたが清掃するたびにもうダメかと言う思いになりました。臭いカビ雨漏りとひどい状態です。やはり家というのは人が入ってないとダメです。

又原発も実際に収束していない状況での不安もあります。いまだに原子炉の中心部には誰も入れない状況ですし、いつまた3月11日と同じことになるおそれはあります。帰町しても不安はあります。

原子炉の核燃料が全部取り出されて収束と思います。

復興に向けてみんな頑張っていますが、ほんとうに大丈夫なのかな？と思います。

0302 女性 70代

楢葉町住民のためいろいろと御活躍下さりありがとうございます。私現在 県に住んでいますが、楢葉の自家は瓦屋根がこわれ、天井が下に下がっていて、雨漏りでタタミはびしょびしょ、部屋はリフォームしなければなりません。地震だけだったら直ぐになおせたのですが、原発事故のため1年以上も長引きこれからもわかりません。家はいたむばかりです。警戒区域見直しに入っても 県からではそう家には帰れません。せめて楢葉に近い「いわき市」に住み自家をリフォームしに毎日通いたいです。それにはお願いしたいのですが、仮設住宅をもっともっと増築していただきたいです。早期にお願い致します。

0303 男性 60代

家(建物)や庭の除染はあたりまえだけど床下の除染もしてほしい。一緒に住んでいる長女は帰町することができるころには40歳をすぎているが就職を世話してもらえるか心配だ。クーラーのない楢葉の生活だったが会津の夏や冬はエアコンなしではいられない。毎日熱中症寸前であるし、電気代もかかるのでなんとかしてほしい。

0304 男性 60代

第二原発は安全を十二分して稼働した方がいいと考えます。雇用につながるためと、楢葉の復興の為。財物賠償の件はできるだけ事はしてもらいたい。

0305 男性 70代

土地、建物、価格がゼロの為、売買ができず困り除染してもなかなかもどっても前の生活になる事はむずかしいです！解除するのもまだ早いのでは？ すべてが終わってから帰る(解除する)べきではないでしょうか。

住民にも説明が必要だと思います。町の議員たちは毎日どんな仕事をしているのかわかりません！ 町の説明会でも顔を見たことはありません！ 町のために何もしていないのか？

0306 男性 60代

財物賠償にかかる基準をはっきりしてほしい。特に家の登記されている物とされていない物に差別しないでほしい。

0307 男性 60代

字がわからないのでひらがなで失礼します。東電の人や国の方は私たち避難している事、どういうふうに思っているのか、私たちは何も悪いことしてないのに、とつてもみじめ。大きな家に住んでいて、今は鳥小屋のような小さな家...家とは言えない二間しかない部屋で、三人で住むにはとつてもきゅうくつです。生活が大変です。早く、もつのような生活ができるように、してほしいです。

福島知事も何もしてくれないみたい。態度がでかく見えてね、ぎえん金など新聞に毎日見るんですけど、この金のつかい方、どの位いいいただいたのか、私達には報告はこないのか、ひがみかもしれないけど、知事がちょろまかしているの

ではないかとおもっている。

みんな顔では笑っているけど心では泣いているのです。言いたいことも、言えないで、役場の人はづけづけ人にいやな事も、へいきで言う、とってもいやな気分です。みんな同じく平等にしてほしいです。それともそれだけの頭が無いのかなあとも思う。

東電も大変だとは思いますが、私達は金が足りなくて大変なのでもっとお金あげてほしいです。野田さんや細野さんと同じくらいの生活できるように。

0308 男性 50代

檜葉町の復興に関して。

0309 男性 60代

借り上げ住宅にありますが、町の色々な催し等情報連絡が入って来ません。支援物資等もそうでしたが、ほしいなら取りに来て、催しに参加するよう情報を聞きに来てという御役所気質がこの非常時にも抜けていなく、日本の役所仕事に情けなく思っているところです。町民への平等なサービスを行う義務があるのだということを町政を司るもの、執行するものはこよう時こそ原点にかえり、実施してもらいたいと思います。「私も被害者ということは十分判っています」町も民との絆を悪くしない為にも可能な限りの配慮をお願いしたい。町民としても何か考えねば...

情報センター(受付でなく情報発信センター)。

- ・新情報があればセンターから借り上げ住いの各所帯代表の携帯電話に伝達する
- ・その時困っていること、家族の消息安否を聞いたり相談できるのではないか。

以上、具案を申しあげました。

0310 女性 60代

震災前の檜葉町に一日も早くもどってほしいです。

0311 女性 60代

避難する前までは両親は元気で畑を作っていたが、今は何もやるのにも意欲がなく、かわいそうです。前の生活を取り戻してやりたい。

家に帰っても水がでないし、トイレは使えない。でたゴミも置き場がなく物置がいっぱいになってしまう。家のまわり、目の前の畑も庭も2m以上の草、裏山の竹はものすごい事になっている。何からやればいい。考えただけで頭が痛い。ただ、仮設には前からの友達もいるのでいろいろ相談したりしている。

0312 男性 50代

個人で商売をしている者に対して十分な賠償をするように話し合ってもらいたい。土地持ちやお金持ちの人達ばかりでなくやはり十分な賠償をお願いしたい。たとえば同じ大きさの店とかお金を出していただきたいし、店を出すための賠償をしっかりとってほしい。このままでは名義持ちの者ばかりが賠償の対象になっているだけにすぎない。借りている者は何も

することができなくなってしまう。借りている者がしっかり再生できる方法を十分に考えてほしい。

多くいただくとは考えていません。せめて店にかかったお金だけでも賠償していただきたいと思っている。

国、東電は、税金や電気料を上げてかまわないと思う。それがすべてうまくいくことにつながるのでしたら、少々多くとっても構わないと思う。

納得できる賠償をしていただければいいと思います。

民主党が政権をとってまだ何年も過ぎていないのだから、自民党はもんくばかり言わないで協力すべきだ。野田総理は充分一生懸命仕事をしていると思う。ちなみに私は、自民党を支持している者です。もんくばかり言っても仕方ないと思う。楢葉町にはこれから少々時間がかかってもいいので東電と国としっかり話し合ってほしい。(また竜田で飲みたい。)

0313 女性 30代

一年以上経っても国や東電が他人事のように思っている事が不思議である。

自分に財力があつたらこんな国は早く脱出したいのが、今の気持ちである。環境省の【職員】が、代表だと言って一度説明に来たが、【不適切な】対応をとり、親身なふりをし、そのままほったらかしで何の為に【略】来たのかわからない。それなのに国の奴らは仕事をした気になっているのかと思うと恐ろしい国であると思わざるを得ない。

本当に毎日、今を考えるのが、嫌である。国会は第一原子力の敷地に立てるようにすれば本気で除染の事を考えるのではないかと思う。国会議員はみんなどの党をつくっても役に立たないのでみんなやめればいいと思う。研究者の人もおもしろ半分でこんなアンケートをとっているのかと思うとイラついていられない。

0314 女性 30代

賠償問題も大切ではあると思うので、帰町する人が少ないのであれば、除染などに多額の資金を投入するより賠償や生活再建の資金にしてほしい。帰町するにあたって、安心安全ではなく除染は不十分だと思う。

0315 女性 70代

一時はどうなることかと思ったのですが、1年5か月がたつというのに何も進んでいないのにはがっかりします。でも何とか落ち着いてきました。この先をいろいろ考えると夜も眠れません。兄弟たちの励ましの言葉やお世話になったこと、それにまわりの人たちの言葉には助かりました。まだ何もきいてないのでわかりません(財物賠償基準)。

国、東電、町にはいつきも早く除染とインフラを進めてほしい。原発も早く政策を進めてください。そして東電さんはごまかしのないよう正直に発表してください。安心して住める町にしてください。よろしく願いいたします。

0316 女性 20代

もとの双葉郡に戻してほしい。ただそれだけです。田舎だけど、とても自然豊かで、住みやすいところなので。私としても大好きです。

区域見直しで財物賠償基準に差があるのはとても不愉快です。線量にかかわらず、警戒区域に指定になった時点ですべての町に同じ金額の賠償をするのが筋だと思う。線引きをするところで(左右で)金額が変わることで気持ち的にとても嫌な気分になります。

0317 女性 40代

突然の震災と原子力発電所の事故で驚きました。

たとえば避難解除準備区域についてのテレビと新聞での報道に差があるので聞いたときいったいどちらが正しい報道なのかと思う時があります。

避難所を3度変わりましたが一緒に避難していた人たちのいたことが私の心の支えになったと思います。また大きい避難所での新聞の号外が配られたこととラジオを非難するために自分で自宅から持ってきたこととラジオで避難所での被災した人の消息をきくことができたことが私の心の支えになったと思っています

正確に伝えるということが大切なことと思います。

2012年8月16日 【名前あり】

0318 女性 30代

精神的苦痛の損害賠償の月額、避難所にいた方とそうでない方で差額があるのはおかしいと思う。だったら今現在借り上げ住宅にいる方と仮設住宅にいる方で差をつけるべきだと思う。納得いかない。

仮設住宅は隣人のおならの音も聞こえるほどです。うちは3歳と1歳の子がいますが隣人にかなり気をつかいます。櫛葉の我が家だったら気にせずのびのびと育児ができたと思います。

0319 男性 50代

・櫛葉に帰るときには妻の両親も連れて帰るので近くで入居できる老人ホームと病院がないと帰れない。父は入院中で母は一時的に老人ホームに入居中です。リリー園、ときわ苑は、櫛葉町で再開を考えているとのことだが、再開するからの返事だけではだめです。入所できる場所が決まってからでないと帰れません。役場の職員は簡単に考えているようですが、東電の人と同じ言い方で私たちの気持ちを逆なでしています。不安をあおっています。

・東電の賠償について

精神的損害、一年分一括で終わってしまうのではないかと？ 就労不能損害、H26年2月までとあるが、継続するべきだと思う。家財賠償に一時帰宅の費用込みとあるが30万では今後帰還に向けて一時帰宅の回数も増えるはずなので足りるわけがない。福島 櫛葉1回1万くらいかかる。週一回一年48回48万。いわき市に避難している人と遠方に避難している人とが同じなのはおかしい。

・妻の避難前の勤務先より、【略】再開時に復帰するかしないかの連絡があったが、家の修繕もどのようにすればよいのか？ 再開時に間に合うのか？ 私の仕事の都合もあるので、私と妻と両親とそろって帰還できるのか？ 妻だけが先に帰ることになると二重生活になるので生活費が増加してしまう(光熱費、食費、家族間の移動交通費など)し、精神的損害に含まれるとあるが、一年分で終わったらそのあとどうすればよいのか？ 復帰する予定で返事するつもりだが、家の修繕など間に合うように優先的にやってもらえるのか？

・土地、家の賠償、避難指示が解除されるまでの期間分とあるが、まだまだ不安、不満あります。納得いかない。

0320 女性 40代

アンケート内でところどころに書き込んでいることがあります。読んでいただければわかるかと思います。

この一年、目が悪くなり、書くこともキツくなってきました。毎日の様にアンケートや申込みなどの書き方にかなりの労を使っています。本来なら毎日の様に読むことはなかった。両親の分と自分の分と読み書くことは疲れしました。

0321 女性 70代

- ・ 仮設住宅の方はいろいろと情報や支援がありますが借り上げ住宅に住んでいると、人との交流がなく老人にはつらいものがある。たまには、借り上げの老人宅にも訪問して心のケアをしていただきたい。
- ・ 一時帰宅して故郷が草むらになっていて本当に住めるのだろうかと思います。安心して住めるには何年かかるのでしょうか。
- ・ こんな災害がなければ家で生活できたのに、病院で寝たきりで何も反応できない状態でかわいそうです。一日も早く復興してもらいたい。

0322 女性 年齢未記入

一日も早く、安心して暮らせる町にしてほしい。今まで生活してきた檜葉町に一日も早くなってもらいたい。いわきで土地を購入して、家も建てるのは大変で無理である。

0323 男性 40代

原発事故前の生活に戻りたい。

政府、行政、東京電力は責任を取って対応を最後までしてほしい。信頼ができない。

財物補償はまだ何もない。早くしてほしい。

0324 女性 50代

去年の3月11日から現在まで考えることはいっぱいあります。70代の年寄りとも一緒に住むこともできなくなり、老介護の様になり、若い人たちが手助けできずになかなかうまく生活のリズムがとれない。特にアパートなどに住んでいる人たちは集会所などがなく、コミュニケーションをとるのが難しいと思います。年寄りは病気や精神的にも大変な思いをしています。

それを見ている周りも大変な思いをしています。細やかな介護を望みます。

子供たちは何ももたず、何の考えも出来ないうちに転校となり精神的な苦痛は言葉では言えないくらいです。(子供は環境になれるのが早いと言いますが)それで、終わりとされたら本当にかわいそうだと思います。双葉郡内の小学校、中学校、高校の子供たちのことをあまりにも考えなさすぎです。とりあえず転校、そしてサテライト、又高校も転校して別のところで勉強できてるのだからよしとするなんて、とても考えられません。一人10万の精神的苦痛の金額は考えられません。高校生などは、やめてしまった子供もいるんです。いまだにしっかりと考えられない子供や不安を持っている子供もいます。高校はどうしてサテライトなのでしょう。仮設の学校をつくってせめて子供たちだけでも前と同じ環境に近づけて3年間生活させてやりたかったです(又去年4月に事故の影響を勘案せず事故前と同じように学校が始まったのも考えられませんでした)。

世間で意見を言う人は現地に来たことがあるのでしょうか。

現地の様子を(人間・自然・猫・犬・牛・その他の生き物)あまりにも、知らされてないことが多く、情報が行き届いてないように思います。細かく発信してほしいです。

福島自体も、現実はずっと大変な思いをしているということを発信してほしい。今まで20kmで線を引かれ、子供たちはこれから福島県ということで差別されないか、どう乗り越えていくのか。それを考えると本当に大変な事故を起こしてしまったなと思います。東電・国は最後まできっちりと責任をとってほしいし、人ひとりの人生をあまりにも軽く見ているようで、これからの生活を考えると、帰って周りを見ると、どこから手をつけたいのか本当に不安になります。国は本当に考えているのでしょうか。もうそろそろこの辺でいいかで片づけられてはたまりません。原発のある地域の人たちは、事故が起きたら自分たちはどこに逃げたいか、もう場所は決めてありますか。学校・病院など引き受ける場所は決めてありますか、それすらも決められないのなら原発を動かすことなどありえません!!

0325 女性 60代

・ペットとの生活がままならないのが現状。借り上げはペットの不可が大部分であり、県内外から楡葉町に比較的近い。いわき市に転居を希望しても、住居が見つからず困難にぶちあたっている方が多くみうけられる。借り上げの人たちには、情報が伝わりにくく、困っている部分もあると思われる。

0326 女性 60代

私たちが本当は楡葉町に帰るつもりでいましたが、孫たちに楡葉には行かないと言われ、楡葉町はあきらめました。いわき市に住むことにしました。

0327 女性 50代

政府と楡葉町長は町民の意見等を無視している。「お盆に先祖に手を合わせていただきたく」解除にもっていったようですが、除染されていない中でお墓参り出来ますか？ 生きている人間のほうが大事ではないのでしょうか？ 補償問題でも双葉郡6町村3.11.から家を出ています。同じ状況なのになぜ解除なのですか？ 線量も低いわけではありません。政府の方々、家族とともにこちらへ来て暮らしてみたいかがでしょうか？ 私たちも同じ人間ですよ！ 町民は納得しているわけではありません。きちんと一人ひとりの声をきいてください。

0328 女性 40代

町営住宅においてきた、家財道具、生活用品全てを処分するにあたっての補償、処分料、業者にかかる代金、人件費全て補償してほしいと思う。(東電職員が手伝え!!)

二度と使用できないほど。(掃除をするのも重労働)家財道具は使わない。処分として引き取ってほしい。捨てるのにも、3階から荷物を下に運び出すのは女手ではできない!!

何とかしてください。男手を確保して荷物を移動してほしい。処分する荷物全てのごみ置き場を早く作ってほしい。大事に飼っていた熱帯魚が、水が止まったせいで全滅したのは町？ 東電？ 誰のせいだ？ ちゃんと補償対象にしてほしい。

0329 男性 3代

一瞬にして人生設計を狂わされ、見直しを余儀なくされた。当事者である東電の怒りは今も収まらない。誰がみても事故が収束していないことは明らかな状況なのに、帰町に向けた動きを進めた町・国の対応は理解できない。

中間貯蔵施設が建設される可能性の高い地に小さな子供を連れて戻るはずがない。新築3年目で被災しローンも残っている。文句を上げればきりがない。前向きに生きていくためには完全賠償をすすめてほしい。

0330 男性 60代

今回の警戒区域見直しについては、甚だ疑問である。お盆に一回帰町しましたが、車両通行証を町で発行したのににも検問がなく、誰でも自由に町に出入りでき、窃盗・空き巣も自由に入りやすく思います。お金をかけて、このような通行証はいらないと思います。

なにかあれば免許証や身分証明書で十分である。

0331 女性 40代

3回目の賠償までは順調に済んでいたが、4回目(3月~5月)になって息子の自宅待機が終わり関連企業への出向となったら、転勤により避難生活を終了との東電からの回答。原発事故があつてこそその出向であり、何もなかったら今でも家族全員平和に暮らせていたはず。「納得できない」と申告したら「政府指針に従ってやっています」との答えは覆らず。自分でいろいろと調べたり、相談会に参加したりと手を尽くしていたが、転勤=賠償打ち切りという図式が正しいという人はどこにもいない。ADR【裁判外紛争手続】の方向で準備をすすめている。ADRで無理だったら個人で弁護士に依頼をかけてでも争っていくつもりでいる。

好きでこんな生活をしているわけではない。補償金がもらえて、うらやましいとネット等によく書かれるが、交代してくれる人がいるなら明日からでも代わってほしい。主人や息子の会社は地元の工場をどちらも閉鎖して新工場の建設に入っている。今の会社に所属している限り、榎葉町へは帰りたくても帰れない。将来、息子と再び同居できる日がくるのかもわからない。こんな状況で賠償金が打ちきられるなら私たちは被災者ではなくただの難民だと思う。国は20キロ圏内の人間を見捨てているとしか思えない。

【住所記載あり】

事故前から原発反対で世間でいうところの立地町村ゆえの恩恵など受けていませんでした。あえて、実名と連絡先を書かせていただきました。

0332 男性 50代

東京電力へ言いたい。財物賠償の対象の中に犬、猫が含まれているか。飼い主として引き取って預かってくださっている方に宿泊、世話を支払っているが、東京電力は「財物が決まっていないから」と言って宿泊、世話を認めてくれない。請求を出すたびに戻ってきてしまう。犬や猫を飼っていた人は命を守るためにひきとりたいが、借り上げ住宅のため飼うことができず、友人に頼み込んでようやく居候させてもらっているのに、なぜ認めてくれないのか。

0333 女性 60代

避難中、一番大変だったのは、ペット(犬1匹猫1匹)を連れていたことでした。そのために避難所にも行けず、アパートも借りられず、親類の家も厳しい状況でした。それでも連れてきてよかったと思っています。ペットを置いてきた知人は今でも悔やんでいるからです。

避難した人たちはみな、避難所へ行き、仮設住宅に住んでいると思われていますが、多くの人が何の情報も支援もなく自力でさまよっていました。私たちは公園や道の駅やサービスエリアで泊まりながら親類を訪ねまわりました。今のところに落ち着くまで(2か月間)おにぎりひとつももらいませんでした。何より力になったのは親類の方でしたが、そこも10人ほど避難されてきた方を泊めていました。

- ・ 檜葉町に帰れたとしても、住むだけでは暮らしていけません。生計が成り立たなくては無理です。子供がかなりの数帰らなくては私たちの仕事も成り立ちません。(サービス業)だからといって新天地で土地や家を買うお金もありません。そのはざままでどうしたらいいのか揺れ動いているのです。今家賃や生活の補償をいただいているので何とか大丈夫ですが、ローンの返済も始まりこの補償がきれた時のことを考えると不安です。
- ・ 「故郷に帰りたい」という感情的なことより「どのように生活していくか」という現実的なことに向き合っていきたい。一番残念なのは最終処分場も決めず、未完成のまま原子力発電所をすすめ、今もなお未完成であることに誰も目を向けようとしません。将来、負の遺産を残すだけです。
- ・ この一連の災難を振り返ってみると、先の第二次世界大戦と状況は同じではないかと思う。指導者や幹部は、いつも自分たちは安全なところにおいて、現場の状況を把握せず、口先だけだ。おいしいところだけとって、いざ危険になるとさっさと逃げ、その後責任に対しては口をつぐみ、のうのうと生き延びていくのだ。
- ・ 国民の熱が冷めればこの先うやむやになってしまう。隣り合わせに避難している人がいるなど忘れてしまう。しかし、高放射能を持った汚染物が大量にあって、その処分方法すら未だに決まっていないことを認識しなくてはならない。
- ・ 私は受け入れた責任として帰宅困難地域に最終処分場(中間は最終と同じこと)を持ってきても仕方ないと思っている。それ以外の地域で受け入れられるはずがないから。
- ・ 関東の人は自分たちの使っている電気が福島から送られていることを知るべし。私たちが東北電力を使っていることはほとんど知らない。電気は安くしてほしい。汚染物は嫌だなど、自分たちがよければそれでいいのか。
- ・ 警戒区域でその後環境にどのような変化があったのか調査しているはずだがどうなっているだろうか。

0334 女性 10代

第二原発も廃炉にしてほしい(国、東電へ)。

0335 男性 70代

避難生活をしているうちはどんなことをしてもらっても心の安定は得られない。早急に元の場所に帰って生活したい。

国、町、東電は除染をし、放射線の影響のないようにしなければならない。

国は推進責任があるので全力をあげてもとに戻せるようにしなければならない。

町は誘致責任を迫り町民の前にはっきりさせてほしい。

国や町は事故に対する対応の不備について行政罰をもって臨むべきである。

事故に対しては刑事罰も視野にいれてほしい。

こんなことを書いても実現はされないでしょう。町や国へのはたらきかけも(実質的には)ないでしょう。

0336 女性 40代

今回の警戒区域見直しについては、防犯上非常に不安を抱いていた。一時立ち入りなど、自分たちの地域のほとんど盗難にあい、また窓ガラス、ドアなどが破壊され、放射性物質にも家が汚された。これから誰でも立ち入り自由となるだろう。町および県警などは巡回を多くすると言っているが、親類が帰宅した際、誰もパトロールに来ていなかったとの報告を受けている。 県という遠方にいるため、なかなか立ち入ることができず、またこのような防犯上の不安をかかえながらこちらで生活している。

また、子供たちの学校のこと、仕事のことなどでこちらの生活に一区切りが果たしたら自分たちの家に帰ろうかと思うが、盗難の被害、また放射能の不安を抱えながら同じ地域のほかの人たちが帰るかどうか非常に不安を感じる。自分たち家族だけが帰って(しかも子供は帰らないというが)果たして幸せを感じるかどうか？

0337 女性 30代

震災があり、仕事が解雇されてしまったので、これからの生活にかかるお金が心配。 で私と子供と生活しているので早く安心した生活を送りたいです。

0338 女性 70代

現在の避難生活は夢も希望もない。

精神的に苦痛の毎日です。

支えになったことは何も無い。

財物賠償に関することは何も説明をうけてない。

国や東京電力にはもっと早く手をうってもらいたい。

0339 女性 20代

早く元の楢葉町に戻してほしい。特にライフライン、除染をなんとかしてもらいたい。原発も早く収束してほしい。

0340 女性 30代

震災から1年5か月経って、私たち家族は他県に住んでいるため、何もわかりません。状況など...

【国、楢葉町、東京電力】に対して、楢葉町が解除準備区域になって自由に入れても、今後のインフラ、除染が十分に進んでいくのが不安でいっぱいです。あの3.11.がこなかったら、原発事故がなかったら...と思うと、涙が止まりません。仕事は私しか働いていませんが、 にある会社でした。今後の見通しも全然わかりません。生活と雇用の不安です。

【財物賠償基準】に対して全然納得いきません。

0341 女性 40代

震災前から買い物は富岡町・大熊町まで行っていた。将来、帰町と言われても住むだけの町では楽しみや面白味がない。主人は東京電力の関連会社にお世話になっている。危険な仕事が避けられない仕事に就くようになった時のタイミングを考えている。

人員削減や収入ダウンなど、まだまだ年金受け取りには時間があるので、頭の痛いところである。正直補償が続かないと不安である。余計な被ばくはしたくない。

0342 男性 10代

避難して今までの自分の生活が全く変わり、学校が始まって住む家が見つからなかったり、どこもないと言われ、古いアパートに住むことになり、ストレスだった。今も先がどうなるかわからないので不安です。戻る人、理由があって戻らない人、平等にしてほしい。

0343 男性 40代

同じ世帯に住んでなくとも親が障害者で70歳過ぎの高齢の親が面倒を見ている。自分たちは生活のため仕事をし、面倒を見れる状況ではなくなっている。町に戻るにしても、地区で仕事をしてきた者は会社ごと再建するために移動している。生活のため仕事はやめるわけにもいかず榎葉町に戻って通勤ができなくなると考えたら、家族離れて生活するようになってしまう。二重の生活になるのか。町から理由があって戻れない人たちは見放されてしまうのか、今後の不安である。

0344 女性 20代

毎週何通か榎葉町よりお手紙をいただくことで、故郷を思いだすと同時に、うれしい気持ちになっています。ありがとうございます。

若い人たちは自分たちの子供のことや、仕事が双葉郡にはないので、帰りたくても考えてしまうのが現実です。しかし一番は榎葉町で家族そろって生活できることですが、現実的に難しいと思っています。仕事がなくは生活できず、苦しいところになってしまうので、今警戒区域にあるお年寄りたちは、自分の町の近くに住みたいと思っています。思い切って介護、病院、お店、お墓などミニタウンを作って町の復興と考えては？と思います。自立できるような工夫も必要ではないかと思っています。また、榎葉町を担っていく子供たちのケアなどにも力が入っているようなので、これからも続けてほしいと思います。

いつもお疲れ様です。

0345 男性 10代

原発事故がなければ23年4月には入社式で正社員になったのに、この先不安でいっぱいです。家から会社に通勤できたのに、いわきの借り上げ住宅は狭く、ストレスがたまり親と離れ仮設住宅に入りました。とにかく今は仕事のことで頭がいっぱいです。

0346 男性 50代

全ての期間のスピードアップを望む。

0347 女性 40代

今回の避難により、たくさんの温かい支援をいただきました。でも人間の嫌な部分もたくさん見てしまったようで、付き合いを断った友人もいたり、人間関係が崩れてしまったこともあります。それがよかったのかわかりませんが、今は地震前の生活に戻れるよう、自分なりに頑張っています。

0348 女性 70代

私たちは農家のため、もどっても野菜や米をすることもできないので困っております。放射線がとまらないうちは、いつになることやら分からない。櫛葉町解除する前に、第一は水を使えるようになってからすればいいと思います。家に行っても水もない、先祖の墓参りに行くのにも水なし、本当になんと言ってよいのやら、さみしくして涙が先です。いつまでこのような生活が続くでしょうか。私たちは高齢者なので心配です。毎日朝起きると夜寝るまで一日だって櫛葉のこと忘れたことはありません。

0349 男性 70代

一日も早く家に帰りたいです。原発はいらない。

0350 女性 30代

家を建てて5日しか住んでいません。残ったのは借金だけ。娘(【10歳未満】なので)がいるので櫛葉に帰りたいが帰れない。帰れたとしても仕事がない。大きな産業が必要。若い人が帰らないと町としても運営できないと思う。歳入がないと思う。あの町のアンケートも(帰るか帰らないか)半々だったが、年寄りが多いための結果だったと思う(年寄りは8割が戻りたいため)。

国に要望したいことは双葉郡は一つとして見るべき。(町単位ではなく)今後双葉郡は第一原発の収束と核燃料(使用済み)を保管する双葉郡でいいと思う。

帰れないという人には無理に帰ってきてというのはやめてほしい。個々理由があるのだから...。家の借金2400万円は東京電力に払ってほしい。櫛葉町、いや双葉郡で、外で子供が遊ぶ姿は一生見られないと思う。そんな生活を子供が望みますか? やっぱ子供は自由気ままに育っていくのが一番。強要はしたくありません。

国と東京電力は帰町することしか頭にないので信用できません。

関さん、大変な作業でしょうけど、ぜひ町民の声を国にお伝えしてください。

0351 男性 50代

あまりにも時間が進んでしまっている。

区域解除が遅すぎたこと、今回の解除方法であれば、かなり前にできたと思う。

とにかく、インフラ整備を進めていただき、自宅へ泊れるまでいかなければ、何も考えられない。先のことをどうしようばかりではダメで、今は何を進めなければならないかは、前町長が分かっているのではないかと、と思う。

生活のためのインフラ整備を進めてほしい。また、広野町や川内村との情報をやり取りすれば、かなり、良い情報があ

るのではないですか。

アンケートばかりしていても時間ばかりかけて、区域解除と一緒に悩むだけである。

0352 男性 50代

東京電力の社員は(福島第二原発)いまだに態度、協力企業に対する命令、何も変わってない、変わろうとはしてないと、つくづく思った。あの会社は、一人では何もできないやつが80%以上間違いなく存在している。外面だけの会社だとわかった。他の企業と一緒に、一丸となりやる気を今後だして欲しい。無理かな？

0353 男性 20代

おそらくこれから先仕事の関係で県外に住み、県外で仕事をするようになると思いますが、いつか楢葉町に住めるようになった時は戻ってきたいと思います。でも、悩みや要望は書ききれないです。

0354 男性 50代

今回の震災で自宅が被災しておりますが町では半壊以上の物について取り壊しとしておりますが、希望者には解体取り壊しをしてほしいです。更地にしてほしいです。

0355 女性 40代

すべて親にして貰う生活です。ですが楢葉町には帰りたい気持ちです。

0356 女性 70代

子供と孫は楢葉に近づきたくないし将来的に住みたくないと言っている。こんな町に私も住みたいと思わない。

できることなら除染で放射線ゼロにしてほしい。元の住みやすい穏やかな町に戻してほしい。それが出来ないなら買い上げもしくは、代替え土地を整備してほしい。願いが叶わないのなら絶対に楢葉には戻りません。除染で家の周りだけじゃなく、所有しているすべての土地も除染で放射線をゼロにしてください。

みなさんに家の中を見てもらいたい。

東電の方に私の家に行って現実を見てもらいたいです。

すみません、すみませんぐらい、誰でもそのぐらいの事は言えます。全部3.11前の生活に戻して下さい。

賠償ぐらいでは、すまされませんよ。ストレスにより、自律神経を病んで毎日薬を飲んでいます。主人は、要介護で週2回デイサービスに行っています。

国、東電の方、自分が楢葉に行って現実を見てください。仮設は、隣が近く、いやです。それに知らない人が多いです。

0357 女性 70代

これからは長男の意見に従っていきたいと思います。

0358 男性 20代

帰町したくないと思う気持ちを町、国、東電の方々が私たちが帰町できるよう、説明できますか？ 国、東電、町長さんたち、一棟一棟見回ってください。

0359 男性 50代

解除する前に、除染、ライフライン、交通、病院、商店、経済産業などの復興・再生が先行しなければ、何もされていない所に帰町出来るって、誰が戻るのか、そういったところも考えていただきたい。

0360 男性 60代

- ・仮設住宅に80過ぎの両親と3人で暮らしている。ベッドをおいて年老いた両親を寝起きさせたいが物が置いてあって三畳ぐらいの状態である。ひざや腰に相当の負担がかかっている。なぜ2人家族と3人家族が同一基準なのかいつも憤慨している。
- ・東電の精神的賠償で食費計上が認められないのはおかしい。事故前は、専業農家で米、野菜は勿論のことしょう油、みそに至るまで自給していたし、米、野菜を非農家の方たちにあげていた謝礼として、魚、肉類、調味料、その他加工品が結果的に物々交換のような形で手に入っていた。風呂も薪を使用、ガスも家畜の糞尿利用のメタンガスを使っていた。水道も井戸があった。それらを計上できないというのは、納得できない。
- ・区域見直しも、役場という自治体維持、除染、インフラ整備利権という住民の健康、命よりも経済優先という形をとった感が否めない。
- ・津波被災地が後回し、わすれ去られている感がする。
- ・津波被災地の宅地、農地、雑地、山林の国による買い上げを急いでもらいたい。仮設を出た後の住居のめどが立たない。集団高台移転も、5世帯以上ではなく、家でも又、町内でなく町外移転でも平等に支援願いたい！
同じ【集落内】の世帯でも全て仲が良いわけではない。【好感を持ってない】家族もいる。この先集団移転しても同地区で移住した場合、【そうした感情を抑えられない】だろう自分が怖い。

0361 男性 60代

このアンケートで国に届くとは思えないが、国は双葉郡内町民をモルモットとして考えているのか、原発が1号機以外屋根で覆ってない中、なぜ戻そうとするのか？

まずは、原発が安定化し安全になってから解除ではないですか。今までの20キロ内はすべて国有地にするべきである。子供たちを連れて帰れないのが現状である。

20キロ内は、米軍とか国会議事堂を建てて、国会活動すればよい。

どれだけ双葉郡内町民をバカにすれば良いのか。財物を全額補償しても、除染費用より安いと思う。

除染は、1～100を行ってもまた、1～100へ戻っていつまでも除染しなくてはならない。持家を持っている世帯は1億位払うべきである。また、国では除染は、原発の屋根がふさがってから行うべきである。

0362 女性 60代

- ・他市町村の人が自由に楢葉町に出入りしているのになぜ楢葉町民一人ひとりに通行証が必要だったのか(無駄遣い)。

- ・松本町長は【榊葉に帰るのか否か不信がある】。もしこれが本当のことだったら本気で榊葉の復興を考えているとは思えない。
- ・以前は毎日のように第一原発の水処理(汚染水)のことがニュースになって4月いっぱい満杯になり汚染水の行き場がない...などと言っていたのに最近は話題にもなりません。この汚染水は今どうなっているのでしょうか。知らない間に海に流されていたなんてことはないと思うけど。
- ・宅地から20mまでの除染など山林の多い双葉郡では、ムダなこと。今回除染の説明に立ち合って痛感しました。国の役人たちは、机の上だけの計算、計画ではなく実際に現場を見ればよい。
- ・榊葉町に中間貯蔵施設などありません。もしどうしても造りたいならそれによって帰町しない人たちの土地・建物などすべて国で買い上げて!

0363 女性 50代

避難者を受け入れてくださっている他市町村、県の方々に感謝いたしております。

また、原子力発電所内の作業にあたっている方々はより一層のご苦労があると思います。その方々にも家族があり、また、避難者である方も大勢いることと思います。暑さ、寒さ、心無い言動や報道による偏見も感じます。つらい事もたくさんありますが、現場の方々の健康も心配です。

今後、帰宅できるまでまだまだ時間がかかると思いますが、町民も参加型で復興していけるように、まずは、ライフラインの復旧をお願いしたいと思います。

町職員の方々、国、県の方々、よろしく願います。ご苦労様です。

0364 男性 50代

今回、除染しても原発事故前の状況になるのか？ また、住むことが(安全)できるのか？

榊葉町に住んでいた状況で(事故前)すぐにも同じ条件で、住んで、生活したい!それには、東京電力の賠償金では納得がいけない!

0365 男性 50代

町長はじめ議員さん、役場職員さんがいわき市に家を【略】。これはいったいどういうことですか。

先頭をきって戻る人がいわきから榊葉町へ仕事をしに行くのですか。それはおかしいと思います。

障害をもっている人をつれて榊葉にはいきたくない。

なにがなんだか分からず、仕事もいままでとはちがい大変。やめるわけにもいかずストレスで病気になりました。この先死んでしまいたい。家族で楽になりたい。先が見えない。生きる意味が分からない。前の生活には戻れない。いまだわからない。どうすればいいかわからない。先だったものがないため先がみえない。

0366 男性 60代

除染だ除染だといって、人家の周りを除染しても、何日か経つと除染前と変わらないという声が聞こえてきます。実際は、なんの意味も無いのでは、本当に本気で除染するのであれば山の木、全体を切り、土を取り換えた後に、家の周りの

除染をするならば、でもそんなことは不可能だね。

安全だ安心だって言う人が楢葉に10年も住んでみてそれでも安全と言うなら信用もするが東京のほうに住んでいて、安全だの安心だのと言ってもにわか信用などできるものではないです。

なにせ、目に見えないもの、においもないもの。

テレビ、ラジオで見たり聞いたりした限り、東電、政府の言うことはあまり信用できないもの。

0367 女性 70代

早く帰りたいので、インフラ整備を急ピッチでお願いしたい。

0368 男性 60代

楢葉町長は、政府や東電の立場ではなく、楢葉町民の視点に立って、行政を行うべきである。

0369 男性 50代

除染について困っています。母屋はセメント瓦でぐしがすべて落ちてしまいました。セメント瓦は中にまで放射能が入っていると聞きますが、洗い流さずふき取りのみの除染しかしないとの説明でした。宅地の除染も「国で全責任をもって、年間1ミリ以下に下がるまで何度も行う」と初めのうちは言っていましたが、現時点では説明と違う、住民の意向をまったく汲み取っていない方向で進めて行こうとしているような気がします。我が家は宅地より畑、庭、牛舎が高いところにあります。牛舎の雨どいの下は6~8マイクロありましたが、除染の対象外になっている(宅地内の除染のみのため、20m外にあるので)ために、そのままになってしまいます。自力での畑や庭の除染は無理だと思います。国の除染説明会にも参加はしましたが、受注した業者が国の方針通りに行っていないのではないかと疑問です。生活圏のみの除染では実際住めないのではないかと不安です。

0370 女性 30代

事故前は、家族5人で楽しく生活していました。事故後は、両親とは別の借り上げ住宅で別居。主人は、会社は変わりありませんが、出張の毎日でほとんど家にはいれなくなりました。転職するにも、希望する条件の企業は福島県にはほとんどありません。子供も、楢葉の学校へは通わせませんでした。仲良しだったお友達はほとんどが、別の学校へ通っていたためと、2年後？楢葉町へ子供たちを戻すことがどうしても不安だったためです。すぐ隣の町が高い線量の地区があり、戻ることが困難であるのに、どうして子供を連れて戻れるのでしょうか？ 国の実験材料にされているとしか思えません。家族がばらばらで生活している今、事故前よりも生活費が負担になっています。母は避難生活中、精神的に不安定になり、病院にも通っていました。賠償が十分だとはあまり思えません。

0371 女性 70代

福島民友新聞を取り寄せて毎日楽しみに読んでいます。少しでもふるさとにつながっているような気がして、とても力になります。

0372 男性 30代

長男が 年後に高校受験のため、この先榊葉町には戻ることはないと思います。

今現在、いわき市内の仮設住宅で生活していますが、早くこの状況からぬけ出せればいいなと思います。仮設住宅は建物と建物の距離が近いために、いつも誰かに見られている気になっていやです。かなりのストレスを感じます。

要望としては、早急に災害公営住宅のようなものを建設し提供することやいわき市で再建を考えている人への建物や土地の確保など私たち榊葉町の住民が安心して生活していけるようなんとかしてほしいです。

いくら区域再編されても除染もインフラも何も進んでないのに、二年後、三年後のことなんか見通しつきません。本当に先が見えない...

0373 男性 60歳

屋根の倒壊がひどく、室内への雨漏れのため損傷がはげしく現在の財物賠償では修理できない。補修は用した全額で補償してほしい。

0374 男性 70代

若い人たちは帰らないと言うが、年寄りはやはり帰りたいと思う。年寄りだけで住める施設なども建ててほしいと思っています。

0375 男性 60代

国がもっと責任を持って迅速な対応・支援を具体的に進めてほしい。

0376 女性 70代

除染を一日も早くして、帰町、帰宅できるようにしてください。上水、下水が直るのも首を長くして待っています。帰りたい人を一日も早く帰して、町の復興を早めてください。

まずは戻る人から戻りましょう。インフラ整備を早くしてください。首が伸びきっています。

0377 女性 60代

財物賠償は、持家の人たちだけの様子、借家では賠償はないのかと思っていますが、今まで何年も生活してきたので、それなりに物はあり、それがカビや虫にやられて、使うことができないので賠償してほしいと思っています。

0378 男性 50代

- ・精神的補償(一人当たり10万円)が安いので、考えてほしい。
- ・原発事故の収束はいつごろですか。情報を発してほしい。

0379 男性 30代

警戒区域見直しに賛成した町長の考えがわからない。除染もしていない町にどうして自ら入って片付けしたり、掃除し

るって言うんですか？ 東電の責任で家の中を元に戻してもらいたい。津波で流された家なら諦めもつくが、東電を絶対に許さない。

0380 女性 20代

四人の子供の将来を考えると町には戻れない。

榎葉町はいわきで小中学校の再開をしているが来年一月よりいわきの方で幼稚園保育園、小中学校再開し、いつまでいわき市での学校生活を送れるか？ ずっといわき市で再開したままにしてくれるのか？

こども園の再開は遅すぎる。空の家【幼稚園】だって一時保育は仕事をしている親の子供は預かってくれない。リフレッシュしたい親の子供のみ。先生があんなに暇そうにしているのに榎葉町の対応はおかしい!!

いわき市では被災者の子供たちを文句も言わず受け入れしているのに...

同じ町なのに...若い母親をバカにしている先生方が多い。私は空の家で四人の子供を預かってもらおうと(夏休み中、毎日ではない。数日間)したが仕事をしているため、長男、次男の預かりは拒否された。上の子二人も下の子二人が一緒じゃないならいやだと言ったので結局夏休み中今現在仕事を休むはめになった。仕事をしたいのに預かってもらえず、私みたいな目に合っているお母さん方いますよ。

仕事を首になったら誰が補償するのでしょうか？ こども園の再開がのびにのびて迷惑しているのは私たち親だというのに...再開を待ちわび、待った挙句、のびていわき市の幼稚園、保育園申し込み期限が終わって預けるところもなく空の家をお願いしたが拒否でいやな思いたくさんしました...

0381 女性 67歳

こんな生活が来るとはゆめゆめ思ってもいませんでしたが、今回町の職員の方々には大変お世話になりました。今、落ち着いて暮らしていけるのも皆様の苦勞のおかげと思っています。私たち避難している人たちも少しお世話になっている。(私はいわき市の土地の方々に感謝の気持ちを忘れずに暮らしていけたらなあと思います(迷惑をかけないで)。)

なぜこのような気持ちになったかという、私が医者に行った時のことです。

隣に座っていたおばあさんが(いわき市の方)、「外人が来た、外人が来た」と言った言葉を聞き、私たちの事を言っているのだと知った時はショックでした。この土地の方からみると、私たちは外人なのでしょうね！ この言葉を耳にしたとき、私たちはみんなに迷惑をかけながら暮らしているんだなあーとつくづく思いました。早く落ち着いた仕事に戻れるように国・東電の方々には早急にいろいろな基準を早く出してほしいものです。

0382 男性 50代

避難解除はいつまでも反対である(インフラが先では?)。他県ナンバーの車が自由に出入りし防犯上良くない。

原発の再稼働とかうわさに聞くが本当なのか？

除染はまず山の方から行うのが本当ではないのか？

町として国の言いなりになっているのでは？

0383 女性 70代

除染は国が責任をもってするので良いのですが、地震による被害は多大。住宅半壊・地割れ・塀の倒壊地盤沈下による弊害。住めるようになるのに多額の出費になるだろう。子供たちがいるので尚更だ。70代の私がこれからこの家に何年暮らしていけるか？そう思うとお金をかけてもしょうがないしそんな財力も持ってないし、現在、日々の生活には恵まれています。今後のことで悩んでいます。

0384 男性 30代

- ・震災のストレスで病気になり、会社を辞めざるをえない状況になってしまった。
- ・県外の友人から会社を紹介してもらい、働いてはいるが、震災前の会社の業種とは全く違う業種を、この歳でゼロから始めるのはとても辛い。10歳以上も若い上司から注意を受けたり、怒られたり、震災前にはなかったことを今、必死で耐えているが、いつも爆発しそうで、自分の感情を抑えるのが大変でとてもストレスがたまる。
- ・ にいる時、風邪をひいて病院に行った。被災者だと分かると、「金はあるのか？」と言われた。診察室に入ったら、医者がかかなり横柄な態度で対応した。被災者は病院に行っはいけないのか？と思った。
- ・ 榎葉町が2～3年後に帰町になったとしても、職はない、人はいないでは町ではないと思う。広野町の二の舞になると思う。どこかに被災者限定の条件の良い会社を誘致して、そこに役場機能を置けばいいと思うが、現実には難しいと思う。
- ・ いわき市長が「原発避難者は昼間から仕事もしないでパチンコばかりしている」と言っていたので、いわき市に住んでいる被災者はかわいそうだと思うし、早くいわき市を出て、榎葉ではないどこかの土地に役場機能を置いた方が良くと思う。

0385 男性 40代

いろいろアンケートとかありますが、この質問で何が分かり、何を知りたいのかよくわからないものが多いと思います。どうしたいか？この質問には腹が立ちます。どうすればいいの？と聞き返したい思いでいっぱいです。みんな先の見えない真っ暗なトンネルにいるような思いをしています。

東電の補償も行き当たりばったりな気がします。それに振り回され、何か違う気がします。

0386 女性 50代

- ・ 現在いわき市にいますが、突然、何万人もの方がいわき市に住み始めたことで、もともとの住民の方々から「街が変わった」「人、車が多い」「不便になった」「治安が悪くなって迷惑」などの声を浴びせられます。また、私たちは普通の生活に戻りたくて、おしゃれもし、行楽もしたいと思いますが、「お金をもらいながら遊んでいられて幸せだ」「お金をもらえるから榎葉に帰らないのだろう」と言われます。それがつらいです。現在、いわき市からの移転も考えています。
- ・ 榎葉町に戻らない決断をした人には、それなりの補償を早くして、住宅再建や再出発をするための支援として欲しいです。今現在では全く満足できません。
- ・ 双葉郡の方々には第二の広島、長崎の方々と同じ差別や偏見をうけて生きていかなければならないと思います。今後の子供たちのことが心配です。知り合いの被ばく3世の方は事故後すぐに転居していきました。彼は「これ以上は無理、いやだ」と言っていました。どれだけつらい思いをしてきたのでしょうか。そのような思いを子供たちにさせることはとてもできません。

・無理に町を復興させる必要はないのではないのでしょうか？

0387 男性 80代

日本中の原子力発電所は全部廃炉にすること、お願いします。

0388 男性 40代

個々に満足できる賠償にしてほしい。

0389 男性 20代

農道の草刈り

線量の高いところがあり、生活およびスーパーやガソリンスタンドにいけない

賠償金支払い

0390 男性 70代

原発のため避難しそのため家を留守にしたため盗難にあった。盗難にあった財物も東電は賠償すべきである。森林は除染しないような話であるが、森林から河川に放射能が流出してくる。森林除染せず宅地のみ除染しても意味がない。そのため森林河川の除染を望む。

0391 男性 60代

楢葉町民は警戒区域を準備区域にすることには賛成していないのに、どうして今回解除されたのですか？それを町長はみんなにわかるように話してほしい。

0392 男性 70代

国は、被害にあった福島の人たちのことを一日も早く終わらせたいと考えているように思われてならない。今になって県も町も国の言いなりだったのかと思った。避難している人たちはみんなそう思っている。残念でならない。国の行政を行う人たちは自分のことばかり考えている。目を大きく見開いて、国民を見てください。本当に残念でならない。

避難民は原発のモルモットだ。私たちは放射能の無い昔の楢葉町にしてほしいだけだ。

賠償の問題は国が先頭に立つて行うものであると私は思う。除染は国がやるというが、賠償も国がやればいいじゃないか。

0393 女性 40代

除染を行うに当たり、多額のお金がかかると聞いた。話を聞くと除染をしても時間がたつとまた蓄積される。それならば除染にかかる費用を個人個人に分配したらいいと思う。そうすれば先行きも見えてくるかもしれないし、再建につながっていくと思う。現状では、家を購入するにも財物賠償がいくらになるのかもわからないし先行きは大いに不安だ。一応前と同じ職場で働けてはいるが、実際の仕事は以前のような仕事とは異なっている。仕事も減ってきているため、社員で

はあるが契約期間終了後、仕事がどうなるかわからない。

0394 男性 20代

誠実さを欠いては何も復興しない。

0395 男性 70代

復旧は町民全員が帰還した時であり、子・孫たちの健康を考えたくて町に戻る。子供や若者は少ないと思われる。従って町単独での復旧復興は無理である。

0396 女性 20代

財物賠償基準に関する書類が届いていない。対応が遅い!届きもしないのにアンケートばかり来ても答えられない。

国・楢葉町・東電への要望 現状報告が遅い。除染活動が遅い。子供はもう二度と帰れないんじゃないか。除染活動が進んだとしても完全に元の町並みに近いくらいにしてもらわないと準備区域解除は認めない。ただ自分の家に入るだけなら今のままでもできるし、「生活」できて当たり前が帰町するってことだと思うから。

0397 女性 50代

8月19日：中間貯蔵政府案なるものが国から示された。楢葉町にも1か所。安易に受け入れてはならないと思う。確かに他の市町村へは持っていけない施設だとも思っている。しかし...その前にやらなければいけないことがあるでしょう。そのひとつが賠償問題です。これがはっきりしないうちに「中間貯蔵...」を受け入れてしまえば賠償問題は国や東電の言いなりになってしまいます。楢葉町に戻りたくとも今は不可能です。ならば今後の生活を考えたうえで正直賠償額は重要な問題だと考えます。

私たちのように夫婦二人きりの者にとっても、大家族の人たちにとってもこれから生活の拠点をどこに置くべきか...。先の短い老人ならとくにそう考えます。

0398 女性 30代

借り上げ住宅が打ち切られたら、嫌でも町へ帰らなければならない。小さな子供がいるので、喜んで帰る気にもなりません。今現在はいろいろな補助があるから生活ができるけど、何年か先は見通しが立たない。

0399 女性 70代

今の生活より今後が心配です。自分や家族がどんな風が変わっていくのかと思うと、やりきれない思いです。

0400 男性 30代

最悪【紙いっぱい大きな字で】

0401 男性 40代

復旧・復興も大事だが、楢葉町に中間貯蔵を検討し原発の落ち着きを見てほしい。浜通りは原発のお世話になったことを忘れずに、最後までやるべき！

0402 男性 60代

毎年歳はとっていく。いくら賠償されてもそれを利用できない体になっては困る。スピード感を持って、復興にあたってほしい。すべての町民に気遣うなど無理なこと。行政は自信を持って突き進め。

0403 女性 60代

10月に、解除になったため街を回ってみたが地震による被害がひどく、はたして再建したとしてもどれぐらいの人が楢葉町に戻るのか。とても難しいことだと思う。

若い人が放射量を気にせず子育てをするのは無理だと思います。また、除染はそれだけのお金をかけて意味があるのだろうか。人の住む・住まないに関係なく除染は無意味でしょう。まだ原発が安全に収束していないのだから。

0404 男性 70代

3月11日の地震による東京電力福島第一原子力発電所事故の放射性物質で汚染され、故郷を後に避難を余儀なくされました。着の身着のまま娘の嫁ぎ先 県 市 の家にお世話になりました。現在は県営 団地で生活しております。県・市の方々にお世話になり感謝しております。精神状態も不安定でした。もう1年6か月になります。故郷への思いが強く、昨年10月に一時帰宅をしましたが、変わり果てた故郷でした。8月10日より警戒区域見直しとのことで、除染を一日も早く故郷に帰る日を心待ちにしております。

0405 女性 60代

避難して9か月目の昨年12月に母が亡くなりました。普通に暮らしていたのにたった2日目の入院で急逝しました。避難してきてからは「知らない土地では死にたくない」というのが口癖でした。本人はもちろん私も残念でなりません。お葬式も家族だけのさみしいものでした。楢葉にいられたら皆さんにお会いできたのだろうかと思うと悔しい思いでいっぱいです。

それと東電の賠償への対応はひどすぎます。説明会の方々は親切に対応してくれていますが、本社からの返事はとても冷たいものです。私たちは何も無いものねだりをしているわけではないのです。お金なんかいらぬから元の生活に戻りたいだけなのに、あまりにもみじめに思える対応に腹が立ちます。

ただ、悪いことばかりではありません。隣近所の方々の優しさ、野菜類はほとんど買わなくても済むくらいにいただいております。そして会津美里町は避難者に対して過大なご支援をしてくださっていることにいつも感謝しております。それに応えて私たちも自立心を持って生きていかなければと励まされているので、帰町できる日を目指して頑張りたいと思います。

0406 女性 60代

一時帰宅の時に家は壊れていました。家族の楽しみや悲しみを見守ってきた我が家の面影はありません。つらいのであ

まり行きたくはありません。先のニュース番組で他の電力会社の社員の方が、このたびの事故で放射能が直接的な原因で亡くなった方はいないと発言されていたのを聞いて、本当に怒りを覚えました。体は今は何ともなくても、これからはどうなるか誰にも分からないし、私たちの生活は、はちゃめちゃです。鬱になりそうな時期もありましたが、何とか今は前を向いて生きています。他の人たちも皆同じような状況のようです。

私の母も 80 を過ぎてこんなことになるとはと嘆いていましたが、先日、老人性鬱と診断されました。がんばれがんばれと言われても何をがんばればいいのか。ただただ東電が憎いです。私たちの平凡な生活を返してほしいです。

0407 男性 60代

2 重生活(夫が県内で仕事をしている)のため、いろんな面にお金がかかって大変。悩まなくていいようなことで悩み喧嘩が絶えない。今後どうすればいいのかなど。

まず嘘の報道はしないでほしい。除染も形だけでは困る。時間をかけて丁寧に、一軒に丸一日かけるような除染をしてほしい。聞くところによると、除染の仕方が雑で、放射線の数値が若干あってもそのままにしていくらしい。細かくいろんなところの数値を測って、きちんとなくなるまでやってほしい。

町は東電に、生活や状況の大変さ、家に帰りたいけど帰れない心情、子供の健やかな成長が妨げられていることをきつく伝え、強い姿勢で我々町民が納得できるまで賠償や謝罪を続けて行ってほしい。原発の中で頑張っている人たちではなく、のほほんとしている東電の上層部や電話対応している人。

0408 男性 60代

いわき市に移住することを決めて家も新築にしました。中間貯蔵施設建設には賛成です。今後の要望は財物や不動産(用地)の賠償を要望します。

0409 女性 10代

楢葉町はいつも高齢者のことしか考えていないと思います。未来を本気で考えるならもっと子供たちや若者に目を向けるべきではないかと!高齢者が住みやすい町 = 若者が住みにくい町です!それがわからない大人たちが大嫌いです。そんな町には帰りたくないです。高齢者の娯楽は若者にとっては苦痛です。今回の原発事故は東電のせいではないと思います。一番悪いのは大人たちです。大人、高齢者が原発設置を認めたからこんな事故が起きたんです。私が一番許せないのは原発設置を認めた大人たち...。若者子供たちの未来を奪った大人たちが許せないです。何もかも大人たちがいけないんです。もっと子供たち、若者の意見を聞かなければならないんです。未来を考えるなら、前に進みたいのなら尚更です。

0410 男性 10代

現在、仮設に住んでいるが、隣の声・たばこのにおいがひどくて、子供が喘息のためせき込むたび心配になります。仮設住宅の設備、特にたばこに関しては臭い・けむりとも、朝の起床の時点でどの痛み・咳き込みと健康状不安です。

0411 女性 70代

生活再建に十分な賠償(国・東電は事故の責任者・加害者なのだから)。

危険負担は一地域に偏らずに、公平公正に判断して、地域住民に環境アセスメントを明示し、コンセンサスを必ず取ってほしい。当地区は危険負担が3つもあり、他地域に比べて不公平である。1 中間貯蔵施設 2 仮置場 3 第二原発の将来的再稼働の懸念。

0412 男性 20代

死にたい。

0413 女性 50代

町内(榎葉)にある第二原発の情報が何も無いように思います。廃炉の方向でなければ帰町はむずかしいです。

0414 女性 20代

榎葉町に戻る気はありません。除染してもほとんど効果もないようですし...榎葉町に戻りたい方だけ戻っていただきたい。戻らない人を変な目で見ないでいただきたい。除染や復興の支援だけでなく、戻りたくない方の支援を考えていただきたい。

0415 男性 70代

私の家族は子供夫婦ともに仮設住宅は抽選で外れ24年 月、学校新学期が始まるので住宅がなく、不動産会社より借金をして住まいを買いました。これも原発事故によりのこととなります。借り上げ住宅の方は、家賃を出していただきましている事ですね。家を買った場合は何の補助もないのですか。大変な借金です。原発電気会社の事故で被災住民に電気料金の免除くらいあってもいいと思います。大変な迷惑をかけているのですから。こんな事故がなければ家を買う必要がないのです。

0416 女性 40代

警戒区域見直しに伴い、一時帰宅していたころより何一つ変わっていないのに、こうした形にした町長をはじめ周りの人たちの考え方が全く分からず、理解できません。昼間は立ち入れるとはいえ、除染が何一つ終了していないのに、誰もが榎葉町に入れる現状はどうでしょうか？ 町民以外の方が自由に立ち入れる状況はおかしいです。それに子供たちだっで連れていける状況ではないでしょう。もっと住民1人1人の意見をもっと大切に聞き、一部の町民だけの判断でこういう形にした町は、今後も理解に困ると同時に、帰りたいという気持ちは1つも起こりません。

0417 女性 70代

うちにいるときは農家でしたので、何かいろいろとすることがありましたが、避難してからは体の動かすことがなく生活しております。早く帰れたらすぐにでも帰って、元の生活をしたいと思っています。

0418 男性 60代

財物賠償・建物賠償について東電に何度も問い合わせをしたが、「1㎡14,000円だから」の返事のみで、何を問うても

正確な回答が頂けなかった。たとえば、地震によって外壁等にひびが入り修理したくても1年半以上も放置した結果、全部塗装しなければならなくなった。また家の中に関しては、畳はカビとくされが入って、33畳ダメになってしまった。さらに壁はくずれ、ぶよぶよである。布団も電気製品もだめである。柱も一部沈んだところもあり、被災当初に修理していれば何とかなったものも多いと思う。国も東電も福島への補償をもっとまじめに考えてほしい。我が家は第一から15km位、第二からは4kmくらいのところだ。そのため、長男も娘たちも、二度と帰町しないとの事、40年必死で働いてやっと少し楽しく過ごせると思った時に、原発のせいで家族はバラバラ。老いてきた夫婦だけで何の楽しみがありますか。他人事のような回答しか聞けない東電に対し、この悔しさは一生忘れない。平和な家、土地を返してほしい。できないなら希望価格で買い上げしてほしいと思います。

0419 男性 50代

今回の警戒区域見直しについては、今の原発の状態から考えても早すぎると思います。町政の一環として今なのでしょうが、一時帰宅していた時と家の周りの環境は何ら変わりません。ついこの前まで制限のあった一時帰宅の準備や状況はあんなに厳重だったのに、同じ空間とはとても思えません。これからはマスク・防護服なしでいいですよといわれても、本当に戸惑っています。

今後2年間に学校も再開すると聞いていますが、本当に大丈夫なのでしょう。誰が将来を責任とってくれるのでしょうか。もっと慎重に十分時間をとって安全に安心できるまで見合わせたほうがいいと思います。

0420 女性 40代

楢葉町には今後住む予定はありません。家族とこれからのことを話し合っています。

0421 女性 60代

80代の母を伴っての避難。自営業者としての生活が一変、メリハリのない生活にぼーっと転んで2か月半の入院により、ますます生きがいを失いやむなくデイサービスに週2。そんな母と60代の老老介護になりそうな母娘に帰町とか復興の言葉は当てはまりません。のんびり余生を送れないのならどこで死ぬも同じことです。死までの療養所保障とかを考えてくださるほうがましです。

0422 男性 40代

どこの避難所もパニック状態だった。そんな中町の役場職員たちは自分の家族を心配しながらも、町民への対応に全力を尽くしてきた。町民の一部には心の行き場を失い、職員に罵声を浴びせるようなものも出ていた。「自分たちはなんなのだろう...」と次第にうつ病になる仲間の職員もいた。公務員という立場上、安定した収入と仕事を得ているので、我慢しなければいけないと思っているが、職員も町民の一部であり家族もいる。不安もみんなと同じだということを知ってほしいと思う。そして自分もいつ、うつ病になってしまうかわからないという状況で実務にあたっているということもわかってほしい。

福島県民だから結婚できないんじゃないか...と娘の将来を心配しながら過ごしている。娘たちも親の気持ちを察してか楢葉町の話はあまりしない。...この現実が妥当なのか間違っているのかわからないが、毎日を送ってきた。そんな中、

テレビで見た「福島県民とは結婚できない」発言をした大臣。“きっと公にはできないが内部情報としてはいろいろな話があるんだろうな...”と思った。そうなるとまた自分の気持ちが揺れていく。いまだ続く強い余震・4号機の状況・子供たちの将来・住宅ローンなどなど、あまりに大きすぎる課題に先が見えない。

財物賠償は、今後町民それぞれが思う場所に家を持ち、少しでも貯蓄を持ち、前を向いて生きていけるだけの金額であってほしいと願っている。櫛葉のローンを完済し、別の土地に家を建て、子供たちのための学費・親の介護・自分たちの老後ぶんを見れるだけの金額であれば、転職・転居が県内外のどこでも大丈夫だと動ける(先が計画できる)ようになると思う。

0423 男性 40代

今年会津地区の高校に入学した息子がいます。この高校を卒業するまでの3年間は会津の仮設にいる覚悟でいます。しかしその後、いわき地区にいきたくても、アパート・仮設がなかなか見つからないと思います。3年後が心配です。自宅にはライフラインのすべてが復旧するまでは帰りません。仕事をするにしてもいわき地区まで通うのは大変なので、いわきに拠点を置いて通勤と考えています。何年か先、会津からいわきに引っ越す人もいると思います。そのことも町で考えていただきたいです。

除染について、この先も除染業者はかなり増えると思います。職種が違う会社も除染をやることと、ど素人がやると思います。屋根・サッシ窓などの隙間からの水漏れが発生すると思われます。事前立会いと作業後の立ち合いをしっかりとさせ、納得のいく仕事をさせるように徹底させてください。

中間貯蔵施設は絶対反対です。大熊町の原発付近にしたほうが良いと思います。

すべて元通りの櫛葉町、スーパー、病院、学校など...復旧しないと戻りません。それまではしっかりと東電が補償を続けていくよう強く訴えてほしいと思います。

0424 女性 40代

いろいろありすぎてなんて書いたらいいのかわかりません。

0425 男性 40代

期日が過ぎてしまい、集計には間に合わないのかもしれませんが一応だしてみます。今回のこのアンケートは町がかかわっているようですが、町は(町役場は)住民がいなくては成り立たず、補償絡みで早く町民を戻したい国の思惑としては一致しています。しかしながら、住民の戻りたい感情は安心して住むことができ、周辺環境ももともどもどるなどの前提に基づくものがおおく、同じ戻るでもずれを感じることは否めません。せっかくしっかりとした調査をしていただけるのですから、町民の意見を正しく客観的にまとめてくださるようお願いいたします。仮に、町が今回のアンケート結果に対して自分たちの都合のいい解釈をしている場合はぜひ反論していただきたく思います。

0426 女性 60代

私は借り上げ住宅に住んでいる。できれば仮設に住めばいいのだろうけど、そうもいかない。長々と書いたのだが、短くしました。仮設と借上ではほんとに差があります。

0427 女性 20代

現在Jヴィレッジが1F作業の拠点になっていますが、1F作業に行く車が行き来していて榊葉町を往復しています。1Fに行って作業をしてきて榊葉町を通行するとき、放射性物質を付着させたものが榊葉町を通行するのがとても不安です。

0428 女性 30代

今年の1月に主人が仕事のため単身でいわきに行き、私と娘は会津に残りました。家族バラバラの生活で、主人が会津に来るのも月に2~3回と、数も少なく娘も主人もさみしい思いでいます。子供のためにと、原発から少しでも遠い土地でと会津に残っていたものの、このまま家族バラバラの生活をしてよいものか？と悩んでいます。国も東電も自分たちのことしか考えてないように思い、将来を思うと不安になるばかりです。そんな中でも会津でとても親切な方に出会ったおかげでかなり励まされました。心から感謝しております。子供のため、家族が幸せであるために何をしていくべきか、主人とよく話し合っ決めていこうと思います。

0429 男性 70代

津波で家が流された人には町が住宅をつくるようですが？ 地震で半壊、また津波までも来た家...

よく見て住宅などに入れたらいいなあーと思っています。いや、住宅などに入れてほしい。

0430 女性 70代

この年(70代)になってアパート(6畳1間)で、知っている人にも会えず、話し相手もなくすごくさみしい思いをしています。このままだとぼけてしまいそうです。

0431 男性 50代

- ・避難指示解除準備区域になったけれど誰でも入れる状態になったけれどこれでいいのか。通行証は何の役にも立っていない。これを決議した人たちに言いたい。どろぼうに入られたらあなたたちの責任ですよ、何かあったら...!!
- ・中間貯蔵施設はもつての他。これから帰町にむかっているのに放射線が含まれたがれきを集めるのはおかしい、それだけでなく心配で今を過ごしているのに30年後行先も決まっていないものは榊葉町にはいらぬぞ。

0432 女性 50代

- ・区域見直しで榊葉町民に車両通行証が送られてきたが現に町に帰った時、検問もない状況に。なんのための通行証かものすごい疑問を感じた。お盆中墓参りなどで県外からの車の出入りも自由で県外の親類もこれで防犯上大丈夫なのか心配をされた。町は国に押し切られているのか？ 区域見直しは早すぎだと思う。
- ・財物賠償も年数によって金額が変わるのはおかしい。
- ・町から化学雑巾が送られてきたが、自分たちで家の中の除染を行うのか。なぜに？ 不快である。

0433 女性 60代

Q25 の質問で「安定してる」と思っていますが、ニュースや震災関連の本などでみる動物のことや落ち込んでいる人たちの姿を見ると心が痛み無力感を感じます。政府や人間の力の限界もあり仕方がないことでしょうか。これからも自分ができるボランティアをしていきたいと思えます。

0434 女性 60代

避難中にはたくさんのボランティアの方々にお世話になり、またいろいろ催しをひらいてくださり、こんなに甘えてばかりでいいものなのか？と感謝にたえません。また、いつまでも避難民であってはいけないと思っている現状です。東電で働いている社員の皆様、またそのご家族の苦労は大変なものだと思います。またそれに携わる作業員の方々、今この猛暑の中、本当にご苦勞様だと思います。体をこわさないよう、心からお疲れ様と言いたいです。

0435 女性 30代

ここに書くことをいろいろ考えてみた。様々なことが脳裏に浮かびまとまらない。何とかまとめようとさらに考えてみたが...泣けてきた。事故以降、意外に平気でそれなりに楽しく過ごしてきたが、時間が経つにつれ自分もだんだんきつくなってきているのかなと思う。普通に生活しようと、無理やりアパートを決め、無理やり就職してみた。懸命に務めているが、地に足がつかないような浮遊感がある。避難者であることを拒むことで、逆に避難者であることを思い知らされた。私の要望がどうであるかより、勝手にジャンジャン進めてほしい。事故後と状況的に大して変化がないのに、先々の生活のことを決められない。何年待てるかではなく、私に判断材料をみせてほしい。計画ではなく実行を。基本的に帰るつもりでいるが、ハード面の整備はもちろんだが、雇用の場がなければ現実的に檜葉での生活は無理。

0436 男性 50代

区域見直し後、何年で賠償金額が変化するような基準はおかしい。区域の違いにより変わるのもおかしい。家・土地を放棄するなら全損扱いにし、次の土地で生活を始めた人もいるので、希望をきけばいいと思う。私も家のローンもあり、帰る予定のない家のローンだけ払っていくのは苦々しい。

区域見直し時に町から通行証が送られてきたが、現状は検問場など何もなく、誰でも檜葉町に入れる状況にあり、防犯の面で不安であり、おかしく感じる。

原発から 20km 以内にあるので、また、何か起こる危険があり、戻るのは間違いなのでは？ 収束とは何のことかわからない。

原発から帰ってくる人のスクリーニングレベル 6000cpm【(count per minute 60cpm の計数率が 1Bq の放射能の量)】は昔だと高汚染として処理をされるレベル。車輛も 13000cpm は異常と思われる。他の原発の中より汚れた地域に住めというのは国も何を考えているのか？ 全面マスク、タイバック等を着用して作業を行う場所で生活しろと言うのか？

まず町に人を戻すのなら、電力社員すべてを戻してからにしていきたい。仮設住宅に東電社員がいる話を聞いたことがない。

0437 男性 20代

- ・避難地の市の職員の方に親切にいただき感謝している。
- ・榎葉町民の悪い話など、ネット上や人づてに聞いてがっかりしている。
- ・今まで待っていたのに今回8月10日の立ち入りが自由になったことについて、あまり好ましくないと思う。もう少し考えてほしかった(安全性)。お盆で家族は戻ったけど、行きたい気持ちがわかなかった。

0438 女性 60代

津波ですべて失ったが、原発事故がなかったら何か思い出の品を探せたかもしれない。犬は放したため無事だったが、猫は行方不明のまま。

0439 女性 60代

借上住宅は高齢の父80代がこの避難中身体の悪化により2Fの造りのため、階段の上り下りが不自由で、また、入退院の繰り返しで、そのうえ我々もストレスがたまり家族全員が通院するようになり、毎日が精神的にも肉体的にも限界である。

家族(母)がこの事故により 県と遠方の病院に運ばれ、面会に行くのもまた悪化しドクターより呼び出しがあるので大変である。

慣れた土地とは違いすべてに対してめいってしまう。

除染も進んでいないのに帰れと云われているのでとてもつらい思いである。

夫、友人の励まし

もっとこまやかな賠償を望む。

町は水道も出ない、電気もない。除染もしていないところに戻ることをうながすことは、何を考え、生命を何とと思っているのかわからない。

東京電力はどんなひどいことをしたのかももっと深く反省しなければならない。テレビ、新聞で見ているとあまりにもあっけらかんとした態度に怒りしかない。もっと町としても国、東電に強い態度で臨んでほしい。

0440 女性 30代

7人家族なので借上が狭い。3LDKでも6畳に4人で寝ないとならない。自宅では私たち若夫婦は3つの部屋とトイレ、流しがあり、広々とつかっていたし、プライベートもあったが、今は子供のおもちゃを置くところもない。狭い家に住むことのストレスを月10万の精神的賠償に置き換えられるだろうか？ トイレは3か所から2か所、洗面所は3か所から1か所になり、とても不便である。

0441 男性 60代

これから双葉郡の町村は、財政的にも厳しくなってくると思います。双葉はひとつになって、キャッチフレーズだけじゃなく町村合併しないとやっていけないと思います。自分の町だけのことばかり考えないで、双葉郡全体のことを考えてください。そうすれば双葉町や浪江町の帰れない人たちも榎葉町の木戸地区に住むことができるのです。双葉郡は平成の大合併の時自分の町村のことだけ考えて合併してこなかった。今が実現のチャンスです。

0442 女性 20代

東京電力の退任された社長および福島第一原発にかかわった幹部の人たちは犯罪者ではないのですか。うそばかり!

0443 女性 40代

猫を飼っているため、広い部屋に入れません。そのため家族がバラバラで、精神的に苦痛です。子供の学校のことも心配です。家の仕事もままならず、辛いです。出来ていた生活が出来なくなっていて、不安です。子供に申し訳ないです。どうしたらいいのか考えれば考えるほど、辛いです。早く母としてきちんと出来るようになりたいです。

0444 女性 40代

原子力は、何か起これば人間では制御できないことが明らかになったと思います。これからも東日本規模の地震が起こるかもしれません。福島第一だけでなく、実際楢葉町にある第二原発が今後どう扱われていくのかも気がかりです。

0445 女性 50代

まさかの生活をしている今の状況は現実なのだが、未だに現実を受け入れられず、憤りを感じる。8月10日より立ち入りが可能となったが、家へ行ったところで、電気、水道はなく、行く道々もくずぶじや雑草に道までもふさがれ、一瞬にして頭がうなだれてしまう。がっかり。前途多難なことが思い知らされる。

そんな現実の中、将来のことを思い描くのは無理。ただその中でも前へ進むことに力を注いでいる方々があるのには心より敬意をもっている。でも、国の人、東京電力の人は楢葉町、いや、この双葉郡に住んでみるといいと思う。少しは痛みがわかるのではないのか。

今後、子供を(子供はかえりたいようだが)あの楢葉町に戻すことは考えていない。ただ、年老いた母がいるので、楢葉、ふるさとへ時々連れて行き、一泊でも二泊でも泊まれるようになればと願っている。

0446 男性 10代

037について 完全に復興ができるまでなら何年でも待つ。

0447 女性 50代

- ・本来は除染・インフラ整備が完了後に警戒区域再編をするべきでした。無防備で出入し、汚染・被ばく、そして拡散を助長しています。この事故において住民の過失はゼロです。全損で速やかに賠償すべきです。戻りたくても戻れなくなってしまった人もいます。戻りたくない人もいます。それぞれ様々な事情があるのですから、一律の線引きですべてを片付けるやり方には納得がいきません。帰還についても賠償についても到底納得できません。もっと本気で真剣になって被害者の声をきいてほしい。
- ・賠償基準をつくっている委員の中に被害者が含まれずに何が決められるのか? 交通事故をもとに基準を決めるなど、あまりにずさんなやり方ではないのか?
- ・除染後の仮置き場、中間貯蔵施設が決まらないのは、最終処分場が決まらないからです。国も東電も双葉郡民にこれま

での愚策を詫びて、十分に速やかな賠償を当該地域とその周辺に提示すべきです。廃棄物はまず広大な第一、第二原発の敷地で処理してください。用地が不足の場合に初めて双葉郡内の高線量区域に最終処分場を乞うのが筋であり順番です。他県に運べば放射能の拡散になりますから、反対です。

- ・事故収束にあたる作業員が今後不足してくるとのことですが、なぜ最初から東電社員を使わず、すでに被害を受けている地元住民をつかうのか？ 東電をやめていこうとしている社員が多数いるというのは、あまりに無責任です。
- ・福島の収束も、検証もせずに再稼働や輸出などあり得ません!!! 今の状況ではその資格さえ無いと思います。
- ・除染をするなら 100%の除染でなければ意味がありません。今のやり方では除染というより単なる移動です。放射能はいまだに出続けているのですから、人間の手で制御できないのですから。
- ・国も東電も事故のすべてを速やかに公開しなければなりません。それは義務です。

0448 男性 50代

放射能を完全に取り除き、福島第一原発、第二原発の廃炉になるまで帰町はしない。安全、安心の楢葉町になるまで、避難地で生活をしていきます。賠償は納得するまで国と東京電力に請求したい。

帰町したとき、なぜ家の室内を私たちが除染するのか。「町から除染セットがきました。」「国、東京電力が除染する義務がある。」

東京から、住んでいいところ楢葉町、「原発の安全、安心の神話」安全、安心は東電の言葉でした。

国、東電は本当に私たちのこと「一人ひとりに責任をもって、安全、安心の世話を。」

0449 男性 50代

むなしいだけです。今はなにも考えられない日々です。

0450 女性 50代

私の仕事の関係で家族と一緒に暮らせない寂しさを本当に国、東電はわかっているのか。除染について、屋根がずり落ち、雨漏りがひどい部屋を家の人が行ってくださいとのことですが、私がやらなくてはいけないことに納得がいきません(庭もです)。

原発事故さえなければ家族・親戚の人たち・友人とはなればなれにならなくて済んだのに！ すべてにおいて許せないことばかりですね!!

東電について、自分の会社の社員にも痛みを味わわせてください。私たちが苦しむのは納得がいきません。いまだに第一原発の一部の東電社員のいばった態度の行動を時々耳にします。

最後に、もとの生活を返して。

0451 女性 20代

家族全員で暮らしたいです。

0452 女性 50代

避難生活も最初のころは、物もなく不便を感じながらの生活で、食べて寝るといだけの生活で一日が終わっていたような感じだったが、1年半を過ぎると家族それぞれの時間があり、なんとなく食事バラバラになり、会話もあまりなくなつたように感じます。若者は新しい土地でもすぐ順応できるが年配の両親などは初めてのアパート暮らしで近所に知り合いもなく庭いじりもできず生きる気力を失ってしまったようで心配である。

今は仕事もあるが、この先同じ仕事をしていけるか不安がある。両親の健康のことや植葉では自営業をしていた両親だが、帰っても再開できるのか悩んでいる。

避難中は多くの人の支えがなければここまでこれなかったと思う！やはり友人・知人からの励ましの電話やメール、お見舞い金や物資を送ってくれた友人には精神的にも支えられたし、親戚一同8人の大人数でやの親戚宅へ行ったが、快く受け入れてくれた親戚にも感謝している。

より多くの人々が納得できるように議論してもらい、早急な支払いをしてもらいたい。

国や植葉町に避難するときに、もっと多くの情報を出してほしかったと思う。3月12日に避難指示を出した植葉町は防災無線でただ「南の方か西の方へ避難してください」としか言わず、どこへ行けばいいのか不安だったので役場へ行ってみると、職員が紙を配っていたのでもらってみると、そこには「植葉町の避難所は平6小と草野小」と書かれていた。バスで行くのかと聞いたら「マイカーのある人は車で行け」という返事。なぜ防災無線があるのに無線で町中に避難場所を伝えられないのか？いわき市内に着いてもどこへ行ったらいいかわからず結局また植葉へ戻ってきた人が何人もいます。役場職員の行動にはあきれられる。広野町の親戚宅から小野町体育館へ避難したら、50kmも先の郡山まで行きスクリーニング検査を受けないと入れないので行って来い！とか役場職員の緊急時に対する臨機応変な態度が全くなく、住民の不安を増大させた責任は多大にあると思う！

国も双葉郡内は地震ですべて停電してテレビなど見られない状況の人が多くいるのにテレビのテロップで「避難指示がだされました」と流されてもほとんどの人が見ていない！他の方法でもっと早く情報を伝える手段があったのではないかと思う！とにかく国も町も情報を流すのが遅い！

国の担当者も実際に現地にきて今の現状を把握して早く決めてほしい。

復旧・復興が第一だといっているが、ここまで遅くなったのは国の責任が大だと思う！

0453 女性 30代

東京電力は非常に誠意がなく、賠償の受け答えも最悪で、加害者意識がない。まず相談窓口が、日曜が休みの時点でおかしい。賠償請求も、数字のみの記入しかなく、何がダメなのか電話をかけて一つ一つ聞かなければ答えず、しかも上から目線の話し方と、絶対にまともに答えられないくせに変なところはいいかげんな算定だったり、国から金をもらうことになった事の大きさもわからない奴らばかり。これもとても時間がかかり、仕事を持っていたら賠償請求はできない。

町の避難者で、ボランティアの方が作ってくれた食事に「こんな【略】残飯みたいな食えるか!」と言った人間がいたらしく、その人たった一人の暴言で、やっと仕事をはじめた仕事先でいじめられた。ねちねちとそのことを【略】言われた。【問題がある】ことを言ってしまった人とて、極限の中においてのやつあたりとは思ふ。それを、少しは仕方なかったことと思ってもらいたいが、いかんせんその人のおかげで全く関係のない人までとばっちりをくっている。

だいたい、酸性にしてもいないただの水道水、しかもジョウロでかけるよりもチョロチョロの水で除染をやっていることで、ただの金だけもらってドロンだろう。そんな除染で人をだます、そんな土地には帰れない。ボランティアの方は本

当にやさしく、ありがたかった。

0454 男性 70代

このたびの東日本大震災のような出来事は二度と合いたくないと思います。地震は自然の成り行きで仕方がないと思う反面、東電の原発に対する対策は本当に残念でなりません。特に上層部の方々の諸々の考え方が我々と方向が違う気がします。今回はもう少し考えを改め、我々町民、あるいは国民の方々の健康などを少し改めていただければ幸いと思います。

0455 女性 60代

高齢者の母の病気が悪化し24時間の見守りで一日を過ごしているが、仮設での生活が苦痛でストレスがたまり、引っ越しを考えている。

プライバシーがない(何時に起きた?洋服の色は派手とか、隣の人の騒音、あげたらきりが無い。喧嘩をする【略】人など)。

介護のためベッドを置きたいが部屋が狭い。

除染の件は、楢葉町は7割が山林だが山林は除染しないとのこと。考えられない。

心の支えは母が毎日言ってくれる「ありがとう」の言葉です。

0456 女性 60代

除染の一回目の打ち合わせが、ほかの家との違いがありすぎてあいまいでした。

例：掘り返した土は自分の土地に捨てる(埋める)、我が家は3cm取ると言われたがほかの家は5cmと言われたらしい。木の枝は自分のところに保管する。広い土地を持っている人は除染の件が足りているのか(いいかげんに終わられる)除染にいろいろな人たちが入ってくる話を聞いたがマナーとかを徹底してほしい。まずは除染して前のように戻るようにお願いしたい。

中間貯蔵庫が近くにできるなら戻らないことに決める。

0457 女性 10代

警戒区域が避難指示解除準備区域に見直され、一度楢葉町に帰ったところ、文部科学省で出している放射能の数値と実際にはかった数値が違っていた。国は私たち警戒区域の人たちをどのように考えているのだろうか?もしかしたら私たちは国のモルモットとなってしまったのだろうか。私たちにとってあの区域は、どんなに汚されてもたった一つの故郷なのです。

私たちの地域は原発マネーをもらっていました。それについていろいろと言う人たちもいますが、本当は福島県が原発マネーを半分もらい、残り半分を原発立地町に建設年数割で渡していたため、私たちはそんなに優遇はされておらず、まして県はそのお金で知事出身地域の発展に使って、双葉郡には何もなかった。正直、町はお金に大変だったと記憶しています。まして電源立地交付金は、箱物のみには使われず、目に見えないであろう福祉などには使われない。維持費が大変です。関東の人たちは私たちの現状をどのくらいわかっているのでしょうか。私たちが命を削ってつくっていた電気について...

0458 男性 70代

国や東京電力とその他の電力会社の原子力発電所をなくしてください。避難生活を続けていけない。

0459 男性 70代

生きているうちに榊葉町に戻れるかどうか？

榊葉町自宅には、金銭では買えない財物が多々あるが東電さんはどうするつもりか？

榊葉町自宅は森林で囲まれ除染はどうするのか？

急性心筋梗塞で 病院に入院、手術後もいろいろな病気にとりつかれ か月ほど冬眠し、今では歩行も大変、車の運転もできず、今後の生活がどうなるか。

好きで現在地にいるわけではない。3月11日以降、車のガソリンも購入できず着のみ着のまま...会津美里町まで行けなかった。

財物賠償の件だが、どういうことになるか、現在までの請求で三分の一ほどしか頂いておりません。治療費やその他の金額でもテレビ・ポット、毛布、こたつ等々も支払っていただけませんでした。今思うと一番先に爪切りとひげ剃りを購入した思い出があります。

国、榊葉町には大変お世話になっていると思うがなんの情報もなく、隣近所の人たちとも話はなし。月に一度の広報、チラシのみです。現在の借上住宅も自分で探した次第です。

まだいろいろ記入したいことがありますが、きりがありません。これでやめます。ご多忙のところ、読んでいただきありがとうございます。

0460 女性 40代

高速道路の無料化を当面の間続けてほしいと思う。

0461 女性 40代

この避難や事故がなければ今までの職場で働いていられたのに...と思うと悔しい気持ちだった。避難生活を続けていくなかでは悪い面もあったし、良い面もあった。

仮設が住めなくなったあと、住む家をどうするか考えているところ。

子供の存在、地域の人たちのやさしさ。

避難前の職場のお給料はとてもよかったため、就労についての賠償をきちんとしてもらいたい。何もなければ定年まで働けたのに...という気持ち。

賠償を早く終わりにしたいというのが感じられる。残念。しかし、働かない人も多いというのも現実。難しい問題。復興住宅でも建ててくれればいいのと思う。

0462 女性 30代

・電気、ガス、水道など榊葉に戻って掃除などした際これから一回帰宅しても基本料金が一月丸々とられるのはおかし

い。日割りにしてほしい。

- ・仮設住宅を増やすのではなく、団地など、これからずっと住める場所の提供
- ・今の仮設に収納がないので、物置が早くほしい。
- ・解除になったので警備が緩い！ もっと厳しくするべきだ！ 誰でも入れるなら警備を厳しくするべき。
- ・細野大臣にぜひ会いたい。
- ・町長が何をしたいのかわからない。最初に演説していた時と違う。
- ・子供の学校など(中学校の建て直し)は必要なのか？ 櫛葉建設中。
- ・お金を使うところを根本的に間違っている気がする。

0463 女性 70代

河川、農地、森林も全部国、東電の責任ですべて除染を必ずしてほしい。

0464 女性 40代

今回東電の事故で、避難先で父がなくなり家も土地も父のものであるが、どんな賠償も亡くなった人はもう生きかえないので全ての賠償を世帯主にしてほしい。でないとこれから先何もできないので...相続とはいいい、兄弟なのと、相続などの書類などは無理なので、東電では今大変な思いをして生きている、生活している家の者に賠償をしてほしいことを切に、切にお願いしたいです。

0465 男性 50代

避難せずに1年半ここで生活している人間もいることを知ってアンケートづくりをしてほしい!! 原発は人類には必要なし!!

【名前あり】

0466 男性 70代

- ・子供の親が帰れる環境を作ると、子供も一緒に帰れる。
- ・それには中途半端な除染をしないで、同じ宅地内にある畑も一緒に除染をする。
- ・作業のスピード化を進めること。
- ・財物等の賠償基準を政府・東京電力は早く進めるべきだ。
- ・町としてはインフラ整備を早めること。
- ・復旧、復興を終わらないうちに老人は死亡してしまう。このようなことが起こらない内に櫛葉町の実家に帰りたい。みなさん頑張ってください。お願いします。

0467 男性 60代

津波で流出したので財物賠償基準がない。これでは同じ櫛葉に住んで不公平だと思います。何年も兼業農家として働き、定年後は農業をして今までできなかったことをして過ごす思いでした。櫛葉にいるときは息子夫婦と母たちと同じ敷地で

別々でした。でも今は7人一緒なので母も介護をうけるようになり妻がストレスで精神状態がよくない。

国、町、電力への要望をして家のある人たちと同じ賠償基準をお願いしたい。

0468 男性 40代

会社が 町、 町に拠点を置いていたため、現在は県外の事業を継続しており、従業員およびその家族が県外での生活を強いられている。自分も家族と離れ、二重生活となっている。何年もの間、家族と離れて暮らすことの精神的苦痛、二重生活による財政苦、将来への不安、かつ津波被災者には財物賠償はない。帰る土地もそこで築いてきたコミュニティもすべて奪われその補償は月十万円。とても見合った額ではない。これからどう人生設計をたてたらいいか。これだけの仕打ちを受け原発のある町へは戻りたいとは思わない。

- ・ 国への要望 津波被災土地を買い取っていただきたい。買い取り額は地価ではなく生活再建を考慮しいわき市内の土地購入坪単価相当としていただきたい。
- ・ 東電への要望 被災者個々人の置かれている状況に応じた補償をしていただきたい。

0469 女性 40代

榎葉町からの情報が少ない。仮設に住んでいる人よりも借上住宅に住んでいる人に情報がほしい。あとからわかっても意味がない。東電の賠償基準はよくわからない。

0470 女性 60代

孫は戻れないと思っています（小学生高学年だけに）。

しかしいろいろなことがあったけれど榎葉町が大好きと胸を張っています。その姿を見て私が心の支えになっていることが一番の嬉しさです。

榎葉にすぐ戻れないだけに苦情が多いと存じます。小さい単位での目と目、口と口を通して話し合える場があれば、心のわだかまりは少なくなっていくと思いますが。

0471 女性 40代

警戒区域見直しの決定をマスコミ報道で知ることになったのがとても残念です。町長の言葉で住民に最初に伝えるべきではないでしょうか？ 見直しに関して説明会、アンケートを行ったのはパフォーマンスとしか思えなくなりました。松本町長はもう一度住民に対して説明の場を持つべきだった。J ヴィレッジの入り口に、午後になると警察官が現れ警備しているようにも見えるが、榎葉町から配布された通行証があってもなくても、警察官から聴取されたこともない。これもパフォーマンスだ。

榎葉に帰るのには、この町長が住民に対して本気で向き合うかどうかが一番大事なことになるだろう。住民は今新町長を観察し、評価しているところでしょう。

0472 女性 50代

避難生活の中、いろいろなことを考えます。最近先のことを思うと心が落ち着かず夜寝ることが不安になってきます。

榑葉町に帰りたいけど事業はどうなっているのか？ 人口はどうか？ ほかの産業は、榑葉町に入ってくるのか？ 前の町よりよくなっていかないと、町の経済が成り立ちません。町長をはじめ議員の皆様はどう考えていますか？ 国が先と考えるよりこのチャンス【活かして】町の意見として国に、東電に考え(方向)を伝え、助成金をいただくことが大切。双葉郡を一つに川内広野、榑葉の国有林をこの時に役に立つようにしてはどうか？

また農地も法律を見直し、町、事業のために使う！

自分の町のことばかり考えているようではだめ！ トップはリーダーシップを発揮し、今嫌われても10年、20年後のまちづくりを率先してやっていくこと。

いったい何が邪魔をしているのか？ トップの質が見えるようです。また、事業を再開している企業は二重ローンで先が不安です。早めの解決を望みます(住宅も同じ)。先に町に帰ってくる人と企業があるから次に続く町民がいるのですよ！ 先に帰ることの重大さを認識すべきです。家が流されている町民、企業、新しく誘致していく企業に対しても地代、20年間無償でとか？ 各税金も助成していくとか？

今大変であっても20年後はきっとよくなっていると思って考えてください。なんだったら東京電力の本社を榑葉町に誘致させては？ 関連企業も同じ！ 人が戻っても仕事することができなければ前以上のまちづくりは不可能です。

こんなこと書いても役にたつんですか？ 書かせてるだけではないのですか？

町長へ 若い町長だったら、新しい枠をはずした考えが大事です。がんばれ！

0473 男性 60代

国や東電は避難者に対して十分な賠償をしていない。線量が低いからといって見直しをしているが私たちは事故が起こる以前の榑葉町に戻して、子供たちが住める町にしてほしい。除染はしっかりやっていただきたいと思います。

不動産賠償、特に土地に関しては国、東電が全額賠償(買い上げ)をしてほしい。私の場合宅地として地代収入で生活していたので今後が不安でならない。

0474 女性 40代

震災で終わっていたら、皆苦しい思いもしないで普通に生活してたのに、東電のせいで手ぶらで逃げて、半年は引っ越し三昧だったが、ホテルから借家とやっと落ちついたと思いきや、2年たったらまた引っ越し先を探さなければならない状況で、子供達も転校し、また引っ越しではかわいそうすぎると思います。

東電と国とでこういう状況を見てみぬふりをするのでしょうか？ もう少し各個人の状況を把握して耳を傾けてもよいのでは？ 大変でしょうけど、期間も短いし、いちばん子供達が犠牲になっていると思います。転校ほど、嫌なものはないと思います。この短期間で2回も転校し、また転校はかわいそうだし、今住んでいる所から近くのアパートもないし、生活が難しい。自分たちが落ち着くまで面倒見てもらえないのでしょうか？ 今の状況、榑葉は子供連れて帰れるところではない。茨城に住んで、福島のどこへ行けばいいのでしょうか？ 戸建に住んで仮設にはいることは、荷物も増え、困難です。本当に2年たったら自己負担に、別なところへ移動しなければならないのでしょうか？ はっきりしてほしい。出来れば自分たちが移動できるまで面倒みてもらうことってできないのでしょうか？

0475 男性 70代

いわき市の仮設住宅に住んでいます。いわき市長はじめ市民の皆様には感謝申し上げます。高齢者なので生活に不安を感じています(買い物とか、医者とか郵便ポストが遠い)。

仮設住宅には役場からの提供で自治会の勤めがありましたが一歩反対があり、流れました。役場もあちらを向いています。只今は連絡員が見回りに来るのみです。入居者名簿もなく入居者同士の交流も少ない。

県市 の里へ避難しました。 の里のみなさんには親切にお世話いただき、励まされ、今でも交流がつづいています(避難一日目には 祭に招かれました)。

個々人にもっと心のこもった値【賠償】を出してほしい。

国、東電の下請業者か？ 避難者に対し心がこもっていない。高齢者は先が短いのだ。

0476 女性 20代

東電からの仮払いで賠償金は受け取っていたが、本請求をまだしていないため生活費用がなくなってきてしまった。家族の失業、減収があるにもかかわらず、住居を3か所に分けているので生活・光熱費があたりまえに三重払いになってしまう。現在住んでいない住宅のローンもそのまま支払っており今後どうすればいいのか家族で頭を悩めている。

警戒区域を勝手に早めに見直しされても帰ることも住むこともできないのに、補償の件で予算を浮かそうとしているのかと思うと国に怒りをおぼえる。自由に行き来できてしまい、防犯もとても気になる。年間被ばくが少なくなったと聞いたが、震災前の数値よりはるかに多いはず。国はいったい何を考えているのか。

0477 女性 60代

家族がいがないため、一人での生活です。一人暮らしは何から何まで自分でやらなくてはならなく、身体の調子も崩してしまい、50km ちかくある病院に通っています。役場の方には親切に助言をいただいておりますが、やはり一人暮らしは思ったよりもお金もかかるし。冬場マイナス25度になるような場所にあります。雪かきの費用、灯油代などで月12万かかります。東電が補償してくれていますが、とてもとてもそんなお金じゃ間に合っておりません。貯金をくずして生活しています。あとどのくらいもつか心配です。

0478 女性 20代

今の住宅は来年3月末までしか借りられないためその後の生活が心配。父が病気になり仕事が出来なくなった。

離れて暮らす夫と不仲になり、賠償金の請求も夫がすべてしていたのでお金がなくなってきた(個人的なことになってしまってますみません)。

温かく受け入れてくれる 町民の方々。

まだ基準を確認していない。

原発事故に限らず、きっと国は東北を復興する意思がないと思う。

0479 男性 60代

県は四方が山々に囲まれているので福島県の浜通りとは違って、夏は暑く冬は寒いので避難生活が辛いです。一日も早く楢葉町に戻りたいです。

楡葉町役場から生活物資が私のところにいると送り届けていただいたので助かりました。ありがとうございました。
国や楡葉町からの(福島県)避難生活が苦しいのでお金(義援金)をいただきたいです。なんとかお願い致します。
東京電力会社から、避難先の 県から楡葉町に帰町できるようになるまで賠償金をいただきたいです。

0480 女性 70代

業を親と息子2人、家業を継ごうと何十年も働いてきた。3.11.以来何もかもなくなってしまった。かわいい孫と苦しくても楽しく過ごしてきた。業は双葉郡の民間の人たちがお得意さんだった。双葉郡の森林の材料は放射能で汚され【自営業に陰りが見えた】。廃業に追い込まれた弟の方は孫が小さいので楡葉には帰れない。兄と(お父ちゃんは80代)一からやり直すにも【難しい】。材料は放射能【まみれ】だし見直して家に帰っても地獄だ。いまさら昔の暮らしに戻してと言ってももう戻らない。主人と私は10年も生きればいけど、長男がこれから1人でどうしていけばいいか考えると胸が張り裂けそう。血を吐くほど怒鳴りたい。この怒りをどこにぶつければいいか。兄の方は家に帰るといふ。嫁がいなく、私が生きていうちは食事も作ってやれるけど、今も1人なので全部買って(コンビニ)いる。婚約指輪まで交わしたのにこの原発のせいでだめになってしまった。誰が20km内に嫁に来ますか。くやしい。すぐにどうすることもできないが、長い目で、3人でできることはやって暮らしていくしかない。いろいろ考えると涙がとまらない。こんな生活になるとは神も仏もわからなかっただろう。

0481 女性 60代

原発事故があつて逃げろ、線量が低いから帰ってもいいというような国の勝手な言い分に憤りを感じます。また、段階的に線引きされることが納得いきません(町村別に)。

避難していることにはかわりはないのに補償金額に差額が生じることに不安を感じます。楡葉町は除染が終わって解除になったとき、町民の人たちはどのくらい戻って生活再建できるのか、課題が山積してある程度不可能な様子が見えがえま

す。
私は双葉郡なら双葉郡8町村がひとつになって国に条件を提示して住民の要望が可能になる方向性を示し、行政が大きくなることによって強い意思表示を国にたいして貫いてほしいです。国も窓口が一つになればもっともっと復旧、復興に時間の短縮、意思の疎通がはかれると思いますのでぜひこのような機会に実現できるように切に願っております。

0482 女性 40代

本当に今の子供たちの未来を思ったら楡葉町へ帰町することが正しいのでしょうか？ 育った町や村へ帰ることが本当にいいのでしょうか？ 私には胸を張って帰ります!!とは言い切れません。本当に安心して安全な生活はもう出来ないと、思います。個人的には帰町絶対反対です!

0483 男性 40代

国・県・東電の復興に向けた取り組みや補償に依存することなく、楡葉町として今後のビジョンを早急に決定することが大切。たとえば町の土地を有効活用して廃炉ビジネスを展開するなど、できることはたくさんあると思われる。

補償はもちろんしてもらおうが、町民のやる気(働く場所)を起こさせることが大切と思う。

0484 男性 40代

- ・仮設住宅は隣の生活音が気になるので防音を考えてほしい。
- ・実際に帰町が可能な状態になったときに帰町した方がメリットがある、というような優遇措置を考えてほしい。
- ・地盤沈下した土地をなんとかしたいがそれについての情報が少ない。

0485 男性 60代

原発事故が未だ収束していない中、また除染作業の前段である現地説明が終了していない中で、警戒区域の解除宣言は時期尚早と思ひ許しがたい気持ちである。

町内のライフラインの復旧、復興が見えない中での解除は早すぎだし、隣接町村と歩調を同じくすべきである。町民の一員として町に裏切られた気持ちでいっぱいである。

0486 男性 50代

東電への要望。

東電グループ企業の社員は所得の減額分の賠償請求をしたとき、約1割カットされた。そのとき東電とグループ企業が話し合って決めたと説明を受けたが、会社に問い合わせたら話し合いはなく、一方的に1割カットする旨の連絡が口頭であったとのことだった。今回の賠償請求は会社ではなく各個人が行っているのに、その個人に何の説明もなく一方的に減額することに誠意を感じられない。もう少し被害者側の立場にたって考えてもらいたい。

0487 男性 50代

- ・避難生活の中でストレスなど生活のリズムがなく病気などになり、大変である。
- ・生活設計がこれからどうしていいのかわからない。いまだに家を買うべきか迷っている。
- ・中間処理現場を町内につくるのは反対。
- ・Jヴィレッジ機能を富岡より北に移動するべきであると思う。

0488 女性 50代

・赤十字の支援物資について

避難にあたり、多くの方々のご支援をいただき感謝し、心温まり、励まされました。我が家は3か月知人宅でお世話になりました。仕事の関係で住まいを早急に探したもののどこも満室で、職場から60km離れた土地に賃貸住宅を見つけ暮らしています。借り上げでないため赤十字の家電支給は受けられませんでした。また知人の現物支給の時間のかかることなど、受給件数の多数のためとは理解しますが、スムーズさなど阪神大震災を参考にしたとの情報も聞きましたが…。

高齢の方は自由に買い物もいけないので現物支給でもよいかと思ひます。

そして次回があってはなりません、もし支給される場合は現金支給かなど選択できた方が無駄にもならずよいのではと思ひました。全国の方々からご厚意が有効に届くための意見を書かせていただきました。

0489 男性 40代

4人で暮らしていたが、仕事と息子の学校のことを考えると、3世帯になってしまった。

農地が使えるようになっても作物は売れないでしょう(福島県産というだけで売れない)。肥料、農薬、資材、種苗を扱い、農家の方々のお手伝いで作業受託を請け負っていた。

お米は生産から販売まで、安全な米作り、うまい米作りをモットーに順調でした。

これから先どうすべきか、農地のことがまだ何も決まっていなため、どういう方向性に動くのかわからないでいる。

倉庫には肥料や農薬資材が山積み。その後片付けのことを考えただけでも大変なことである。育苗用の一つのハウスはどうすればいいのか、途方に暮れる。

早く方向性を決めてほしい。新しいことをきめなくてはならない。自分自身が年をとって動けなくなる。

0490 男性 40代

放射線管理区域と同等の線量がある場所もあるのになぜ解除したのか疑問に思う。

除染とライフラインの復旧をしてから解除ではないのか？ 順番が逆だと思う。

県外避難者は蚊帳の外、懇談会もなく町民の意見をきかずに解除...、おかしくないですか？

東電に関しては嘘偽りなく原発の状況を説明してもらいたい。

0491 男性 50代

・家のローンを毎月支払っているのだから家のローンを補償してもらいたい。

・8月10日に警戒区域見直しになりましたが見直しの本当の理由がわからない。一部には町長が国から【なんらかの条件を提示されて】見直しをしたと話が出ています。

・見直しになっても除染がどこまでやれるのか？ 特に田畑・山林がどこまで除染できるのか？

0492 男性 60代

・今後楢葉町が再生するためには、

完全な除染、特に山が必要である。

町の将来は子供たちにかかっている。そのためには安心できる町(完全な除染の実地)にする。

現在の状態では解除になっても、年寄だけになってしまうので、二地域居住にしたほうがよい。

財物賠償は二地域で生活できる補償の額であってほしい。

・今回の避難準備区域になった件について

自宅に帰ってやることは清掃が主になると思うがそれによる人体への外部、内部被ばくを町としてはどう考えているのか？ 線量が低いから安全であるとは、限らないと思う。また、帰町による被ばく線量の管理をどのようにするのか？ などあまりにも甘い考えであると思う。今後これらの事をどのようにするのかははっきりとした方向性を示してもらいたい。

・国への要望

町が完全に安全となるまで、住むところを保障してほしい(住むところの期間は避難者が決められるようにする)。

・東電へ

第一原発を一日も早く安全にしてほしい。

0493 女性 50代

楢葉町は準備区域になったわけだが、その前に除染やインフラの整備などできなかったのでしょうか？ 誰もがフリーパスで入れるということは防犯面において非常に危機を感じます。車の通行証が配布されたが何のためですか？ 誰がチェックをするのですか？ いろいろ疑問を感じます。

除染については徹底的に行ってもらいたいと思います。森林など除染しない部分があるということは、効果が本当にあるのかと疑問に思ってしまう。以前とまったく同じということは難しいと思いますが、子供たちも帰れる(住める)状況でなければいづれ町はなくなってしまうのではないのでしょうか？ 徹底的にお願いします。

いろいろな事柄が場当たり的に行われてきたように思います。仮設住宅の建て方、住ませる人々etc.。もっと大局的に物事を見て、処理してほしいと思います。これから楢葉町はどう「生きていくのか」よく考えましょう。

それにしてもいろんな多くの方々の支えがとてもありがたかったです！ 人の温かさ、やさしさ、いろんなこと感じました。

0494 女性 70代

介護が大変です。目が悪いから。

0495 男性 70代

長く生活するには部屋が狭苦しいこと、そして隣同士の音が気になりストレスの元になる。仮設生活から以前の生活に戻りたい現状である。

避難先では暖かい言葉をもらい、物をもらいました。うれしかったです。頭が下がる思いは忘れません。

国、町、東電などに要望します。原発を日本国土から0にすること。また、復旧、復興計画、工程進行状況の中間情報を出してほしい。そして原発事故の内容など、今までのことを、今後も嘘を隠さず本当のことを言ってほしい。

0496 男性 70代

避難生活の日数が多く、大変でした。でも 知事には大変お世話になりありがとうございました。左も右もわからない所でしたけれど、大変でした。大変でしたしか書けないです。めまいがして救急車のお世話にもなりました。でも早く来てくれて助かりました。ありがとうございました。

0497 男性 70代

原発事故は農村の文化をすべてだめにしたと思います。

特に悔しいのは家族で食卓を囲んでなごやかに生活していたのが一瞬でなくなったことです。そして三名と四名の分散生活となり、この先七名に戻る生活は？ となっています。

金はなくても楽しく生活できたのに、百姓が米を買って生活しなければならぬ悔しさは誰もわかってくれないと思

うと、東電くたばれと言いたい!

事故は東電のおごり以外にないと思います。自分のやっていることはすべて正しいのだと...学者の言うことにも耳を貸さなかった結果です。

津波にあった地域は太陽光発電、そして原発はすべて廃炉!

0498 女性 30代

家の場合は家族の考えがみなちがう。

私と子供は帰りたくない。夫の両親は帰りたい。夫はどちらとも言えない。

帰りたくはないが、今いる所にいつまでいれるかわからないし、実際お金がかかる。もし、こちらに住める所が確保できれば、両親は楢葉に帰るが、私たちの分の生活の補償まではしてもらえるのか。

両親は、冷たいようだが、私たちが帰らないのであれば、別居の部分の家などの財物賠償の分は出さないと言っている。うちは、楢葉の家を直すのにずいぶんお金がかかるから、帰らない人の分までは出さないようだ。得するのは両親だけ。世帯主中心に賠償してほしい。個人個人してほしいです。死にたいくらいです。

0499 男性 20代

楢葉町は警戒避難準備区域に見直されましたが、インフラも整っていない状況でどのように生活再建をするのか先が見えない状態で不安がいっぱいである。国や東電は無責任な言動や行動をとらないでほしい。それだけでなく、今まで電気は福島から関東に送られ、場所を提供していた所が痛めつけられるのはおかしい。町をゴミだらけにしないでほしい。

帰町しろというのなら、先に国や東電の人が住んでみたらいい。その上で物事を進めてほしい。なので帰町はまだ早いと思う。また、第一原発が事故を起こしたらと思うととても不安で将来が見えてこない。別な場所に家を建ててほしい。これから結婚して子供ができて考えるとそれくらいは当然すべきことではないか?

0500 男性 70代

きちんとやってください。

0501 女性 20代

第一原発が収束した訳でもないのになぜ解除なのか。町長が東電から(【略】)だけでしょ。クソ町が。

0502 女性 70代

東電の記者会見を見ていると林室長はひとごとみたいな話をして上を見ている。感じ悪い!

これまで東電は問題が起こるたびに小出し・嘘・かわすの繰り返しで、この体質は変わらないと思う。

国は収束したと発表したけど一つ収束などしていない。本気になって現状を認識してほしい。

これから40年、廃炉まで上記の繰り返しだと思うと県内に住みたいとは思わなくなる。

0503 男性 70代

原因があって結果がある。足りないことがあるからよくない報いがある。加害者になる。しかし、その理屈を国も県も町もいつもうやむやにして前に進もうとし、産業界も平然と存在する。アンケート調査に協力するにしても正直の所、虚しさが募るばかりです。

特に政治家は、ただ単に産業界、官僚の御用聞き役で存在しております。価値観がその程度ですからエゴ丸出しの政局が関心事です。事故の原因究明、根本的な事故防止策、被災者の救援、被災地の復旧、復興 etc、すべてにおいて官僚の圧力、産業界の非協力が大きな壁となっており、泣くのは被災者(国民)側です。

皆様方も一生懸命ですし、大変な仕事を根気よく成し遂げようと励まれております。敬意を表します。

0504 男性 50代

帰町したとしても、5年、10年、15年、20年後は本当に町に若い人がいるのだろうか？ 私たちの年代が帰町したとしても、10年後は老人の仲間入りのため、不安で帰町できない。第一に、原子力事故はまだまだ落ち着いてないし、まだまだ危険なので、国を信じていない。

0505 女性 30代

避難が長くなるほど、榊町へ戻ろうとする考えよりも今ある場所で生活再建して、安定した生活を送りたいと思うほうが強くなると思います。特に、子供を持つ親としては、子供の将来を考えると榊町へ帰町したいとは考えにくいと思います。自然豊かなよい町だったので、子供を育てるにはよい環境だったのに残念です。

早くみんなが震災前に近い安定した生活に戻れることを心より願っています。

0506 女性 40代

主人が東電の子会社の社員のため、いつ首になるか分からないので、先行きが不安。子会社をつぶしてまで、賠償をしなくてはならないのはおかしい。国(東電)が原発作業員、社員の生活のことなどどうでもいいと思っているのはおかしすぎる。ボーナスもなく、家のローンを払うのが大変で、生活するのが精いっぱいである。

原発事故を起こしたのは、みんな東電の責任にするのはおかしすぎる。政治家がもっと考えるべきである。

0507 男性 30代

榊に帰る、帰らないと聞かれて、たぶんほとんどの人は、帰りたいと答える事と思います。生まれ育った榊、わがふるさとです。が、東電原発の収束はこれからが一番危険な仕事だと思います。使用済み燃料棒を全部おさめるまで安心できません。また、東電の嘘、隠し事があって、東電を本当に信じる事ができません。

復旧、復興のため少しずつ進めていくことには賛成ですが、心の中にいつも不安があり、それを消すことはできません。

3.11の地震も忘れる事はできませんが、もっとつらく、長い夜を泣き泣き暮らしたこの思いは一生心に残る事です。今はまだこの様な考えで、思いです。また、時間が経てば変わるかもしれないですが...

東電の原発事故が収束し、やがて安心安全な榊町に戻ることを願います。

何を信じて生きていいのか、誰を信じていいのかわからないこの状況の中で、榊町の町長さん、議員さんにはしっかり良い方向に進めてもらいたい。町民はついて行くとします。

0508 男性 40代

現在榊葉にある家と同等の家がいわきに建てられるくらいの補償を東電にお願いしたい。

0509 男性 50代

インフラが復旧していないし、除染はしても完全ではないし、子供たちも戻ってこられないような状態になってしまって、この先不安です。私たちの将来が狂ってしまったのに、国や東電はひとごとです。家の中の清掃をなぜ自分たちでなくてはならないのですか？ 家の中のゴミを捨てる場所もなくて、掃除もできないじゃないですか。

榊葉町に戻らない人の家や土地は買い取ってもらいたいです。榊葉町も戻るんだったら、全員一緒でしょう。子供たちが安心して戻ってこられるように除染は家の周りだけでなく、山から完全にしてください。

私たちのこれからをきちんと考えてください。

避難指示解除準備区域になりましたが、泥棒の被害が増えたらどうしてくれるんですか？きちんと責任はとってくれるんですよね？

0510 男性 20代

除染しても元に戻らない所へ帰ることはない。第二の町(仮)を作り、生活するようにすべきだ。除染したからといって、汚染がゼロにならない。そのような場所に町、国は住民を戻そうとしている。

0511 男性 70代

避難生活に不安が多い。要望はキリがなくなる。

0512 女性 50代

除染の終わっていない榊葉町に帰ってよいのでしょうか。また自宅も現状を見てどのようにしたらよいか。リフォーム・再建？ わからない。雨もりが各部屋にあり、対応の仕方がわからない。家族間でも意見の違いがあります(帰町の件)。

- ・せまい部屋での生活は息がつかります。必要なものがあっても置く場所がなく、持ってくることもできない。
- ・これからあと何年こんな生活をしていかななくてはならないかと思うと、気持ちがしづみずみ。
- ・友達もいろんな場所へ避難しているため会うことができず、どんどん遠くなっていくように感じます。
- ・町の情報も、借上アパートのためあまりなく、仮設に移ったほうがよいのかと考える時もあります。(去年から仮設と借り上げの支援物資には差を感じています。町にTELをしても県から仮設の人たちだけと指定されるので、借り上げにはいけないと言われてきました。) 同じ榊葉の住民であるのにこの差はどうしてでしょうか。

0513 女性 60代

【略】繁岡と富岡町の境が一番線量の高い所です。榊葉町住民調査の地区分類をする時、もう少し気遣いをもってほしいと思います。

財物賠償はその家でぜんぜん違うのでその家にそった賠償をしてもらいたい。

東電の原発事故が収束していないのでとてもこわいです。

仮設住宅と借り上げ住宅と両方借りている人がいる。税金の無駄遣いではないですか。

0514 女性 20代

仮設住宅なので隣の部屋や前側に住んでる小さい子がいる家庭の音が夜うるさいときがある。時間も時間なので周りの人のことを考えて静かにしてもらいたい時がある。ほかの後ろに住んでいる人も朝や夜など車のスピーカーが大音量で帰ってきたりしているから、それが耳障りな時がある。状況が状況なので仕方がないが、ストレスがたまりやすい。

0515 女性 60代

補償問題を一日も早く決めてもらいたい。生活設計がたてられない。

知らない所で避難生活、友達もいない、話す相手も夫以外にいない。孤独を感じる。心身ともに不安定になることが時々ある。一日も早く安心してゆっくりできる生活がしたい。原発が収束しない限り安心して暮らせない。

0516 男性 50代

将来の人生(生活)設計が組み立てられない。

個人個人の状況、かなり詳しく調査して賠償してほしい。

0517 男性 40代

町単位での(特に榑葉町)復興はできないので、双葉郡全体の復興を考えてほしい。

0518 女性 30代

すべて億劫で、先のことを考えたり行動するとくたびれてしまいます。一日を大切に過ごしたいと思っていますが、ちょっと考え事をすると2時間くらい何もしないで時間だけ...ってこと、よくあります。うつなのか?近くに以前働いていた会社のお友達がいるのでたまに遊んだり電話したりしていますが、気分はその時は楽しく、会話ははずみ「よし!頑張るゾ!」と元気になるものの、次の日にはなにも考えたくない...そんなこんなで毎日過ごしています。今は育児に専念なんだろうが、避難していると、これから先のことを考えないといけないですね...思考回路停止

国、榑葉町、東京電力への要望ありません。関係者の皆様に感謝しています。

もとに戻らない生活に不平不満をいったところで何も変わらないし、今後地震でまた避難はしたくありません。

0519 男性 60代

3月12日町の防災無線にて流される「早く逃げろ」の放送に、鞆一つに大事なものだけ入れ避難するが、どこへ行けばいいのかわからず役場に行ったが、人があふれるほどいたのでそのまま車の後をついていく。国道6号線は陥没や亀裂が入って通れなく、いわき浪江線を走る。30分でいけるところ、車で渋滞して125時間かかった。最初の学校には避難者が多く、教室内は身動きできないほど人がいた。学校がはじまるので次の避難所に移動した。体育館は狭く毛布は配布されたが多くの人が体調を崩していった。食べ物は冷たく体力が落ちていき風邪をうつされてしまった。救いになったのは巡

回してきてくれる医者や看護師だった。次の場所は会津美里に。環境の良いところであったが寒く、一週間くらいで肺炎で入院した。会津美里の病院の先生や看護師さんには大変お世話になった。また地元の人々に野菜などいただき励ましをうけた。

仮設住宅に入るまで一緒に行動をともにした人たちに大変助けていただいた。仮設住宅は狭く生活は楽ではない。榎葉町は除染が始まるが、納得のいくものではない。庭は数センチ程度しか表土をはがさず、家の周りの囲いの立木は枝打ちするだけときいている。国は賠償の基準をだしたが納得のいくものではない。東電や国は双葉郡をどうするのか聞きたい。町民は原発の完全な安全対策、年1mSv/h以下まで徹底した除染を望んでいる。若者が住めるまちにしてほしい。

0520 女性 50代

警戒区域見直しによって町への出入りは自由になった。やがて町民は帰るように指示される時期がくることは想定しているが、本当に町の機能が戻る可能性があるのか。除染の結果、改善されるのか、実は本当のところ確実ではないのでは？ 仕事は、今、いわき市でやっとの思いで、自分で探したもの。年齢的にも仕事を探すのは難しい。年月がたつほど、戻ってもなおさら困難ではと思うと、憂鬱になる。田畑の作業も体力面で問題が生じると思う。夫は生まれた土地ですから帰りたいのは理解しているが、私とは温度差があると思う。

0521 女性 60代

原発の収束もしていないのに町に帰そうとしているが、この先、何かあったら誰が責任をとるのか。病気など出てから騒いでも何にもならない。もっと未来を見つめて国や役場は動いてほしいです。

0522 女性 40代

の実家に避難中、部屋がせまくて大変。いわきのアパートは、2Kで父、母と主人で暮らしているが子供たちが帰る場所がない。広い家に住んでいたのになぜ私たちがこんな思いをしなければならないのか。

先のことを考えているが答えがでない。榎葉町に住むか、いわきに住むか。

榎葉にいた仲間達。

今出ているものではまったく足りない。

国と東電の偉い方に、榎葉町に住んで、私たちがどんな思いで生活していかなければならないか、同じ立場になって榎葉町に住んでいただきたい。

0523 女性 30代

借り上げをしているからか榎葉町の出来事とかの情報が入ってこない。役場の人たちだって、誰がどこに住んでいるのか情報がわかっているのだから、手紙や大事な書類などくれてもいいと思うのですが、なぜ仮設の人にしか情報がいかないのでしょうか？ 子供たちの学校も榎葉町だけできるのが遅いのはどうなんですか？

榎葉の学校には家から遠いため行かせることないですけど、少しは我々のことも考えてほしいし、子供たちにいじめなどの問題が起きたときはどう対処してくれるのでしょうか？ 誰が責任とってくれますか？ 今、親たちが守らなければどうなるんですか？ これ以上私たちの負担を増やさないでほしいです。

楢葉の役場職員に期待はしていませんが、腰掛職員はいりません。人数が足りなかったら、足りないなりに働いているところや行動しているところを住民にみせてみてはどうですか？ みんな苦労してお金を稼いでいるんです。もう少し、国や東電、役場職員は責任をもって働いてほしいものです。好きで仕事をなくしたのではない人の気持ちがわかりますか？ ローンを抱えている気持ちもわかりますか？ 楢葉への不満がつのるばかりです。

0524 男性 40代

財物賠償について。資産価値がなくなってしまった建物は最低でも当時の価値で全額補償すべきだ。価値のなくなった建物の残ったローンを払う身にもなってほしい。

0525 女性 60代

市の親戚に避難しているとき 市役所に相談に行き連絡をとってもらい、福島に近い 市の市役所に電話をしてもらい、雇用促進住宅があることを紹介され、昨年4月15日に来ました。

町のアパートに居住することにしました。5階建ての棟が前後にあり、私たちは後の棟の2階にありますが部屋が狭く来たときは耐えていけるだろうかと悲しくなり落ち込んでしまいました。

何にも持たず身一つできたのでまず買い物。布団、テレビ、ガスなどすべて買いました。そのうち、一時帰宅で車とりに行き持ってきました。

買い物もスーパーまで歩いて40分くらいかかっていたので、どうしても必要だったので、よかったです。そのあと町から支援物資がいろいろ送られ助かりました。そんなこんなとしている時、思い友達からもいろいろ電話あり同じだよとか聞き落ち着いた。でも、アパートにいる人たちは見知らぬひとばかりで話し合えません。何時に出かけ、何時に戻ってくるのかわかりません。こんな生活は初めてなので自分にいいかせました。8月10日解除の連絡が入り2回帰宅しました。やっぱり家はいいと、つくづく思いましたが、家の周りは草がボーボーで畑の草も恐ろしいほどです。何から始めたらいいか、以前のようにするにはどのくらいの時間を要するのかわかりません。でも家に帰れただけでも癒されました。これからも家に帰り少しずつ掃除その他片づけなどをし、希望をもって帰れるよう頑張りたいと思います。また 町の人で、大変親切な方で有名な神社、お寺など紹介してくれ、2人で神社・お寺をドライブしながら参拝しました。それなりにストレス解消になりました。ライフラインが整えば、家に帰れるでしょうから、隣近所の人とお話したいと思っています。その日が早く実現できるようにと切に思いながら...

0526 男性 60代

除染したものを入れる袋は、放射線が何%くらい低くなるのか。

放射性物質を入れた場合、線量は高くなるのか。

密閉して入れた場合、30年で半減するのか。

0527 男性 60代

財物賠償基準をもっとよくしてほしい。

私は60代になります。でももう住むところがありません。東京電力と国がなんとかしてほしい。

0528 女性 60代

榑葉町で生まれ育って 年。

あの震災の日までは自然豊かな町だったはず。

でも3月11日父の見舞いに 町の病院に行って病院から見たあの津波、カーテンがせまってくるように恐ろしい光景が今でも時々思い出す。夜遅く(10時か11時近く)家に着くと停電で真っ暗。役場のところは電気がついていたのでとがっかりしたことが昨日のこのように思い出されます。

3月12日の早朝に避難の指示がだされ家族と一人暮らしの義母をつれ、とにかく南へと逃げるようにして榑葉をあとにしました。

2,3日で家に戻れると思っていたので着のみ着のままの状態だった。義母も高齢で私たちとの避難生活は無理かと思ひ主人の妹、弟【略】に協力してもらい面倒をみてもらったが、残念なことに。

今年の5月に亡くなりまだ葬式もしていない状態です。

私の父も12月に亡くなり悲しいことばかりが続いた。この震災と原発事故のあった2011年3月11、12日、還暦の年になぜこのようなことが起きたのか、残念です。

とにかく放射能を早く除染してください。国、東京電力? もとの自然豊かな榑葉町で家族と暮らせる日を夢にみて今日も、これからも頑張るしかない。

0529 男性 70代

仮設住宅にいる人も人です、人間です、犬や猫でもありません。今年の春に榑葉町長の選挙があり現在の町長が当選したのだがいまだに一回も仮設には顔を出さず、人のうわさでは【略】。

でも今度の警戒区域見直しのことなどは国と東電のいいなりで自分の意見や町民の気持ちなど全然無視した行動だとわたしは思います。今週2回、一時帰宅を妻と2人でしたが、そのとき2回とも首につるした線量計がピーピーとなったので家からは何も持ち出せなかった。一時帰宅したことを悔やんでいます。

8月10日から自由に出入りができるようになる前に、各仮設住宅に化学雑巾を配り自分の家の床とか壁などをその雑巾で拭きとるよということは放射能が床だの壁だのに付いているから化学雑巾を配ったのだと私は思うのです。そういうところに自由に出入りをしているという町長の気持ちがわからない。町長とは町民の生命と財産を一番に考えるべきだとおもいます。

財物賠償のことでいわき市の東電に相談に行ったが、いわき市の相談所では何事も東京本社の方に相談してからでないとだめみたいでどうしていわきで解決できないのかもどかしく感じました。榑葉町の町長にはもっとしっかりしてもらいたい。これが私の気持ちです。

0530 男性 60代

・借り上げ住宅などの家賃を、3年間を限度としないで帰町するまで無料にしてほしい。警戒区域見直しによって他町と比べ、補償などが悪くなるのではないかと不安です。

・高速道路の無料化も9月30日でなくなってしまうと遠くに避難している私たちにとって町に通うこともできなくなって

しまします。好きで遠くに行ったのだから仕方がないんだという人たちもいますが、引っ越しを何回もしたくないし、帰町できるまでは、現在の地にしようと思います。

全員が帰町できるまで高速道路の無料化を継続してほしいです。

0531 女性 60代

避難中に家族2人を失ったり、今後子供たちは放射能が不安だからと、孫を連れて帰れないというし、一人では、老人なので買い物、医者その他不便なことばかりで不安で帰れない。

町にあるリリー園【老人福祉施設】を早く立ち上げてほしい。都会の老人ホームは今の年金では入れない。不安で仕方がない。今の生活のなかでは、いつ自分の具合が悪くなるかわからないから、考えれば考えるほど次々と心配事ばかり思い浮かんでくる。薬ばかりが頼りの毎日である。

0532 女性 50代

子供たちが帰らない家を直して生活(お金をかけて)、修理はいかがなものか。

少しの金をつかってまで、つかってしまったら自分自身の老後が心配。

全国の方の支援物資など励まし。

住宅ローンの残りはどうすれば？

先が見えません

0533 女性 60代

家屋の被害の半壊、全壊はだれが見て決めてくれるのですか？ 放射線のためです。

畳が真っ黒で床が落ちております。カビときのこがはえております。

避難生活も疲れています。東京にいる孫にも檜葉にはいかないよと言われました。がっかりです。

0534 女性 70代

生活音が気になり、朝が早く、勤めのため弁当2人分つめるのに【70代】にもなると時間もかかるので3時ごろ起きないと間に合いません。2人で住んでいる隣には1人の人でなく、2人3人の人を住んでもらえれば気を使わなく弁当つめできます。

私も6か月ほど頑張ったんですけど、帯状疱疹、メニエールなど。胃も悪くなり【仕事を】やめました。できるだけ夜用意できるものは用意してやったんですけど...すごく気を使われました。せっかく苦労して覚えた仕事でした。覚えるまで4月もかかったんです。残念です。

いわきは病院がいっぱいあるので大変助かります。

生活するのもいわきはいいですけど....

檜葉にも帰りたいたいし...自分の家をなおして!!!

0535 女性 60代

各家の外に水道があったらよかったと思う。不便です。

0536 女性 30代

どうして除染もなにもできていないのに見直しをしたのか。普通は全部ととのってから帰る方向に進んでいくのではないか？ 原発が収束していないのに、区域見直しを行うのは早すぎると思う。アンケートをとって、意見を述べても、全部受け入れてもらえていない。

家、土地などを買い取ってもらいたい。住める状態ではないので、新しいところで生活できるよう補償してほしい。区域見直しとなったからといい、補償からはずされては困る。環境、住むところ、仕事が変わり、ストレスがたまる。国は安全だというわりには双葉内へ入ろうとしない。きて、見て住んでほしい。

双葉郡の人たちを実験台のようにするのはやめてほしい。何を言っても変わらない感じがします。言うだけむだになってくる。このアンケートを生かしてほしい。

0537 女性 60代

一日も早く楢葉町が震災前の町にもどれるよう除染・ライフラインを一日も早くしてもらいたいです。早く楢葉に帰ってもとの生活をしたいと思っています。

0538 男性 60代

除染して年間の被ばく線量を1ミリシーベルト以下にするよう努力すべきである。1ミリシーベルト以下にならないと楢葉町での生活はできない。また、除染も行わないうちに区域見直しは早すぎると思います。

0539 女性 70代

計画策定されたものは早急を実施してほしい(工程表の必要がある)。

0540 男性 60代

だんだんと時が過ぎると避難している人たちもあまりいいことは言われなくなってきています。相双地区の方々は何も悪くないのに何のため、誰のため家を追われ、職をなくし、人を亡くしの生活をしているのか？

除染するといっても山河が多い地区、まずはインフラを整備するにしてもその水は山からです。

除染もしてない、家を建て替えるお金もなく国もそうだし東電は誰一人会社を辞する人なく次々と天下り職に就く。

避難している我々は国の東電のモルモットではないことをしっかり理解してほしいし、早く財物賠償も買った時の金額で考えてほしい。

みな思いは同じです。

何年もすまない家は朽ちるだけです。

0541 女性 50代

頼りにしていた夫が避難中に急に亡くなってしまった。一緒に暮らしている娘が賠償などの対応をしてくれているが、

その娘もまだ 20 代なので櫛葉にもどって生活させることはしたくない。しかし、田畑などの土地や家、お墓などがある櫛葉に戻るよう夫の兄弟に言われた。戻るにしても戻らないにしても問題が多いのでそういったことを相談できるような場がほしい。

0542 女性 50 代

十分な賠償もされず、東京電力は誠意もなく、国はすでに原発事故の被災者を見捨て、いい加減な除染で帰町を促している。このようなアンケートをとるのもいいですが双葉郡へ行ってみてください。住んでみてください。おそらくできないでしょう。

0543 女性 30 代

震災から 1 年 5 か月がたち、世間から原発被害で復興できずにいる双葉郡が忘れ去られていることが悩みです。お金では得られない幸福を失っているのにわかってもらえない。世間から忘れ去られないためにも、私たち自身が現状を訴えていかなければならないと思う。

0544 女性 30 代

原発の事故以来ずっと主人が単身赴任です。私も子供たちもなんともいえない心細さを感じています。私が勤めていた会社も からいわきへ移転してしまいました。会社へ通うために家族と離れて暮らす方も大勢おり、皆慣れない環境や変わってしまった生活に疲れてしまっています。

友人、近くに住んでいた両親、職場の同僚。習い事の仲間。みんな離れ離れでもう元通りにはなりません。たくさんの人間関係を一度に断ちました。

原発事故も収束などはしておらず何も変わらぬまま一年半です。先の見えない帰町に期待するよりも、今の生活を安定させることに必死です。

津波で家をなくした上に、土地を汚されて追い出されどうしたらいいのかわかりません。せめて新しい土地で再出発ができるような支援をお願いしたい。原発のある場所に帰れと言わないでほしい。子供を持つ親の多くがそう思っているのではないのでしょうか。

0545 女性 50 代

ほんとうに家に帰って生活できるのか？ 解除され一度家に入ったが、足の踏み場もないほど物が散乱して屋根瓦は落ち、雨漏りして、カビ、ネズミのふん、どこから手を出していいのか、頭が痛くなったり、気持ち悪くなった。数十分中にいただけでした。自分は帰町したくないと思いました。

0546 男性 60 代

- ・【借り上げ住宅でいわき市の広報誌が来ていないため、本日の当番医が不明で困った。
- ・救急車を呼ぶ場合、携帯電話で可能かどうか心配だった。
- ・財物賠償について説明をうけていないので不明だが、以前浪江町の砕石業者の汚染資材や二本松市のゴルフ場の無生物

問題、宮城県産ペレットの残灰から放射性セシウム検出など諸問題があるなか、自宅の暖房や給湯の燃料となる薪やシステム変更に伴う費用の賠償、趣味で収集した盆栽や山野菜の賠償、それから盗難被害の賠償などいろいろ言いたいことがある。賠償は公正、公平を原則とすることが大事であるが、東電には相手を思う気持ちがない。事故の原因であることを自覚してほしいと私は考えます。

以前の生活にもどれば何の文句もありません。

0547 女性 40代

いわき市内の借り上げ住宅に住んでいて、いわき市の方々には大変お世話になっています。

ただ、一步外にでると、「相双の人！ 原発の避難民！ 補償もらって生活している!!」。厳しい目でみられ、言葉でも言われて肩身の狭い思いをしなければならぬ現状で働くにも働く勇気がなくなってしまう。私たちはなにも悪いことはしていないのに!! 病院に行ってもお金がかからないので会計のところで避難民と知られてしまう。いっそのこと、いわき市に税金を払ったほうが住みやすいのでは...と思う。

実際檜葉の役場の方も大変だと思う。心の病気にもなってしまうと思う。町民が避難のストレスでわがままになってしまう点もある。

東電はどこまでいってもなにをしても守られている。福島県民を何だと思っているのか？

0548 女性 40代

いわき市は住宅を探すのがとても困難なため、場所も選べずいわき市内のアパートへ移り住みましたが子供が7歳なのでアパート生活はとても苦痛です。土がある、生活音を気にしない住宅へ移りたくても困難。

原発はもういらぬのではないですか。みなさん、実際に自分がこのような事故にあわなければわからないでしょうが起きてしまったからでは遅い。絶対大丈夫なことはないのですから。

0549 男性 30代

帰る帰らない個人の意見を尊重し、それにみあった十分な賠償をしてもらいたい。

帰ろう帰ろうと呼びかけることだけが復興だとは思えない。

0550 女性 70代

東京電力については安心、安全だと常に話しておりましたので、東京電力さんを信頼し、安心して生活しておりました。ところが地震、大津波で東京電力の大事故により避難生活を続けなければならない現状で大変困っております。早く除染して一日も早く帰還できるよう復興に取り組んでいただきたいと思います。

警戒区域見直しで家に帰ってみれば草は背丈ほどに伸びて、家の中はネズミがはびこっていて、あっちこっちかじられてすごい有様。お歳暮、年始などでいただきものの酒、ビール、油、しょうゆ、その他いろいろ賞味期限も切れもうどうしようもない有様。鉢植えは全部枯れどこからどこまで見る影もないほど荒れ放題。

このような事故は二度と起こさないようにお祈りいたすところです。お願いいたします。

0551 男性 50代

震災により自宅に帰れなくなってしまった。地震だけならとっくに戻っていただろうに、でも津波がきたのだから、仕方がないかとも思った。東電を恨めしく思う反面、大変だろうなとも思った。でも今は、東電は避難者のことを本気で心配し、申し訳なく思っているのか、信じられない。それは先日まだ水も出ない状況なのに家屋の修繕費の一時払い請求書を送ってきた。どこから調べたのか自宅のローンの借入状況まで勝手に調べて金額を提示し差額が生じた場合、ほかの請求にて調整すること、何を考えているのやら。

また、一時帰宅の際も初回は本当に申し訳なさそうに丁寧に教えてくれ対応していたが、回を重ねるごとに「もう知っているだろう」という感じがありありで何かたずねると一瞬「えっ!!」という顔をして、その後はっとしたかのように態度を改める。賠償センターに電話して書き方を聞くとたまに切れる人もいてなぜ私が怒られるのかと疑問に思う。1,2回目とすべて領収書そろえて請求書提出したのに、3回目1枚領収書がないのもう一回提出してくださいだの、時間の経過とともに賠償の気持ちもうすれてきているように思い、このまま見捨てられるのかなとも不安になる。自宅の除染も畑は土を削り取るだけとのこと。確かに面積が広いから無理はわかるが庭につながった畑の土を削られ、庭のみ砂利を入れてもらっても大きな池ができたようでどうなるのか、どうやって住めるのか。やってみないとわからないことだが...いろんなことがあり、働きながら対応していかなければならない。

なんかわけのわからないことを書いてしまいすみません。うまく表現できません。

0552 男性 30代

原発問題が解決しなければ不安で町には帰れない。富岡町、大熊町などがまだ汚い町なのに楢葉町に帰るのは考えられない。震災前と同じようにならなければ町には帰れない。

0553 女性 60代

アパートの設計上、洗濯物および布団など、外に出す場所がなく大変不便を感じている。

避難先(県)の住民の方からの励ましの言葉や物資の提供など、感動やら感謝の気持ちが心の支えになった。

0554 女性 60代

- ・ 帰りたいけど帰れない、除染もしていないのに健康はだれが補償してくれるのか？
- ・ 生まれ育った楢葉町を簡単に見捨てられない。でも変わり果てた町にすぐには帰れないし、自分の年齢を考えると不安だらけ。
- ・ 一年半で我が家のあまりの変わりように、すごく心が痛む。
- ・ 除染を進めるといってどれほどになるのか、これが本当に戻るのか？戻れたとしても何十年も田畑、自分のやる事が何一つできないことが悲しいし、全部買い占めて生活するのは経済的にも苦しいと思う。
- ・ 子供のことを考えて息子夫婦は不安だらけとのこと。生活していくには仕事も安定していないと無理とのこと。私も同然と考えるが、今までひとつ屋根の下で暮らしてきたものが別々に暮らすのはなによりつらい。このような毎日の不安のなかで糖尿病も落ち着きが悪く、夜もぐっすり眠れる日は一日もなかった。正直あたまではわかっていてもお互いの不安がそうするのだと思うが、主人とも話が食い違い、けんかになることが多くなってしまふ。なぜこのような人生

になってしまうのが残念です。本当に一日一日大切に過ごさなければならない人生なのに、悔しい...

- ・仮設に入っている方は情報が早かったようですが、で暮らさなければならない者に対してもう少し考えて理解をしてほしいです。

0555 女性 50代

20km圏内は若者がかえってこないのが、双葉郡を一つの町としてふたば町にすればいいと思います。

0556 男性 40代

未だに納得いかないのが、勝手にがれきを片付けて、敷地内にがれきの山をつくって、住民に対して説明がないことである(片づける前の被災した景色をもう一度見たかった)。

最近津波の被害者に対して町は何も情報を発信していないと思う。町民平等だと思うが、津波被害者は家のある人より二重被害なので、サポートが必要だと思う。

故郷に戻って再建したかったが、短期間で再建は難しく、子供もいるので帰町はあきらめた。

0557 男性 60代

何も強く要望することはありません。23.3.11.以前の状態に早くしてほしい。

最低でも人の住めるために頑張ってほしい。

賠償の問題は一律、生活できるくらい補償してください。

0558 女性 50代

財物賠償の件について

築年数では困ります。10年前にリフォームしたので基準を考えてもらいたいです。

0559 男性 50代

20km圏内は若者が戻らないと思うので双葉郡をふたば町にしたらどうか。帰町については除染の効果次第。

0560 女性 40代

楢葉に帰るつもりはないが残された家、宅地、山、畑はどうすればよいのか。国は帰らない人たちにも生活がおくれるようにするといっていたが先が見えない!

各自の家の中も除染を行うべきである。たまにしか帰れない人間が広すぎる家の中を掃除するには限度がある。

掃除するにしても時間やガソリン代などかかる。

0561 女性 20代

避難してから1年5か月かかりました。仮設住宅で暮らしています。いまだに健康診断も行われず、放射線を低線量ながら浴び続けている私たちの不安はどうすればいいのですか？ 私はこのアンケートの中で疑問に思ったことがあります

す。どうして健康の不安に対する質問はないのですか?? 私たち若い女性は妊娠、出産という大きなイベントがある中で被曝し続けている。もし生まれてくる赤ちゃんに何らかの障害があったとき、国、東京電力は、責任をとってくれるのですか?

この思いは誰にぶつければいいのですか...

賠償 = お金をあげてるんだからなんて思われてるんじゃないかと思うと腹立たしくてなりません! 仕事も失い、家族とも別々に暮らし、家族を亡くし、友達とも離ればなれになったこと、すべてのことにおいてお金で買うことはできないのです。この約2年間という月日は私にははっきりいって絶望しかなかったです。楢葉町は、ふるさとです。ですから、何十年かかるかわからないけど、原発事故前と同じ線量になったら帰ります。

0562 女性 60代

今のところ東電から賠償金うけていますが、家へ戻ったとき、あらゆるものを揃えるのにまたお金がかかる。家からでたごみを除染の前でも早く片付けてほしい。

0563 男性 60代

国は避難生活している方を早く帰すことしか考えていない。
東電は自分たちが出した事故を他人事としか思っていない。

0564 男性 50代

子供の教育も終わり、もうすぐ定年という年代なので、楢葉に絶対戻って住むという感じにしてほしい。そうでないと利便性の良い地域へ住んでしまいそう。

天神岬の温泉の充実をはかり、せめてある程度の年代は確保するようにしてほしい。
そうすることで子供や孫も戻ってくるように思う。

0565 女性 60代

お墓が にあります。一度も見に行くことができません、心配しています。

0566 男性 60代

・国、東京電力にお願い。
楢葉町を全面的にバックアップして一日でもはやく帰れるようにしてほしい。
医療、交通、スーパーなどを一日でも早くできるようお願いをする。

0567 男性 30代

楢葉にある自宅にはもう住めない。もし楢葉に災害公営住宅ができるなら、一戸建て風に周りの音が気にならないように建ててもらえたらと思う。

たった一回しか説明会を開いていなかったのに急に区域見直しが決まった。決める前にもう1回くらい説明があっても

よかったのではないかと思う。

0568 男性 20代

国、政府がどうしてもゆるせない!! 我々檜葉町民の前に出てきて【きちんと】謝れ!! 【覚悟を決めるように】!!

0569 女性 70代

原発が安定していないのに町に帰町とは考えられない。

絶対に何も無いという保証がどこにあるのか。除染というか、完全な除染など可能なのだろうか。不安を抱えたままで町で生活するよりも、別の場所へ、お金があるなら移住したいと思う。以前と同じ生活ができないなら、あきらめたほうがまだましだ。中間貯蔵施設も双葉郡が受け入れないでほかにどこが受け入れるというのだろうか。国は余計な除染と税金をかけるなら、双葉郡を全部買い取って中間貯蔵地域を作るとしてもらったほうがまだ納得がいくと私には思える。

0570 女性 20代

檜葉町が好きなので、いつかは帰りたいと思います。

復興活動頑張ってください。よろしくお願いします。

0571 女性 40代

長期の避難生活で家族5人、せまい借り上げ住宅に住んでいるが、プライベート空間が全くなく困っている。長男は夜勤の仕事をしているので昼間静かに寝るところがなく精神的に辛そう。

長女は高校受験で勉強する個室もなくまったくプライベートな空間もなく苦痛な毎日を送っている。このまいつまで、この避難生活が続くのか、先の見えない毎日でもとても不安な日々を送っている。一刻も早くこの避難生活から抜け出したい。

0572 女性 60代

現在仕事はしていないのですが、避難生活をするようになってから、年寄りの世話をしたり孫の面倒をみたり情報収集したり、用事が増えて忙しい毎日を慣れない土地で送っております。一日でも早い復興を願っています。

0573 男性 50代

海も川も魚を釣って食べてはいけません。山菜を採って食べてはいけません。キノコを採って食べてはいけません。木の実やキイチゴは食べられません。イノシシやヤマドリはとってもいいけど食べられません。でも除染するから人間は住んでください。

これが行政の現実です。

自然豊かな檜葉町の現状です。

0574 女性 50代

今までも集会などでいろいろなことを発言してきたがどこにも届いていないことがよくわかりましたので、しばらくは成り行きを見守り、自分なりに再建できるようにしていかなければ...いろいろなことが何も進まないと思われされました。

なので要望することは多々ありますが、願望が強い分失望も大きいので、そのストレスで今まで体調がすぐれなかったと思います。町の除染よりも今、他町村で生活するストレスから早く解放されたいと周りの友達と話しています。なによりも人間第一に考えています。

0575 女性 30代

檜葉に帰ることができてても今の家には住めない。建てようにもまだ資金がなくて厳しい状況。檜葉に仮設住宅などができるなら、となりの人との距離をあけてほしい。除染が終わったら町の人に戻ってくるのか。小さな子供のいる世帯は厳しいと思う。

0576 女性 60代

夫婦とも高齢なので先のことが不安です。毎日がとてもつらいです。

0577 男性 50代

震災前、町で自営業をしておりました。原発の事故から1年半になろうとしています。家を追われ、町を追われ、仕事を失い、見通しも全くつかずに時間だけが過ぎていきます。就職の決まっていた子供も職に就けないでいますし、【小・中学生】の子供は転校という現実で苦しんでいます。震災だけならもうすべて元に戻っていると思います。

家族がそれぞれの立場で苦痛に耐えて生きています。これから先どこで何をして生きていったらいいのかわかりません。帰りたくても帰れないのです。高校受験を控えている子供を抱え心配なことばかりです。

「避難指示解除準備区域」ってなんですか？ 何も変わっていないではありませんか？ 壊れた町は戻らないんです。水も土も心配で、帰る気持ちにはなりません。失ったものと同じものを返してほしいです。私たちはいつからどこで安心して暮らせるようになるのですか？

国と東京電力には、仮設住宅で生きなければならない厳しさと苦しさをきちんと受け入れてほしいです。仮設に押し込んで終わりにしないでください。

皆、自分の家を持ち、働いて、普通の生活を送っていたのに、間に合わせの場所に入れられて生きていかなければなりません。まとまった資金もないので仮設から出たくても出るわけにもいかないのです。高齢の方は「ここで一生を終えるしかないのだろう」と語っています。なんとつらいことでしょうか。不安と不満、心配、悲しみで眠れない日々が続いています。人間らしく暮らしたいです。すべてを失ったのです。財物賠償もこれからなので心配です。町に入れるようになり心ない人たちによる侵入によって家が荒らされるのではという心配もとても大きなことです。願わない方向に決められるのは本当に困っています。残っている住めない家のローンのことも...

心配なことばかりです。毎日忙しく働いていたのに仕事ができなくなったので病気になるのではないかという心配もありますし、50代で自営業の私どもに再就職ということはなかなか難しいし、仕事を再開できないことはものすごくつらいです。

0578 女性 40代

檜葉町も大熊その他の町と一緒に思う。

0579 女性 10代

避難場所が転々として居心地がよくなかった。上水道の復旧が早いととてもうれしいです。

高齢者宅での雑草抜き、掃除はとても大変だと思うので、ボランティアなどの人材がいれば安心だと思います。

0580 女性 70代

いま私は に住んでいます。檜葉の家に帰りたいのはやまやまですが、瓦も壁も落ち、家の中はめちゃめちゃです。それをリフォームするとなると、大変なお金がかかりますので、檜葉の家に住むのをあきらめました。一日も早く東電に買い取ってもらい気持ちを楽にしたいと思っています。お互いにあまりごたごたすることなく和解できる方法を教えていただけたら幸いです!!

0581 女性 60代

・昨年の11月ごろ仮設の戸がしまらないため受付の窓口に頼んだのですが、今現在修繕に来てくれません。申し訳ありませんが頼まれたことはきちんと伝えてほしいと思います。

0582 男性 40代

子供がいるので当分帰ることができません。財産物はすべて補償してください。

0583 男性 60代

立教大学は東大みたいに東京電力村の一員ではないですね。もしその場合にはこの調査は破棄してください。京大にたのみます。

0584 女性 60代

復興にはかなり長い期間を覚悟しなければならないと思いながら、もてあますような日々早く先がみえるようになってほしいと願わずにはいられません。

その努力だけではどうにもならない現実から早く抜け出して少しでも希望のもてる生活が送れるようになりたい。

0585 女性 40代

年老いた父親の面倒をみていくうえでの不安。少しでも近くで生活をしたいといわきに住むところを探しても空きがなく、聞くところでは物置として借り上げ住宅や仮設を利用している人が多いので、ある程度の把握をしてほしい。

0586 男性 50代

国及び楢葉町はインフラ、除染、賠償どれに対しても後手後手で本当にいらいらします。今の状態だとあと5~6年は帰れないような気がします。一度原発を爆発させ放射能をばらまき、私たちが家を追われることになったことに対し一生面倒みていただきたいと思います。

0587 女性 50代

今まで経験したことのない事態に正しい情報がほしい。

原発の収束がまだなのに住民を早く帰そうとしている。

現在東京都の借り上げ住宅に住んでいるが東京都相談センターが定期的にいろいろな情報提供してくれるので大変感謝している。

離れて生活していると帰町への意識がだんだん薄れていくのが感じられる。

0588 男性 60代

仮設住宅に来て以前のように地区内の人が少ない交流がない。親しくしていた人たちの連絡先もわからないので富岡町のように町民の避難先がわかるようにしてもらいたい。

0589 男性 40代

警戒区域が見直されて精神的な苦痛が増した。(不審車両の増加に賠償金額の減少)

0590 女性 30代

悩み

原発避難者へのねたみやバッシングがある。

避難先に申し訳ない気持ちで暗くなり、気がめいる。

【乳幼児】がおり、避難が続くと思うが、悪口を見聞きしてしまう人づきあいが怖い。

0591 女性 50代

仮設住宅のこと。大人3人家族なのですが4,5畳2部屋では本当に大変です。ストレスがたまります。

除染しても楢葉町に戻れないと思います(広野町がそうです)。

あなただったら住まれますか？

賠償、不動産の買い上げしてもらいたい。一年半も家を離れていたのが家のなかめちゃくちゃで、地震だけだったらそこまではならなかった。原発事故、国は責任をとってほしい。

町は帰町することばかりで、役場、役場職員、町には頭にくることばかり。老人ばかり帰り若い人が帰らなかったら町は成り立たないと思う。3.11以降、そんな町(の顔)をみたら楢葉町に戻れない。双葉郡が全員一緒に帰るなら考えたい。

警戒区域を見直したからといって、除染もしてない【楢葉町から】いわき市に車が入りするのはちょっとおかしい。

0592 男性 70代

・財物賠償について

登記されてなければ対象にならないとのことで困っております。不動産登記されてなくても固定資産税、家屋税はおさめております。被災するまで居住しておりました。対象とならないと町へもどって家をなおすことができないので、この問題は全部に一律であって当然と考えます。

0593 女性 50代

家族の間でこれからの生活基盤をどこにするか意見が分かれている。高齢者は帰りたがっているが線量の高い には子供世代は帰らないと言っている。

主婦であるわたしも生活するのに不便な櫛葉には今はまだ帰る気になれない。借り上げ住宅の援助をもっと延長してほしい。できるだけ今の生活を長く続けて時間をかけてゆっくり考えていきたい。

心の支えはペットの猫と家族においしい食事を作ってあげることです。それに【集落】の人たちや以前の職場の人たちとの交流は、精神的に安定するので大切にしています。

0594 女性 70代

- ・貸し菜園、心の自立に役立つものがほしい。
- ・国、町、東電は事故の原因と責任を明確にすべきです。県は消極的すぎます。
- ・物資面から、心のケアのほうへ支援の方向を転換すべきです。

0595 女性 70代

今日現在まで家族で支えあい、できるだけ不満をさがしださないことをモットーに過ごしてきました。それが物心両面で自分を支えてくれる原動力になると信じているためです。

年齢的にはそう先が長くないことを痛感しています。できることなら自宅で最期を迎えたいと願っています。とにかく復興は前向きに、現状は正確に伝達し、不安をあおることのないようにと願ってやみません。

0596 男性 40代

東京電力第一発電所にはまだ使用済み核燃料が残されています。それなのに区域見直し、除染、帰町とばかり話すすんでいます。使用済み核燃料が処理され原発事故の完全収束の確認がなければ若い人は帰りません。町民を帰すことばかり考えていないでしょうか？ 3.11.以降の国、東京電力の言動をみっていますが、嘘ばかり、何を信じればいいのか？

避難先で私たちは原発乞食とまで言われ、同じ人間と思われていません。日本国民としてもっと人間らしい生活がしたいです。

0597 男性 60代

今仮設住宅に住んでいますが隣の声とか物音がすごいです。話し声とかはすべて聞こえています。防音の措置をしてください。仮設住宅にも差がありすぎます。

0598 女性 60代

仮設の天井が低いせいか部屋が暗く感じる。

仮設の外に出て人と会話するのがおっくうです。

支えになったことはないです。むしろ精神的につらいです。

具体的に財物賠償基準のはなしはでてないですよ、人からの口伝でしか聞こえてきません、不安です。

首相の収束宣言を聞いて(ニュース)から期待できなくなりました。なぜ見直しが必要なのでしょう？ 東京電力のトップの人たち、実際に避難生活を体験してみてください。仮設では食事と寝ることだけなのでから。

0599 女性 60代

3月11日、着の身着のまま避難して現在に至るまでたくさんの方々に温かい支援をいただきました。今まで自分の身にこんな生活を送らなければならない日がくるとは想像もしていませんでした。

避難の際、もうすこし詳しい指示がでていればこんなに不自由な生活をしなくてもすんだものを、ということがたくさんありました。

また賠償をいただいているからと言って私どものような高齢者には新しい仕事もなく、災害前には農業で野菜、切り花、自家米で餅をついて直売所に出荷していた生きがい、励み、喜び、一切のものが奪われてしまいました。今の状態は食べて命をつないでいるに等しい状態です。一番はやる気のなくなることです。

1年6か月近く留守をした我が家に行くと、ごみの捨て場も水も下水もなく田畑に雑草が茂ってよその家との境もどこにあるかわからない状態で、帰宅してもどこから手をつけていいかわかりません。

長男家族とも同じ屋敷に住んでいたのに、今は離れ離れで孫にも思うように会えません。孫は年少なので櫛葉に戻ることも現在では考えていないようです。茨城に嫁いでいる娘も4月に出産したのに、【実家が】仮設とあっては里帰りもできずにいます。

私ども高齢者にとって、体の動いて働ける日時というのは限られていて本当に貴重な時間です。早く我が家に戻って誰に気兼ねすることなく手足を伸ばして寝てみたい。

田畑に作物を作りたいという気持ちと、帰っても若い人もいない、作ったものも売れない、売店や医療機関ももどらないのではという裏腹な気持ちもあります。今はせめて誰の世話にもならないで健康な体でいれるように、気を使って暮らす毎日です。

0600 男性 70代

東京電力は国随一のひどい会社である。人を人と思っていない、嘘はつき放題、町民は信用していない。

何代も続いた家を放射能のために出て、今は仮設住宅暮らし。この生活は東電社員、国会議員はわからず。今の仮設生活は月額10万円の賠償と生活費をいただいているが、今年の8月までは体育館や施設に毛布1~2枚の寝具、寒いので店に行って段ボールをいただき、床に敷いて寒さをしのいだ。食事はコンビニで売っている半分の大きさ【のお弁当】を一日1~3個食べていた。今までのことを思うといばらの道だ。

8月10日、警戒区域から準備区域になったが賠償などについては進んでいない。家には帰れるが寝ることができない。除染はこれからされるようだ。水道は飲めない、出ない。下水道は利用できない(おおむね2年かかるようだ)。

日中・夜間の見回りはしているが不満である。ほとんどの家には空き巣が入っている。

震災前は田んぼや畑をしながら春は山菜秋はキノコを採りに行き、その間、海ぶり川ぶり(アユ、ヤマベ、イワナなど)を楽しんでいたが、家に行けるようになっても楽しめず。

地元の野菜など食べていたが、今は県外(一部市内)のものを食べているので、食生活も変わりました。このことが、夢も希望もないというのが残念でならない。

0601 女性 70代

東京電力の対応が悪い。

国、町の除染に対応が悪い、遅い。

0602 男性 70代

長い避難生活で具合が悪くなって2回40日ほど入院して、自分が運転できないため交通面に困りました。月に一人10万の生活費も足りないです。

病名は糖尿病です。避難生活で毎日、カップめんとパン。食べ物で病気になりました。本当に困りました。生活も疲れています。東京電力は口先だけ。信じられません、月に10万円生活は切り詰めています。

0603 男性 60代

財物賠償基準について、23年3月11日現在住家として住んでいたのですから、その家が、家主が違う建物であっても(名義)財物賠償から外されることのないような基準でありますように。

世界の平和は楢葉町から!!

0604 男性 20代

家族が仮設生活で大変な思いをしている。自分も今後の生活に不安です。家があっても不安で、楢葉町には帰りたくない。若い人たちは帰らないと思う。

そしたら老人ばかりの町になってしまい、いつの日か誰もすまない町になってしまうのでは？

東電、国には今後の生活支援は続けてほしい。

0605 女性 60代

病院で「楢葉町や双葉郡の人がいるからいっぱいでしょうがない。早く帰ってほしい。」と待合室で話していたのを聞いたので、いわきの人たちに迷惑がられているんだと思った。

買い物をしていても人がたくさんいて買いづらいと思われた。

道路も避難者が多く、道路が混むのも避難者のせいだと思っている人も多い。

楢葉からきていると言ったらそっぽを向かれた。

広野や楢葉の人には早く帰ってほしいと言われた。

東京人に放射能を持ってこないでと言われた。

東電から賠償をもらっていていいねと言われたが、和牛を 30 頭以上、国、県に殺されてしまった私としてはとても悔しいです。榎葉町に戻っても牛小屋、牛舎ががらんとしているので悲しいです。

0606 男性 60 代

慣れた場所に戻りたいという気持ちと自然がなくなった場所に戻って何をするのかという気持ちがいまも相対しています。ただ人がいるだけの町だったら私には必要ないのかもしれませんが。孫が遊びにきたときに海や川や山へ連れて行けるような除染ができるとは思えないので今は複雑な心境です。

0607 女性 40 代

会津の仮設からいわきの仮設に来て間がないので道路がわかりません。毎日大変な思いで車の運転をしています。これは住みながら覚えていくしかないと思うが、どうしてこんな思いをしなければならないのか、本当に腹立たしいです。借り上げ住宅も見つからないし、小さな仮設をあてがわれても収納は少ないし、気は使うし、毎日気分がめいります。何もやる気が起こりません。

0608 男性 60 代

避難生活において、仮設住宅を作っていただきお礼申し上げます。部屋が狭いのがせつないです。いろいろなものをもってこれない、並べておくことができない!!

また、私たちの家族が榎葉町に帰っても住める家がないので住宅などの提供もお願いしたい。事故のない町での生活を願っています!!

国や東京電力さんも頑張っていますが、より一層の働きを心より待っています。

0609 女性 60 代

粗大ごみ、缶、生、プラ、紙、布のごみが想像以上に多すぎて片付けがなかなか進まないの一日も早く場所、収集の方を進めてほしいです。

0610 男性 30 代

全情報開示。

国、東電サイドがそれぞれ持っている情報をすべて知りたい。

0611 女性 20 代

将来いわきで生活するつもりだが、土地や家、アパートの家賃が以前に比べてすごく高くなっている。その中で探すのはとても難しい。このことに関しては子供もいるので不安です。

あと、避難者のマナーが悪く、もともと住んでいる方たちが持つ避難者のイメージがとても悪い。普通に生活している私たちはとても迷惑だなーと感じます。避難したころはとても謙虚だったのに。

0612 女性 60代

今月、区域見直しにより東京電力から、建物の修復費用に賠償額が記入された書類が送られてきたが、その金額では我が家の修復は無理だし、年老いた老夫婦に、借金をさせるようなもので、東京電力にはつくづく嫌気がさす。見合った金額を出すべきだと思う。

0613 女性 50代

家族が仮設生活を嫌がったためアパート借り上げしていますが、ワンルームのため同居は難しく、ほかに空きができるときいても駐車場がなく、引っ越しは無理でした。小さい孫と介護者を見ますが、大人は帰町できて子供は幼いので不安で、近くまで戻りたくても一人の問題ではないので決心できない(現実的に...).

今の避難先の方が大きい病院が10~15分くらいのところに2~3件あり、対応も早いので地元に戻るより安心なこともある。

0614 女性 60代

檜葉町に帰るので、高速無料化が9月で切れるのを、いつまでもタダにしてください。檜葉にはあと何年で寝泊まりできるんですか？ それまで高速をタダにしてください。

0615 女性 50代

インフラ、除染を先にやってから解除すべきである。

0616 女性 50代

住宅の室内清掃用に化学ぞうきんが配られましたが、これだけの枚数で清掃し、除染計画にある清掃ポイントの流れにそって室内をふきとるには足りなさすぎると思います。家の大きさや広さをどのように考えているのか理解できません。室内片づけ支援にも不満があります。65歳以上の世帯のみ東電のスタッフがお手伝いするらしいですが、我が家は息子がこの事故で県外に転職をしてしまって、男手が全くありません。一人で清掃しなければならない家庭もあります。

檜葉町災害対策部から現地に化学ぞうきんを送ってきましたが、これを使用するにはわざわざ電車に乗って、わざわざ重い荷物を持っていくことになります。なぜこんな不便をしなければいけないのか、情けないことです。

町からの説明不十分なまいきなり避難解除だったのでとまどいました。我が家に宿泊もできないのに遠方からでは時間もなく清掃など無理な話です。住民への配慮がまったくないと思います。

除染が終わり、ライフライン、インフラが整ってから解除してほしいです。

0617 女性 60代

いろいろなところから、アンケート、調査があり、うんざりしています。並んでいる言葉、どれにも当てはまらない。少し違うんじゃない、ずれてるんじゃない...

いつもやりきれない空しさを感じてしまいます。

何かのためになるのかと思い、返信はしているのですが知人がテレビの映像に頻繁にでるのも異常、花火を見て涙を流

す自分も異常、仕事に専念して身体にダメージを与え眠る毎日も異常。

決まった住むところが(ここだと思える)ないと、何も決められないし、生活も落ち着かない。

見直したとか言わずに何年後にはこの地域はインフラも回復し、その他もろもろの悪条件もなくなったから、どうぞ帰れますよとなって初めて声をかける。中途半端な状態でいわれてもどう生活を見直せばいいの。富岡、大熊、浪江は機能していないんだし、職場だっていわき方面にしかないことだし、どうにもならないと思います。家に帰れたからどうなんでしょうね。

0618 女性 70代

財物賠償に関する事、わからないので説明をお願いします。

0619 男性 70代

財物賠償に関する事、解らないので説明をお願いしたい。

0620 女性 60代

東電へ、あまりにも無責任な行為が許しがたい。事実があきらかになっていない。今後の復旧に関して明らかでない。個人一人ひとりに対しての苦勞を深く感じている様子がうかがえない。子供の健康、病気を持ちながら知らない町で生活している人々のことをあまりにも軽んじていると思います。

0621 女性 30代

解除になったことで、県内にいる人たちに、なぜ帰れないのか、いつでも帰れるからよかった、などといわれるとつらいです。私は仕事も失い、楢葉には帰ろうとは思いません。現在こちらで働いているので。楢葉はずっと生活してきた故郷ですから愛着心はもちろんあります。ですが、事故で生活を奪われ、時間が経過するとともに、どうすることもできないと、あきらめてきました。生活と仕事は一緒だと思うので、仕事がなかったらもどる若者はいないと思います。

0622 女性 40代

一番心配なのは、収入の補償がいつまで続くのか。今現在 50 を過ぎて働き口を探すというのなかなか難しいし。子供の教育費はかかってくるし、今までと同じ収入【を得られるような職場は】なかなかないと思うと、国や東電は、ある程度は補償するのが当然と思います。

0623 男性 40代

2011年3月からの1年は今までの人生の10年分の苦しみをしてきました。ペット(犬)を連れて避難したためにいやな思いをしました。

テレビなどで警戒区域に残された犬や猫をみて涙を流す人間でも自分の隣に連れてこられるとどこかに行ってくれと言われます。

家があるのに帰れないというのはつらいものです。帰っても元の生活は戻ってきません。それを国や東電はわかってい

ません。だから財物賠償の基準もあんなに安く設定できるのでしょう。関東の人間の代わりにこのような仕打ちをうけ、自宅に帰っても絶対安心の生活は保障されてはいません。いわばモルモットです。せめてローン残高 0 円になるくらい土地と建物の賠償はしていただきたい。

そのうえで精神的損害は家に帰れるまでは出していただきたい。最低でもお願いしたいと思います。

また将来のがんになるリスクを考え、国立病院を榑葉町に建設・運営するとともに、医療費無料化を続けてほしい。榑葉町から北は 5 年後にならないとどうなるかわからず、病院も少なすぎる。いわき市もほかの町の人々で多くなり、絶対的に病院が足りない。国立の総合病院が建築されなければ安心して帰れない。

0624 女性 50 代

放射能と原子力をめぐる情報について。

危険性を過度に強調したり、専門家の検証を経ない情報を流したり、ICRP【(国際放射線防護委員会)】の基準をも信用しない風潮はどうかと思います。

年間積算線量 1 ミリシーベルト以下でないと被曝して人間は生活できないような認識がまかり通り、放射能、除染、原発事故の収束などを帰町しない理由にあげていますが根本はどうでしょうか？ 疑問です。

家族関係、嫁姑、便利の良い地域での暮らし、住居費無料、賠償金が入る生活、帰りたくない理由を帰れない理由にしていませんか？

また、もっと幅広い世代(住民)に町の復興計画をお知らせする機会があればよいと思います。高齢者はなにも知らない実態があります。ただ、帰りたくない世帯にいらっしゃる高齢者の方々には酷で厳しい面もあります。

“ 帰町すると賠償が減らされる ” と街頭で訴えている方がいます。この方は極端なたとえですが、賠償を一定期間で終了することも復興を後押しすることになるとと思います。

0625 女性 40 代

狭い部屋での生活でかなりストレスがたまる。

東電の誠意が見えない。

4 号機の件ですが、大丈夫かな？

中間貯蔵施設も双葉郡に置くべきで、反対しても国の対応によっては設置すべきだと思う。榑葉町が一番良いのではないかと思う。

この災害で町議の方たち【に関する良くない】噂話があり、その議員たちものうのと議員活動している。許しがたいが、どうすることもできないのか？ 対応の仕方を教えてほしい。

0626 男性 60 代

「ふるさとならば」復旧、復興に一身を投じてきました。町民が現在危険を知らず、無理して帰郷するのではなく、町民に正確な情報を伝達し、完全に安心して生活が確立できる状況(環境)にして、将来は必ず帰還できる町に復旧させるべきであると思います。

0627 女性 20代

除染もされていないのに入れるようにしてなんになるのか？ すべてが完了するまですることなかった。泥棒やなんかあったら町が責任とれんのか。若い人や子供はそんな納得いかない。会議開いたってしょせん30代から上のひとばかりだろ。

もっと若い、20代や10代がメインになるんだからそういう人の意見のが大事だと思いますが!!! 町長とかなに考えるのかわからんわ!! 年寄ばかりに気に入られてなんになる？ 若者がいないのに町が元通りになるわけない。こんななって原発の近くで他県から見たら差別されてんだぞ!!

事故のせいで結婚破棄になったわ!!! 【略】若者の意見を一人一人毎日たずねてきいてみる! 他県に避難してても自腹で車で行って意見聞いてこい!! 若者全員一人一人にきけ!!! 30, 40, 50代はもうきいただろ!!!

0628 男性 60代

私たち家族は3世代7人家族ですが、これから家のローンも息子たちに引き継いでもらうはずでしたが、息子たち家族とは離れたために【家のローンの】支払いをしてとは言えなくなってしまいました。息子はいいとしても嫁は何も言おうとしません。この原発の事故がなければ支払う予定だったのに、それももうわかりません。

私と妻は毎日悩んでおります。

あと5年は帰町してほしくはなかったです。賠償を少しでも多く支払ってほしいからです。そうすれば息子たちが戻らなくても私は2人で生きていけます。ですが、国も東電も少しでもお金を支払いたくはないようですね。どうかこれから高齢者の悩みをお聞き入れください。それから町長があまりに早くに見直しをしたことを恨みます。

それから松本幸英氏を選んだことを後悔しています。このことをしっかりと町長に伝えてください。人間の一生がかかる問題ですから。

0629 男性 20代

「復旧、復興」と簡単に言葉に表しているが、本当に私たちを人間として考えているのなら、こんな簡単にことが進んではおかしいと思う。じっくり年数を重ね、一つずつ整理していかないとすべてごっちゃになると思う。国は「本当にしっかりと補償して!!」なんていってるけど、何を考えているのかわからないし信用できない。

自分たちの未来を返してほしい! 現在の本当の生活を返してほしい! いろいろこみあげてくるが国の考えをしっかりと前にだしてほしい。100%補償は当たり前だと思っている。絶対するべきと思う!

いくらもがいても結果は見えているが...

0630 女性 30代

今現在防犯がなされていない状態だから、今までどおりに榎葉町の道の駅を検問にしたほうが安心できる。

0631 男性 80代

物置(倉庫)を早期に設置してください。生活に不便している

0632 男性 50代

及び 地区は除染作業が来年の3月ごろ予定のため、帰町しようと思っても除染及びライフラインの復旧が遅れているため、戻ろうと思っても戻れない状況です。

0633 男性 70代

屋根が壊れ雨水が心配です。ライフライン復旧も帰町するとしても直さなくては帰れない。

どうしたらいいですか。

除染がすむまで2~3年かかると思うし、家に帰れないと思います。

どうしたらいいですか。

家の壊れたところなど町が先頭になって直していただきたい。

私どもは誰、どこの業者に頼めばいいかわかりませんので、この点お伺いください。

0634 女性 40代

榎葉町役場職員は【略】と聞いた。役場の人間が「自分の家族を榎葉町には帰さない」と言っているのに町民は榎葉町に帰りましょと言われなければならないのか？

子供たちをわざわざ放射線量の低いところから高いところに帰さなければならないのか。町民は帰るべきだということを前提に話が進んでいるように感じる。

帰りたくても帰れない人もいる。帰れない人たちのことももっと議論すべきではないのか。警戒区域を見直したとたんに町議会議員たちの態度が変わったのも納得できない。区域見直しをしたからには一刻も早く除染をしてほしい。防護服を着て自分の家に帰るのはおかしい。

0635 女性 50代

避難時(3月12日)の町の対処のわかりづらさから始まり、避難の誘導もなく避難所も人数制限により入れずにいた人たちに対する、役場職員の対応の冷たさは最低でした。

また県外へと避難した人たちのことを役場職員が非難する(県外へ避難したひとたちは金を持ってるから)など、町の対応として本当にかかりました。一時県外への避難したときにも役所の方の対応は冷たく、親類、近所の人のあたたかさに励まされ、ありがたいばかりだった。県内、県外避難の対応の格差、仮設住宅と借り上げ住宅との格差、同じ町民なのに役場の対応の格差に不満の毎日です。住宅ローンも残っている所以他の場所への移住、新たな住居の購入もできない不安、家族の職もなく収入も減ったため、二重ローンになってまで新居の購入にふみきれない。警戒区域見直しになり自由に出入りできるといっても、除染もしていない自宅には不安で立ち入りしたくない。自由に出入りしていいという町長の考えに不満。

除染しても事故前の放射線量にはもどらない。たとえ榎葉に帰ったとしても職もなく、買い物にしても食料品、生活用品など、事故前は富岡町、榎葉町で購入していたのに、生活の基盤もままならず。東電の賠償が終了すれば生活していけない不安。財物賠償に関しては登記していないものには賠償してもらえないことから、今後土地、建物などへの賠償が受けられるのか不安。今後の賠償で、国、県、町は県内、町内に残る人、県外へ移住したい人で格差でないようにしてほ

しい。東電に事故の責任をなすりつけるばかりではなく自分たちの責任も深く問うべき。除染しても事故前の放射線量には戻れないことを認めるべき。

廃炉になるまでは安心、安全はありえない！ 土地、建物、国に買い取ってほしい！ 子供たちが帰らないのに自分たちが帰ったとして 10 年 20 年後先のことを考えると榎葉町には帰りたくない！

0636 女性 40 代

町長は私たちのために行動してくれると言っていましたが、【自分は異なる方向を向いていて】私たちに榎葉に帰れって話はないでしょう。榎葉にある家、一軒一軒、中を見てきてください。家の中はカビや雨漏りや傷みやにおい、ひどいですよ！ 政府の人たちや町長に見てもらいたいです。

解除だなんて早すぎます。だったら榎葉町はがれき置き場にしてもらったほうがいいです！！

あんなにひどくなった我が家には帰りたくないです。住めません、生活できません。

政府の言いなりじゃなく！！ 榎葉町の住民の声を優先にしてください。

0637 女性 70 代

中間貯蔵施設ができてしまったら帰れないと思う。なぜ榎葉町が候補なのか理解できない。

0638 男性 70 代

私は高齢者ですから一日も早く町に帰りたい気持ちはあります。しかし、インフラ、除染ができないのに警戒区見直しはすこし早かったと思います。私は自営業ですが今後若い人たちが帰らなければ営業は難しいと思います。あと何年かかるのかわからないけれど町民が安全に住めるようしっかり除染してもらいたいです。ただ家族がバラバラになってしまったのがくやしい。

0639 女性 10 代

何回も同じことをきかないでほしい。紙の無駄遣いでは？両親の住宅ローンが 1500 万近くあるので東京電力に責任をとってもらいたい！！

0640 女性 20 代

榎葉町は子供に対してあまり積極的ではない。特に思ったのはこども園の再開について。

当初の再開からだんだんと先延ばし、中には保育園に入りたくても何人の子供も持つ親は兄弟を一緒に入れることができない。兄弟をバラバラにしないと保育園に通えないという親がたくさんいるにも関わらず、町は町民の話を聞いてくれないと聞いた。しかもその対応がかなり悪いと…。子供にはこれから将来があるのだから、もっと子供のことを考えてほしい。

0641 女性 40 代

区域見直しで自由に立ち入りできるようになったものの、まったく町とは関係のない町外の人や車両がかなりの数で町

に入っており、物見遊山で写真撮影をしたりあちこちうろろしているのが目につく。本当に防犯対策、対応が行われ、新たな犯罪(空き巣、盗難など)が発生しないか。本当に心配である。

通行証を発行した意味がどこで生きてくるのか？ 法的に出入りの規制はできないといっても、検問に近い形である程度立ち入りを規制してもらわないとせっかく帰れるようになった我が家へ行くのが怖い。不法侵入者と鉢合わせして危害を加えられたりする可能性はないとはいえない(特に近隣に住宅がないところなど)。

単独で帰町(自宅への立ち入り)は行わないことはもちろんのことだが、パトロールなどが行われているのを見たことがない(盆中ほとんど毎日自宅へ行っていたが一度も見かけなかった)ので、とても不安である。ぜひ一考いただきたい。

0642 男性 40代

もし原発事故がなかったら、と念頭にいった生活環境を取り戻すことが本当の復旧復興だと思う。

しかし事故の避難により壊れたままの家屋、放射能による汚染を考えると半数以上は楢葉には戻らないと思います。町の復旧復興を考えるとすれば別な土地での再出発が必要だと思います。

0643 男性 70代

私は避難中に70歳をこえました。とにかくできれば楢葉町に帰省し生活をしたいが、賠償基準などのことはまったくわからずとにかく不安です。警戒区域見直しと言われてもどう見直しされるのか、自分が居住していたが、どう見直しされるのか情報誌を読んでもまったくわからず不安でなりません。そういうことを考えるととにかく精神的に疲れてたまりません。とにかく私みたいな老人には地元のことがわからないことが一番不安なのでとにかく方法があれば教えてほしい。そのことが一番の不安解消だと思っています。今後ともよろしくお願いします。

0644 女性 60代

一人だけの避難生活を続けております。話す相手もなく、兄弟はバラバラ、友もバラバラ、息子はアメリカ...
なにを心の支えに生きていったらいいのかわかりません!!

楢葉町に住んでいた時のように楽しく過ごしたいです。これから先住むところも考えないといけないのでどうしたらいいか？ 頭が痛いです。住むところが一番の悩みです。

0645 女性 40代

この先楢葉町に戻ったとしても固定資産税 etc....

税金を払い、自分が土地を売りたいときは放射能にまみれた土地をだれが買ってくれますか!! この際、国に土地の買い上げをお願いしたいと思っています。

除染などは原発事故が収束しない限り、何度除染してもたちごっこです!! 人体実験にされるのはいやです!!
違う土地で生活するつもりですが楢葉の家・土地を所有する限り、どちらでも税金はかかります...。どうしたらいいのでしょうか!! 将来のこともなにも考えられません!! 助けてください!! 考えると恐ろしいです。

0646 女性 30代

県に住んでいるのですが、住所は楡葉町なので身分証明が必要なときに困ることがあります。車を買ったときも大変でした。

0647 女性 50代

私は楡葉町に住んでいるみなさまのおかげで、50年間毎日一生懸命生活してきました。楡葉町がだいすきです。避難生活が始まり家に帰れる日が近いと頑張っていました。避難1年過ぎると家に一時帰宅するたび住めなくなるさみしさ...

私は年何回かお墓参りにかえりたい。

楡葉の住まい・土地は借り土地なので今更なおして住むことは考えていない。楡葉町はごみ処理場があります。福島全体考えたとき復旧、復興を考えながら利用しないのは変。

双葉郡、浪江、双葉、大熊、富岡、楡葉 町ごとではなく自治体合併で考えていく必要があるのではないかと思います。原発は絶対必要ありません。

0648 女性 50代

警戒区域20キロ圏内は同じにしてもらいたかった!! 1年5か月も自由に入れなかったのに富岡、大熊、双葉、浪江と同じじゃないのか?

庭は荒れ放題。もとに戻してほしい!!

0649 女性 40代

私は、楡葉町に住んでいました。家の目の前には第二原発があります。

中間貯蔵施設建設予定地になっています。家のローンも残っています。原発の収束もしていないのに警戒区域の見直しをして、帰町にむけて復興計画が進んでいますが、前と同じ生活ができますでしょうか?

0650 女性 70代

あれから約一年半、友達もなく話し相手もなくただ家の中でぼつんと一人。娘たちは仕事ででていき夕方7時ごろまでは一人。毎日腰が痛いので出かけられずだんだん声もひくくなる。相手のいないのは困りますね。楡葉にいたときは毎日のように客がきて何時間もおしゃべり、大声でわらっていましたが今はがらりと変わってしまい声を出すこともなく毎日しょぼんとしてます。早く楡葉に帰りたいです。

0651 女性 60代

楡葉町には帰りたいですが、すべて除染ができるわけにはいかないと思います。子供たち孫たちとも離れ離れになって住んでいるところが狭い為、一緒に住むことができず、ストレスがたまって身体にも変わりがでてきてつらいです。今までの生活が戻ることはできず、本当につらい気持ちでいっぱいです! 畑で野菜をつくり、のどかな生活にもどったら良いとは思いますが、当分の間は無理です!

0652 女性 30代

榊葉町の復興を切に望んでいますが、現在、【乳幼児の2人】の子供を抱えており、個人的には原発が廃炉にならない限り子供を榊葉町には1回も行かせることはできないと考えております。現在 にいますが、県内(いわき市)へ定住する事にも不安があります。

営住宅に仮設と同じで入居から3年といわれていますが、もっと長くいられるように尽力いただくと助かります。地域ごとの健康被害など、公表してほしいです。

0653 男性 40代

・警戒区域見直しについて

線量値が高いところがまだまだあるのに、見直しをするということは、福島第一原発を稼働させようとする東京電力や国の意図的な行為としか思えません。こうゆう事をされると、避難している者としては、国や東京電力に対する不信感がますます募るだけです。

国(政府)はもっと避難している方々の言葉を誠意をもって聞くべきだと思います。

・東京電力に対して

東京電力本社の幹部の方々に申しあげます。実際に福島第一、第二の現場で仕事をしてください。現場での作業を知らないあなた方は大変だと思いますが、状況を把握したうえで現場への指示をするべきだと思います。

0654 女性 70代

・借り上げ住宅にも情報を早目にしてもらいたい。

・国、榊葉町、東京電力に、除染やライフラインを早くしてもらいたい。家に帰るようになって、水道が出ないのでなにもできない。

0655 女性 70代

私は主人と二人、10年前まで、いわき市に住み、仮設住宅があるいわき公園内で、沢山の犬と猫を拾った。榊葉町での10年間、原発の事故時の訓練、注意などなし。ただ道路にお金かけ、幼稚園(約13億)におかねをかける町、新しく生活する町にしてはびっくりしていた。ただ、広い庭をもとめ(約400坪)犬と猫と生活するだけがよろこび、約8年かけ、きれいに花を咲かせ近くの老人ホームの方々と花を楽しんでいたが、おじいさん、おあばさんは、花より犬と猫でした。そのホームでお仕事していた方から、花を見、犬猫と触れ帰ると、皆の心のなかがうきうきしてすばらしかったと聞き、うれしかった。今はもう、庭も何もかも牛の入った竹藪のような、どうしたらよいものか。犬と猫と生活できる仮設と思いましたが、【略】、犬2匹は現在主人と 町へ。私としては、すごく、おとなしいと思い、ノラでしたが、かわいがっていました。一人住まいだったためかなーと思う。幸せなことは、子供、孫は原発の近くでなかったこと。いつも考えることは、本当に榊葉町へ帰り花を作ったりきれいな町づくりしようとしている人がいないし、お金をいただくことばかり。帰らないで、家の中をきれいにする人などあまりいない。でも私は一日でも早く帰り、この子たちと生活がしたい。毎日コンビニ生活です。がんばります。帰ることを…。現在借家になっている元の家は公園内のすぐ近く。かなしい。昔友に時々あって涙する。情けない、はずかしい人たちがいっぱい。毎日糸井日刊新聞に「二匹の猫がやってきて帰って行っ

た」を娘さんが載せています。見てください。

0656 女性 60代

自宅は津波により流失したため、翌日は自宅にがあったところに戻って、アルバム等を探すつもりだったが、避難命令となったため、7月の一時帰宅までできなかった。この時ペットの猫二匹とも離れてしまった。一時帰宅の時にパソコンを見つけたので、すぐメーカーに修理を依頼したが、「もう少し早ければ・・・」と言われ復元できなかった。パソコンの中には家族の写真をデータに記録していたので、とても残念だった。

一時帰宅の時に写真を見つけたが、手の付けようがなかった。ペットもみつかることもできず、今も見つからない。津波被害に対しては東電の財物賠償の基準には該当しないのはわかるが、津波ですべて失ったからこそ、せめて子供たちの記録だけは残したかった。東電の事故がなければ、パソコンの写真も残したかった。もしかしたら猫も見つけれられたのでは…。それでも東電に責任はないのですか？

楢葉町には戻れないと思い、いわき市に新築するつもりで土地を購入したが、楢葉に土地がありながら、高い土地を購入しなければならぬのは納得できない。不満をどこにぶつけばいいのですか？

避難中に義父がたった一人で亡くなり葬儀は済ませたが、納骨できないままです。

0657 男性 50代

賠償を早急に進めて、一人ひとりが自立可能とする。

0658 女性 52歳

警戒区域が見直されても、不安はつきません。除染やインフラが復旧されてからの見直しでも良かったのではないのでしょうか。立ち入りが自由になったとは言え、原発事故は完全に収束しておらず、いつまた、地震が起きて、非常事態になる可能性もあるかもしれないと思います。例えば地震が起ころなくとも度々(今でも)トラブル発生が伝えられている現状を見ると、不安です。たまたま立ち入りしている時にその様なこと(地震やトラブルなど)が起きたらと思うと簡単に立ち入ることはリスクを背負うことだと思います。

財物賠償については...わが家は大きなリフォームが必要な状態です。屋根、壁、床、すべてにリフォームが必要だと思われる、多額のリフォーム代が必要になると思います。借金(家)も現在1,200万ほど残っていて、それに加えてリフォーム代。財物賠償の額ではかなり厳しいです。そして、何より多額のリフォーム代をかけて、住める状態にしたとしても、放射能(除染はしても)の問題や、原発の問題などを考えると、安心して住めるかと言えば安心して住むことはできず、いつも不安をかかえた中で暮らすようになるのではないかと考えています。精神的にきつい状態になるのではないかとと思います。

できれば、現在の楢葉の我が家と同等の家を持てるくらいの賠償がなされることを期待しています。楢葉に戻る、戻らないかは個々の考え方に任せてほしいし、戻る人、戻らない人に対し同等の賠償がされることを望みます。アパート暮らしの人は、何の借金もなく、別のアパートに移り住めばいいのですが、家を持っていると、かんたんにはいきません。家をもっている人に対し、財物賠償はされますが、逆に経済的に苦しくなります。家を持っている人(借金もある)が、苦しくなるなんて…。夢のマイホームを持つために、がんばってきたために...かなしい現実です。できれば...絶対財物に関し

ては区域見直しをしても、全額賠償してほしいと思います。

無理やり帰町させる方向に持っていかれている気がしてなりません。若い人のことを思うと、帰町はすべきではないと思います。

今の賠償基準では、戻りたくなくても戻って、リフォームして暮らすしかないかとも思います。たくさんの不安をかかえながら戻るしか道がなくなり、精神的に病み、残りの人生は楽しいでしょうか。

区域見直しについて、町民の意見が反映されているのでしょうか？ 前回のアンケートでは、半々でしたが、現在はどうかのでしょうか？ 年代別に統計をとってもらってほしいです。年配の方々が戻りたいという気持ちもわかりますが、もっと若い人の声も聞いてほしいです。次の世代を背負う人の声も聞いてほしいと思います。

あくまで個人の意見ですが... 檜葉町に戻る戻らない、復興・復旧というより、檜葉に中間施設をつくるなら立ち入りできないようにしてほしい。

仮置き場中間施設 必要性は理解できますが、自分の家のそばにできて安心して暮らせるとは思えません。

原発事故により人生は変わりました。がんばってマイホームを持ったのに、一時帰宅をする度にかなしい思いになります。いつか又、我が家に戻り家族であわせた暮らしたいと思うけれど、実際は子供や孫(いつかできるであろう)のことを思うと一緒に住んで(檜葉に戻って)とは言えません。

現実問題、檜葉に帰町するかしらないかは今後の除染、インフラ、事故の収束が今後どのように進歩するかによると思います。きびしいです。

- ・財物は全額賠償にしてほしいです。
- ・避難準備区域に見直され、いずれ解除になるとは思いますが、解除はインフラ、事故収束、すべてがクリアされてからにしてほしいと思います。見切り発車では納得できません。

現段階の賠償(財物)では、きっと生活困難になる方が多くなると思います。見通しがたたないです。

0659 男性 20代

ライフライン、交通機関、病院や商店街といった環境を整えてから檜葉町の復興を考えてほしい。まず除染が先、ダムの水、山、農地など、キチンと除染をしてからライフラインなどの環境を整えていれから町に帰る事を考える様にしてほしい。

今の状態は、町に帰る事と除染を並行している状態なので、おかしいと思う。

- 1、除染
- 2、環境の整備、それから住民の帰宅という考えて行ってほしい。

0660 女性 40代

ライフライン、交通機関、病院、商店街など、生活に必要な環境づくりがまだ何もできていない状態なのに、平成 25 年 4 月には役場が檜葉に戻り復興するとのことだが、ダムの水、山、農地などが、完全に除染されておらず、住める環境ではないのに、役場だけが、先走った状態で、東電の補償も広野町の様に、～何月まで打ち切りとなってしまうのは非常に困る。前出の環境がすべて整ってから住民を迎え入れる様な形にしてほしい(補償も同じ)。

0661 女性 40代

楢葉町以外の町民の方々も戻ることはむずかしいと思う。

0662 男性 50代

- ・ 借り上げ住宅と仮設住宅の不公平感の是正。
- ・ 私は 地区在住でしたが、私のところは上下水道がもともと無い。この期に、せめて水道を引いてくれないか？

0663 女性 50代

に関しては新聞発表にはなったようだが、通知等で示されていないので、わからないというのが、正直なところ。家のローンがまだかなり残っているのがネックになっていて、次のステップへ進めない。

また、中間貯蔵施設の問題が現状の段階では、先の見通しが立てようもない。最も政府案どおりに町に作ることになれば、完全に帰町はなくなる。震災時、幸いにして、関西の大学に入っているため、福島にいなかった息子も町にもどることには反対している。

現在の家の状況、原発の状況、放射能の問題、もろもろ考えあわせると、夫同様、気分がふさぎ、自分でも性格がどんどんわるくなっていくのがわかるので、あえて考えないようにしていることも事実。

0664 男性 50代

考えるのが苦痛で、あまりこのことにふれたくない状況である。

0665 男性 70代

20km内全部財物賠償皆同じくしてもらいたい？

0666 女性 40代

被害にあっている町民が東京電力に従っている状態のように思われてならない。口では申し訳ありませんなどといっているが、誠意が伝わらない。警戒区域も解除になり、そのうち補償もきられてしまうのだろう。そう思うとくやしく不安である。なぜ私たちがこんな思いをしなければならぬのか、元通りの生活を返してほしい。しっかり補償して私たちが安心させてほしい。

国はうちわもめをしなくて、もっと現実に目を向けてほしい。どんな小さな声にでも耳を傾けてほしい。

0667 男性 80代

原発廃止を前提に、原子力行政は国、自治体、企業等が馴れ合いにならず、是々非々主義で進めて欲しい。

0668 男性 40代

について、今回の原発事故は東電と国策によってもたされたものであり、国と東電は加害者であることにもっと強く責任を感じるべきである。私たちに、加害者である国や東電はしっかりと損害賠償を行うべきであり、まだまだ十分に責任感(国や東電は)を持っているとは感じられない。

0669 男性 50代

生活の見通しが立たない。

農業を通じて地域の人たちとの交流。

生活が成り立つよう、全額扱いの賠償を求め。

国、東電は責任をもって除染と財物賠償を求め。楢葉町は国を考えるのではなく、町民の意思を尊重し、住民本位の考えを大切にしながら再生復興にあたってほしい。

0670 男性 60代

被災者として今思うことは、今回の事故の責任者は誰なのかその所在がはっきりしないので対応がバラバラになっているということ。

せめて事故発生の事業者である東電の最高責任者の謝罪があるべきと思う。前会長の勝俣は福島県に事故後一回もきていない。天皇陛下がメディアを利用して、被災者にお見舞いのメッセージをしたことを考えますと、大企業のトップの姿勢の人格を疑わざるには得られない。

加害者は被害者に対してお見舞いはしないのか。

被害者が加害者の賠償の査定を受けるという手法を初めて経験したが、本当にこのような手法でいいのだろうか、「オカシイ!」 被害者と対面することが加害者の最低の礼儀だと思うのだが、日本はオカシイ!

東電が公開を始めた原発事故直後の社内テレビ会議の実写はあまりにも被災者に対し理不尽極まりない方法だと思う。二度とおなじあやまちを発生させないためにも、「モザイク」などを駆使したやり方には怒りを覚える。大津市教育委員会のいじめ問題と変わらないではないか。全容を知る権利は国民として絶対必要。全容が解明されないで、次の手立てはできない。

国、町は、特に東電は被災者に「安心」と「生活するための最高の手立て」を講ずる責任があります。

楢葉町にリスクの高いものは入らない。できれば国会議事堂をもってきてほしい。そこで祭事に従事してもらいたい。

0671 女性 70代

娘のアパートが見つからず困っています。

優先的にお願いします。

0672 男性 60代

・中間貯蔵施設の設置に関して、前楢葉町長は、町内に中間貯蔵施設を誘致したいとの意向であったが、警戒区域の中で全体的に放射線量の低い楢葉町になんて誘致しなければならないのか。

近い将来、国は年間50ミリシーベルト以上の「帰還困難区域」は長期間帰還できない為に全区域当然に買収すべきであり、そういった地域に中間貯蔵施設を設置すべきと考える。

0673 女性 50代

国、東京電力、楢葉町には期待していません。楢葉には帰りたくありません。

0674 女性 60代

狭い部屋で病気との闘いです。早く、広くて涼しい我が家に戻りたいが、高い放射線と荒れ果てた自宅を見る度悲しみが増します。帰宅すれば高い放射線と知りながら草を引かずにいられない。

それが長く住み慣れ、しのぎを削って建てたわが家への思いです…。わかりますか？

除染も外ばかりではなく室内除染も希望します。20mとか決めないで広い敷地は全部して欲しいし、木の伐採もお願いします。

0675 男性 60代

・いまだに中間貯蔵施設話がきらない!

・最終処分場も決まらない!

・インフラ復旧が完了しても、除染は原発の中心から 20km までで、それ以外は線量も高い。3月11日以前の環境にはもどれない。

・若い人たちが帰町するところには3つの条件があると思います。

健康への不安、生活への不安、将来への不安。三つの不安が一つでもあると、帰町が難しいと思います。

・原発の安全性についてチェックする経済産業省、原子力安全保安院が、電力会社に(やらせ)を要請するなど推進の先頭にたっていた(あいた口がふさがらない)。この国には原発を持つ能力も資格もない。国が原発の安全性を証明できたとしてもだれもが認めるか安全保安委員の信頼性がうしなわれております。科学者が安全証明するならわかりますが政治家が判断するのがおかしいと思います。

国会事故調が報告したように原発事故は人災、わたしたちは被害者です。夢も希望も将来もうばわれ、生命や財産までうばおうとしている政治状況。声を大にして、国政・東電・県政に言いたいです。

・県や市、町、村の長は県民が被害者であることを忘れかけているような気がします。

0676 女性 50代

近くの病院に通院中。自律神経。先生には楢葉に帰ることが一番というが、2011.3.11以前に帰ることが私にとっては一番! 避難解除になったところで以前のような生活はできない。

新天地を求め、早く自立した生活を思い(補償が具体化し、一日も早い支給がなければ自立などできない)、着々と行動をしているが、新しい生活が始まったところで決して心穏やかに過ごせるとは思わない。一生私たちはこんな思いを背負い生きていくんだと思う。

思いながらも疲れ、ああこのまま死んだら楽になれるのかとも思う。生きていることが面倒にもおもえる。

0677 女性 30代

現在は、子供が【学校】生活を送っている為、転学などが難しい為、現在の学校を卒業させたいが、借り上げ住宅はいつまで続くのか?!

その後、いわき市へ移動したいが、住む場所があるのか？！

財物賠償基準の計算が納得いかず...単身者が200万ちょっとなのに、なぜ家族4人で5百万ちょっと?!単身者の金額×人数分でないでしょうか?!

通常で考えると...人数が増える程、生活費は増加すると思うのですが....

0678 女性 50代

榎葉町に中間貯蔵施設をつくることは絶対反対です。榎葉町は放射線量も比較的低い為、除染をすればかならず元の環境を取り戻せる地域だと思います。

第一原発の近くの高線量の地域を国有化してその場所に中間貯蔵施設をつくるのが、誰が考えても理にかなっていると思います。

子供や孫たちが安心して暮らせる榎葉町にするためぜひお願いします。

0679 女性 30代

子供たちの学校、進路のことを考えると悩みすぎて吐き気がしてくる。いわきに榎葉の仮設校舎ができたものの、すでに通ってしまった、現在地の学校生活。友達との関係もくずしたくない子供たち。また、仮設の学校に通う人数の少なさ、榎葉町帰還時がどのタイミングでのことになるのか。中で帰還しても年で高校のためにいわきに来ることになれば、鉄道の復旧、タイヤが気になる。上の子にあわせても2,3番目の子の時はどうでしょうか...。このまま子供たちが全員高校を卒業するまでいわきにいた方がよいのか。それってあと何年?! それまで借り上げ住宅の補償などあるはずもなく...。いっそのこといわきに家をたててしまおうかと考えるも、住宅ローンが多額に残る中、財物賠償をあてにしたとしても、かなり危険な生活設計。次に榎葉の学校へ通わせかの意向調査があるのは11月。まだ何の考えもまとまらずじまい。ただただ榎葉の友達の動向が気になるばかり。この話は榎葉のお母さんたちは共感しあえるか、他人からみたらどうでもいい悩みなのであろうか。子供の成長はまったなしなのに、何も決められず、ギリギリまで悩んで子供たちに決断を迫るといふ酷なことをさせてしまっているのでは。数年先の未来が総合的に見えない、情報が少ない、何も決まっていらない?ので決められないんだらうなあと思う。

- ・せっかく建てた一戸建ての我が家に住むことなく払い続けるローンのむなしさ、少しずつ積み上げてきた便利な家電製品生活からもとの生活に逆戻り?
- ・子供の音が下の人に迷惑をかけていないかと、もやもや。
- ・勉強部屋がなく集中できる部屋がない? 震災直後は学校に通えているだけで満足していたが、その年の学力が身につけていないことに今更きづく。
- ・以前は榎葉の不便な生活が気にならなかったのに、いわきでの買い物、病院、学校が近い等の便利な生活を味わってしまい、戻った時に大変にならないだらうか。
- ・いわきは便利だが、広々とした家の周辺でののびのびと遊べていたことは、とても贅沢な日常だったと思います。

0680 女性 70代

われわれの気持ちをさっぱりくんでくれない、その一言につきます。

0681 男性 60代

きびしい避難生活で体調をくずし、ヵ月に及ぶ入院生活のはて、父がなくなったが、思い介護者が施設や体育館などで亡くなり、遺体を引き取ることもできない状態の人に比べれば、臨終に立ち会えたのは幸せな方かもしれない。父母は慣れない環境での生活に家で閉じこもるようになり、父の長期入院もあって気力体力とも衰え、高齢である母がみるみるうちに弱っていくのをただ見ていることしかできず、家族は苦しくかなしい時間が続きました。

父が亡くなったが、町に入れず墓が倒れたままなので納骨できず困っている。早く墓を修復して納骨したいが、順番待ちの状態でも墓石は放置されたままだ。

家族全員無事に避難できたこと。

財物賠償基準は一律ではなく個々さまざまな事情に応じてきめこまかに賠償してほしい。とにかく基準が出るのが遅すぎる。一年以上にもなるのに、その間移住や再出発することもできず、家の状態も悪化し、家の周りも荒れ放題になってしまった。

国や政治家がよく言う、被災地に寄り添った政策。しかし、実際はまったく血の通ってない政策で被災地の人々を苦しめる。除染一つとっても、居住区域だけの除染計画で町民が帰町するわけがない。居住区域は町全体の30%。残り70%は山林や田畑だ。山林や田畑も併せて考えていかなければ住民の帰町はあり得ない。放射線による健康被害の国の指標はコロコロ変わるし、専門家や学者も言っていることがバラバラ、何を信じればよいのかわからない。これでは町民、とりわけ若い世代の人たちがもどれないのは当たり前だ。櫛葉町はほぼ全体が2ミリシーベルト以下とすることだが、場所によっては高いところ、ホットスポットもたくさんある。平均値はもうたくさんだ。もっとモニタリングと除染をお願いしたい。そして若い人たちも安心して住める櫛葉町にしてほしい。

0682 女性 50代

何をどう考えて整理していけばよいかわからない。元の生活に戻ることが本当に幸せなのか？ 途中から別のところで生活して、今までの生活感みたいなものを感じて生きていけるのか？

戻っても戻らなくても、今、自分の心の中に“これだ”と強く決意させるものがない。

孫たちの将来も。「福島の人とは結婚しない方がよい」と言ったとか言わなかったとで騒いでいるが、世の中の人の福島県人を見る目はこんななんなんだと思ったら、福島県に孫をおくことが将来の幸せにつながるのか、と思わざるを得ない。賠償、賠償といえ、賠償にむらがる亡者みたいに見られているようで、むなしさとくやしさが交差する。

0683 女性 70代

いわきに、できれば住みたいのですが、年寄二人なので、いろいろ不安です。

0684 男性 80代

櫛葉に住んでいるときは貸家でした。地震と原発があり8か月も帰れませんでした。家はサッシがたおれ動物のすみかになり、家も傾きドアが開かないところもありました。

帰るとしたらリフォームもしないといけないし、おふるに薪を燃やして生活もできないですし、高齢なのでいろいろ心

配です。いわきに住みたいんですけど、家賃もたかく住むところもなかなかないようで、これからのことを考えると不安です。

0685 女性 50代

行政は帰町ありきで動いているように思える。現実を見た場合、原発も不安であり、放射能の不安、水や食品等による内部被ばくの不安等から、子供を持つ親のほとんどの人が帰町しないとの考えをもっている。行政はこのことを無視していると思えない。若い働き世代が住まない町で行政の体をなすことがはたして可能なのか。はなはだ疑問に思います。

帰らない選択をした者が差別や避難を受けることのない行政を切に願います。

国、東電の示した賠償基準について、はなはだ不満です。何の落ち度もない住民(落ち度があるとしたら双葉郡に居住していたことですか?)が、ある日突然、自宅を奪われ不自由で不安な生活をしいられている。また、家は二年目の夏も空き家となっていたことから、カビとホコリだらけ。とても住める状態に戻すことは不可能に思える。町長が要望している警戒区域だった地域の家屋やすべて全損扱いとすることについて、かならず実践していただきたい。これがなければ生活の再建はできない。

0686 男性 20代

現実的に考えると、避難している人たちがほぼ全員、いわき市に行きたい居住したいと考えているが、絶対に土地が足りず、これから先のことを考えても不安が残る。

0687 女性 60代

私は生まれがいわき市だったので、みなさんにいろいろたくさんお世話になり、ありがたかった。これからは子供たちを大事にみなさんと仲良く暮らしていけたらと考えています。

今のところ一人で帰っても生活できないと思っています。子供や孫たちはこれからなので、しっかり歩いて行っていただきたいと思います。東電に対しては絶対にゆるしがたいです。安全神話が終わって、われわれの人生は奪われてしまいました。東電は絶対ゆるしません。

0688 女性 50代

除染もされずインフラも復旧してないのに、見直しをしたことにはビックリしてしまった。もう少し時間をかけてもよかったのではないかと思う。

除染されていないところを堂々と歩き、それを現在の避難先に持ってくる。はたして放射能の影響はないのだろうか。自宅のカビ臭さや壁や畳障子のいたみをみると、戻る気がしなくなる。また、今まで置いてある布団、茶碗は使う気がしなく、それを片付けると思うと頭が痛くなる。

もう、次の段階に進みたい。補償をきちんとしてもらい、新しい住み家を考えたいと思う。

0689 男性 50代

財物賠償は全額望む(20km 圏内すべて)。

0690 男性 20代

周囲の住民の生活音が聞こえてくるので休まる気がしない

あちらの実家のローンがまだ払い終わってないので、二重にお金を払っている。ペットをボランティアの方に預けて、安心ではあるが、いつ帰れるかわからないうえに、いつペットが死ぬか不安だというのもある。とにかくストレスがたまっていく一方。

特になし。

一刻も早い復旧・復興、国民の理解。あとは経済的にかなりギリギリなので補償金もできればほしいところである。

0691 女性 60代

避難指示解除準備区域になり先日車両通行証が送付されてきましたが、検問もなく、通行証をみせるところもなく檜葉町に入れると聞きました。

遠くに避難して簡単に自宅に帰れない私どもは、空き家状態になっている我が家の空き巣、盗難等が大変心配です。

いろいろ規制がなくなり立ち入りが自由になるのはよいが、住民以外の不法な立ち入りが心配です。自宅泊はできないのですから、以前のように検問を置き、日夜町内のパトロールを強化してほしい。

自宅の清掃に帰りたくても水道もでない状態では困ります。早いライフラインの復興を願います。

原発が完全に収束していない状態で町の再生など考えられない(まして廃棄物の置き場所との話が出ている中で)。

0692 女性 50代

警戒区域見直しで檜葉に帰れることはうれしいことです。でも東電の問題点がやまずみで、帰ってから又、事故が起き、避難するようなことがないか心配です。同じ苦しみは二度と味わいたくありません。

0693 男性 65歳

国、東電は20km圏内を国有化して、その中に仮置き場や最終処分場をつくれればいいのでは。

息子夫婦が檜葉町には帰らない私たちは息子夫婦が帰らなければ生活ができない、死ぬというものだ。檜葉町の自宅は東電の作業員の会社に売りたい。檜葉町に帰ってなにをすればいいのか、死をただ待つだけだ。

0694 女性 70代

45年も会社経営していて、子育ては放棄してきましたが、人生の総仕上げをしようとしたときこのようなことになり大変残念です。

我が家は東電の仕事は一切しないように努力してきましたので困っております。東電のおごりがこの様になったのです。東電では社員が除染して、地域の作業にたずさわり、心ある態度で接してもらいたい。社員も大変おこっていました。町民ひとりひとりの苦勞を考えて、町民に心ある社員になっていただきたいと思っています。

一生、生活を補償していただきます。町民一人ひとりの一生の努力にむいてください。財物の補償も登記を基本のことですが、役場の基本台帳に基づいて補償してもらいたい。登記をしていないものもありますので。

0695 男性 60代

仮設住宅は狭く、檜葉の自宅は 50 坪もあったので、本当に窮屈です。収納がないので物があふれています。両親は 80 代と高齢で、檜葉にいたときは毎日畑を回り山をみて一日動いていたので、体調も良く足腰も丈夫だったのに、避難生活になったら家に閉じこもり、地理もわからないので散歩にもいけず、足腰がとても弱り半分寝たきりになっています。

東電の財物賠償はあまりにも低く、バカにしているとしか思えない。この事故は人災であり、保険会社と同じような賠償をすべきである。私はこの避難生活のために持病が悪化し、いま自分では何もできない状態である。そのため両親がすごく心配です。弟夫婦らが両親と一緒に仮設にはいり世話をしてくれている。弟夫婦はいわき市なので二重生活を余儀なくされている。この補償はどうなるのか、東電からの補償はなく、それでも両親を大切にみている。

檜葉町は国や東電の思惑に惑わされず、町民第一を考えた町政をしてほしい。今の段階では国と東電の言いなりになっているとしか見えない。なぜ除染もなにもしてないのに警戒区域を外すのか？ 帰りたいたいと思っているのは老人だけである。若い人たちは目に見えない放射能に怯え、何年後かにはガンの恐怖にも怯え、そのような街にはたして帰ってくるのか。帰らないという人にはその補償をしっかりとあげてほしい。檜葉町役場は道路も陥没、下水管も 1m 飛び出たところがあり、草はそのままのび放題で車も通るのが一台やっとなで見通しも悪く、すごく危険でした。この状態で警戒区域を解除したのがわからない、とても不満だらけです。たとえば、人身事故を起こしたら、完治するまで補償しなければ示談にならないのがふつうだ。それが国の法律だ。しかし、檜葉町は何も治してないのにあたかも治ったかのように住民を示談させようとしているとしか思えない。まずは山林から除染をしなくては何の意味もないと思う。

0696 男性 70代

(至急)出来るだけ早く屋根を直してもらいたいです。

0697 男性 30代

いまだに仮設に住んでいる人は情報や物資等優先的に入っているようだ。借り上げしている家庭にも早く提供してほしい。

0698 女性 40代

中途半端に区域見直しをされ、今後の方向性、あてのないまま早く決めろ!と投げつけられた気持ち。賠償についても正確な情報がなく、生活再建を求められても不安は増すばかり。現在は借り上げ住宅に老夫婦世帯(県外)、自分たちは別に住んで家族としての話し合いは何もできない。

生活環境はとても悪く、体調も悪い。避難生活が始まってから、血圧が上がり、アレルギー体質になり、パニック障害になり、娘は不安障害になり、家族みんながイライラ。そして周りはピリピリするような生活が続いている。すべて東京電力が十分な補償をしない限り見通しがたたない。檜葉の家は震災でかわら屋根が落ち、ブルーシートがなかなかかけてもらえなかったせいで、雨漏りで水回りはすべてダメ!

築【20年以上30年未満】年になる家だが、【警戒区域の】見直し後に行ってみたら、蜘蛛の巣だらけで二階はガラス

が割れたため、余計に気持ちが悪い。おそらく、一部損壊程度の扱いにしかならないと思う。楢葉町は警戒区域だったのだから全損であるべきだと思う。手はかかる!賠償はすくない!!では、一番たちがわるい!! 帰町できず、新たに再建だけを考える方がとても楽である。

故郷に帰りたい気持ちはある。しかし、後世に残る身内を汚染された土地に置きたくはない。そのために、後になって健康被害に悩まされたらと思うと、土地は少しでも汚染の少ない町で暮らし、後世の身内に残したい。意見は一人ひとり違うと思うが、みなが納得のいく賠償を心から早く出してもらいたいと毎日願っている。

0699 男性 50代

年齢が53歳になり、ハローワーク等で職を探すも無い、県でもない状態でははたして福島へ帰っても仕事があるか心配。糖尿病も悪化して体調も悪い。

TVや新聞で東電と国は情報をかくしてわれわれに対する誠意が感じられない。どうしてくれるのか?賠償基準を上から目線で安く抑えようとか払いたくないような対応が頭にくる。所詮人事だからと無責任な高慢ちきな原発関係者、復興なんて本当にできるのか?心配だ。

友人から原発の作業員の仕事のさそいがあったが、線量計をかくして仕事をさせる報道をきいてやめた。私も前に同じことをさせられたことがあったから【略】。

0700 男性 60代

復興計画はあるものの、避難指示解除後からの道筋が描けない(イメージできない)。

避難指示解除区域に再編されたが現在は市の借り上げ住宅に住んでおり、(いわき地区で見当たらなかった)高速道路の無料化措置が終了してしまうのが不安。

楢葉町に若い方が戻ってくれるか不安。

双葉郡の被災町村が合併するなど協調して放射能関連の研究機関などはもちろんのこと、双葉学園都市のような復興計画など夢をもてる将来像を望みたい。

0701 男性 40代

震災後、仮設住宅への支援ばかりで、借り上げ住宅への支援が後回しにされたことは非常に憤りを感じています。住む環境は違っても、避難してるのは同じです。苦情がきてからの支援なんてありがたくもない。楢葉町には希望もないです。

0702 女性 60代

避難にさいし一番気になったことは、原発の情報について何もわからないままの避難ということでした。私は【福祉関連の職場】で働いていました。【略】薬が思うように手に入らないことが一番困りました。結果的に一人、薬疹で亡くなってしまいました。障害を持った方の避難のむずかしさが改めてよくわかりました。でも楢葉町からは、障害をもった避難者に対しての支援を、ほかの町村はもちろん、国などよりたくさんの物心局面での支援をいただきました。支援物資をたくさんまわってくださったり、グループホームを仮設で作ってくださり、みなさん安心して生活することができるようになりました。私自身は心の不安定な時期があり、ストレス食いで体重が増えたり、血圧が高く通院したり、髪がうすくな

りのクリニックへ行ったりで写経をしてきました。また孫と遊ぶのもいわきの地でできるようになったのが一番の支えでした。今自由に家に帰れるようになりましたが、一年半開けなかった部屋の空気はよどんで不思議な空間になり、畳はいくら拭いても臭さは取れず、まわりは雑草におおわれ家に帰っても何をどうしていいかわからず、本当にこの場で生活ができるようになるか、とってしまいいます。海も山も川も水田も畑もすべてそのままあるのに、何一つ昔とは違ってしまった。放射能に追われるように出て行った故郷が、1年半たって帰ってきたら全然違うところになっていました。つらいです、悔しいです。東電は出し渋っているようですが、どんなに大金を積まれても賠償金で償えるようなものではありません。以前の故郷を返してほしいです。

0703 性別未記入 60代

東電の賠償に不満があります。

ひとつは交通費がカットされたこと。

一時帰宅の日時は自分が決めるのではなく決められた日時に帰ることになりますが、同じ月に二回になると一回以上は支払ってくれません。その他役場への用事、学校関係、その他のことで福島に行き、書類を提出しても認められませんでした。

次に、県内の病院に入院していたのに、震災と原発事故のため県外の病院へ救急車で搬送されたこと。病人にとって3~4時間の移動は体にこたえたと思います。県内の病院の診断書に震災と原発事故のため搬送することが記されていますが、東電の診断書の原発事故による避難生活の起因の有無については、避難生活の影響なしにするしがつけられると、因果関係がないので慰謝料はお支払できませんとカットされます。病気は原発事故の前に見つかっているので、病気との因果関係がないといわれれば納得がいきますが、救急車で搬送され県外での生活を余儀なくされ因果関係がないということに納得がいきませんでした。

何度東電に電話しても同じ答えがかえるだけでした。それなら県内の病院で入院生活を送り最期を看取ってやりたかったと思うし、家族も県外に避難しなくてすんだと思います。避難生活と病気の因果関係、私はあると思います。同じく孫も県内の病院で長期にわたりぜんそくで通院しお世話になっていて、避難生活の中でぜんそくが起き、県外の病院でお世話になりました。それも因果関係がないとのことでカットされました。お世話になった病院の先生の判断ひとつで決まってしまう。

0704 性別・年齢未記入

このような調査をしたところで、これまでの人生を壊されてしまったことには変わりなく、そして元の生活には戻れません。

賠償についても、3月11日に住民票が楢葉町にあった人だけです。我が家の子供は学生で、に住んでいましたが、卒業しても帰る家がなくなり、仕送りも困難になりました。卒業後、地元に戻ってくる予定でいたのにそれもできなくなり、就活も一からやり直しでした。そんな子供には賠償は何一つありません。「今」は生活していますが、将来の見通しがまるでつかめません。

0705 性別・年齢未記入

- ・これからの生活設計がたたない。
- ・避難生活、費用が高い。すべてのものがないため。
- ・損害賠償が進まない。手続きが面倒。
- ・警戒区域見直しの撤回。
- ・国の被ばく基準の変更。年間1ミリシーベルトまで。
- ・福島県民全員被ばく手帳配布。健康診断が近くでできない。
- ・楡葉町、除染は不可能。費用の無駄遣い。安全な除染はできない。
- ・中間貯蔵など認めない。(理由)最終処分地がいまだに決まってない。
- ・原発事故避難者にはすべて電気料金を無料にすること。
- ・東京電力原発事故、責任をとらせること。事故当時の会長、社長の今は。
- ・国、東電の責任の追及。
- ・ふるさとに住めなくなる、原子力発電所はすべてなくすべし。
- ・国、東電はすべてを賠償すべし。
- ・なぜ福島県民を被ばくさせたのか。これは犯罪では。
- ・中間貯蔵施設を楡葉町につくるのか、反対。補助金でまた買収されるのか、変わらない町政。学習ゼロ楡葉町行政。
- ・東京電力はすべて隠匿している。放射能汚染、日本～世界汚染、社員給料、ボーナスすべて半額にすべし。
- ・除染に費用かけるのなら賠償に金をつかえ。
- ・農業のできる大地(西日本)東日本は危険。

0706 女性 30代

除染も進んでいない、ライフラインも復旧していないのに楡葉町町長はなぜ区域再編に応じたのか理解に苦しむ(【略】)。

町民の意見も聞き入れず勝手に決めるような人が町の長でよいのか。

今後の対応に不信感ばかりがつのる。

区域再編したことにより町民にメリットはあるのか？ 自宅に戻っても除染も終わってないのでなにもできない、宿泊もできないなど、デメリットしかないのではないのか(盗難なども)。

何の意味もない区域再編ではないのか？と思う。

無責任な町長に町政を任せてよいのか考えさせられる。

国や東電に対しても意見も言えない人が町長でよいのか？ 今後の楡葉町の発展や復旧に期待がもてない。

0707 性別・年齢未記入

仮の町構想に楡葉町民でも参加できればいいと思う。楡葉町に戻らない選択をしても町なりの支援を考えてほしい。

0708 性別・年齢未記入

仮設では夜、物音をたてられない生活を強いられている。

震災および原発事故を食い物にしてる人を【略】。

生活再建に全力を尽くしてもらいたい。

0709 男性 40代

持ち家とアパート生活では家財の量が違う、特にピアノが趣味、娯楽品で一緒ではないと思う。

榊葉町に限ったことではないが、役場職員の顔が見えない。

復興に対する意識が低いように感じる（子供を町の学校に通わせられない）

0710 女性 40代

財物賠償基準は少しおかしいな？と思い、東京電力にも電話にて問い合わせをしてみました。家族人数に応じての金額にどうしても謎があったので…。

人数が多ければものも多いというのはいかがなものか？と…。

持ち家とアパートなどが一律賠償はおかしいと思います。各家庭で持ち物は違うと思います。ベースをある程度の額にして、そのあと持ち物チェックシートみたいなものを作成して、プラスの金額が上乘せできるような形がいいのかな？と思います。

小さなアパートで、家族四人プラスペットで暮らしています。家族みんなが一緒に過ごしていることは本当に幸せです。ただいずれは、元の生活に近い環境で生活できたらいいなと最近思いはじめました。少し前向きになれた証拠かなと思います。みんなが笑顔になれるといいですね。子供が避難中の心の支えでした。そんな子供たちに明るい未来が訪れますように…。

私は榊葉町で生まれ育ったので榊葉町が大好きです。結婚してからも大好きな榊葉町で生活できていたことがとてもしあわせでした。子供を通してのママ友や学生のころからの友達に恵まれ、毎日充実していました。震災後も必ず榊葉町にもどって生活することを強く強くおもっていました。しかし、今回の警戒区域見直しにともないお墓参りに16歳未満の子供をつれていったところ、子供が「この家にはもう住めないね」とぼつりと言葉を発しました。自分一人が榊葉町に戻りたいと思っていたのだと思い知らされました。また、最近、榊葉町役場に行っているいろいろなことを教えていただきたく伺ったところ、あまりにも話しぶりが上から目線で、住民の心と寄り添っていないことに愕然としました。言葉も人の心を傷つけるということを、役場の方には特に知ってもらいたいです。こんな町に戻りたいと思っていたことがばからしく思えました。大好きな榊葉町でしたが、今は戻りたいとは思っていません。ただ、榊葉町の自然環境は素晴らしいです。復興していくことを陰ながら応援しています。

0711 女性 年齢未記入

榊葉町の区域見直しについて。

町民に立ち入り許可証送付は理解できる。

しかし、だれでも入れることがわからない。

道の駅あたりで免許証確認などをするなどの考えはなかったのか？パトロールを何十人に増やしても、何の権限もない人が回っているのは効果がない（8月10日～お盆あたりの町の状況を知っているか？地元出身なのかひやかしののか、他県ナンバーの車が多く、デジカメで写真を撮って帰ったり、ブログやツイッターにのせてる人も多かった）。

町は県、または国からの要望を受け入れている状況なのか？

自主避難者と仮設入居者との情報の違いが多すぎる。物資 etc. も仮設の人たちは毎日もらいに歩いていると聞く。

・行政ごとの話し合いも家があるところはまとまっているが、津波被害がある・なしの地区は一向に進んでいないため、個別にひらいてほしい。

0712 性別未記入 60代

東電は全責任を負って財物すべての賠償を速やかにすませてもらいたい

0713 性別未記入 20代

いわき市でやっと就職できたので楢葉町には帰れない

0714 女性 60代

目の当たりにし、感じる。老人の老いの進行状況が日々早くなっていること。たとえば入院を繰り返すごとに足腰が弱くなっていき、寝たきりになる。

いままで近所の人と畑や田んぼの脇でたちどまったりすわったりしているいろいろなことを話し、笑い、いやされていたのに、みな離れ離れになり、狭い部屋で交流もなくなり、すべてが切り離され、気が喪失し、ボケてしまっている【という状況を】何人か見聞きしている。少なくともこのような避難生活がなければ、楽しく自力の生活ができていたはず。

復興もままならないのに、国はいったい何をしているのか、勢力争いで引きずり下ろすことしか考えていない。原発事故に関して廃炉にむけてどういう状態にあるのか、原発の状況はどうなっているのか、情報がなにもない状況。今後この原発事故が風化していくのかと思うと不安でならない。

もっと避難生活の状況を知るべき、モノやお金でなく、精神面を考えてほしい。東京電力は今後、国の管理下のもとにおかれるようですが、もっと早くにけじめをつけるべき。これからでも遅くないと思う。確かに東京電力の社員の方々も私たちと同じですが、まだ東京電力という名に守られています。危機感がないです。これからの生活をどうすればいいか等々考えることのない生活でしょう。けじめの意味が今わからなくなっています。

電気料金をあげるために身辺整理をするのが道理のよう思うし、自分たちでしたらまずそこから始めるのが基本。それができないのが国、東京電力。情けない。やるべきことをやってほしいの一言です。

意味不明になっているかもしれません。

1253 女性 50代

家の中、庭先においておいた植物、花。何十年も育てたものが日照不足、水不足で全部枯れてしまいました。

すべて賠償してほしいです。

避難中に心の支えになったことは、子供たち、孫たちでした。借り上げ住宅は支援が十分じゃなかったと思います。

1450 女性 60代

最終処理の方法もない原子力発電だったことに無関心でいた自分がとてもかなしいです。このままでの再稼働は、私た

ちに「福島県民よ、双葉郡民よ、いつまで被害者ぶっているの。放射能なんてただちに体に影響はないんだよ…。早く賠償でけりをつけておとなしくなれよ」と言われているような気がします。子や孫たちに誇れるまちづくりをしてきたつもり町の町が、子や孫たちから故郷をうばってしまったのですから、一人一人が真剣に考えなければと思います。二度と安全だとは信じられません。途方もなく費用のかかる廃炉作業に、これから何十年も、本当に真剣に東電、国が取り組むのでしょうか。

そんなこともとても不安です

1883 性別未記入 50代

避難生活から1年半、最初は夜も眠ることができない毎日でした。考えると涙なみだの毎日、書き表せないほどの毎日でした。最近ではいわき市にもなれてきて、楢葉町より住みやすい町になり、子供たちも幼稚園に通ってお友達もでき明るくなりました。

今年の春ごろから、孫が走ったりして遊んでいる最中に咳き込んで、病院に時々通っています。

ばあさんものどの中がはれ、最初は内科にいき、内科から耳鼻咽喉科に移り治療中です。腫れも収まり二週間に一回の治療になりました。私が30代の時に楢葉町に来た頃は【教育関連サービス】が一軒もない町で、子供を育てて教育していくのが大変でした。また昔の生活以上に大変な生活になりました。農業やって会社勤めの生活では子供たち孫たちも私たち以上に大変な生活です。帰りたくないです。【略】

【追加】

1884 男性 50代

- ・セシウムが日々増。何で除染してもセシウム等が増加しているのか。年数がたっても減無し。今でも東電でベント解放状況ではないのか。
- ・各大字、字へスピーディを設置し、誰でも数値が詳細に見れる設備の設置が重要。
- ・人が住めるのは山、木、山林があるから。【だから】水、農産物、魚類が生息できている。まず除染は山から始めるのが正しい。
- ・ドームで全ての設備（東電第1～第4）を囲い、外部への放出を無くすこと。